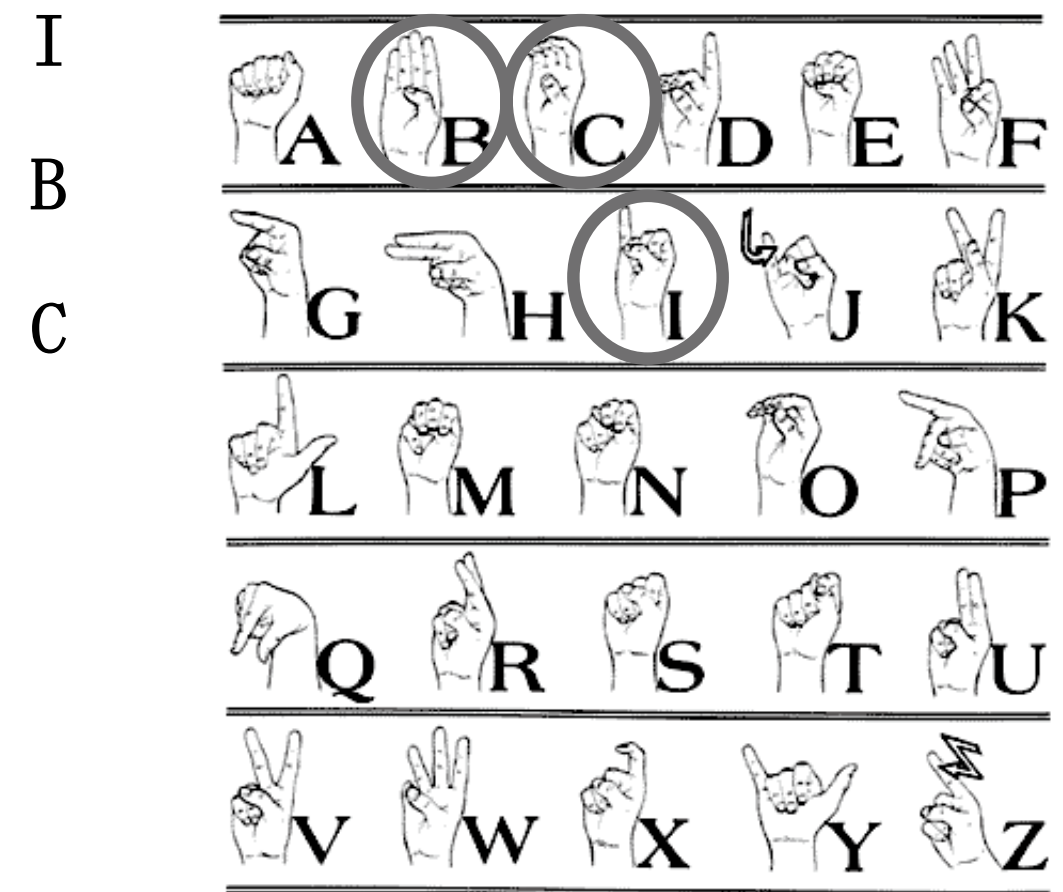


2017年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通・・・・・・・・・・P1～28

ホテル・ブライダル・・・・・・・・P29～73

トラベル・鉄道・・・・・・・・P74～131

エアライン・エアポート・・・・P132～161

夜間総合観光・・・・・・・・P162～179

国際ホテルマネジメント・・・・P180～192

共通

共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	英検対策 I	EILNRW	1
1	英検対策 ①Ⅱ	RW ①	2
1	英検対策 ②Ⅱ	RW ②	3
1	英検対策 ③Ⅱ	RW ③	4
1	オーラルイングリッシュ	LRSW①②③④	5
1	コミュニケーションイングリッシュ	E①②、S①	6
1	ビジネス能力検定	ELNRWY・S①	7
1	コンピュータ	全科共通	8
1	SPI非言語対策	全科共通（鉄道科を除く）	9
1	SPI言語対策	全科共通（鉄道科を除く）	10
1	面接対策	E①E②RW①RW②	11
1	ホテル英会話	E、I、S	12
1、2	韓国語	AHMOV LR	13
1、2	中国語	AHMOV LR	14
2	韓国語	KO	15
2	中国語	KO	16
2	フランス語	AH	17
2	英検対策	AHKMOV	18
2	TOEIC対策	AHKMOV	19
2	観光英語	OV	20
2	面接対策	A①A②OV①OV②	21
2	コンピュータ	KOVMZ	22
2	SPI非言語対策	全科共通（鉄道科を除く）	23
2	SPI言語対策	全科共通（KMを除く）	24
2	サービス接遇検定	K・M	25
2	コミュニケーション学	KOV	26
2	ビジネスマナー	KOV	27
2	手話	AHOV	28

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート科	EILNRWクラス
科目名	英検対策Ⅰ			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、日高郁子、平島千華、内川孝子			
到達目標	6月3日(2017年第1回検定・必須受験)及び10月7日(2017年第2回検定)に実施される英検に合格できる力をつける。 クラスによって取得目標級が異なる為、講師独自のプリントなど用意するにあたりシラバス通りに授業が進まないこともある。			
使用テキスト	2017年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 小テスト、提出物、授業態度など。 ・期末試験 80% 授業の習熟度を期末試験に於いて評価			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	英語検定クラス授業説明 授業内容、成績評価方法についての説明 授業計画、使用プリント及び課題プリント説明(担当講師により各プリントは異なる。)		
2回	2016年第2回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、語彙強化に努める事。		
3回	2016年第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶ共に英文の基本構成を学ぶ。 並べ替え問題、作文指導(取得目標級によって異なる。) 並べ替え問題に於いては文型・熟語の習得を、作文指導に於いては自己の意見を文章で表現する力を養う。		
4回	進捗調整・リスニング	リスニングパート練習 2016年度第2回検定問題で解けなかった部分の学習。 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。		
5回	2016年第1回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
6回	2016年第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 並べ替え問題、作文指導(取得目標級によって異なる。) 		
7回	英検直前対策	6月3日(土) * 準1級受験者は6月4日(日)実施の2017年度第1回検定直前対策		
8回	進捗調整・リスニング	リスニングパート練習 2016年度第2回検定問題で解けなかった部分の学習。 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。		
9回	2015年第3回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
10回	2015年第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 並べ替え問題、作文指導(取得目標級によって異なる。) 		
11回	進捗調整・リスニング	リスニングパート練習 2015年度第3回検定問題で解けなかった部分の学習。 学生は担当講師による指定箇所のリスニングパートの復習、語彙強化に努める事。		
12回	2015年第2回検定問題	語彙問題 会話問題(取得目標級の問題形式による) 学生は担当講師による指定箇所の予習、復習、語彙強化に努める事。		
13回	2015年第2回検定問題	長文問題 語彙を学ぶと共に、過去問題を解く。 並べ替え問題、作文指導(取得目標級によって異なる。) 		
14回	進捗調整・リスニング	リスニングパート練習 2015年度第2回検定問題で解けなかった部分の学習。 二次試験対策 面接指導		
15回	進捗調整	2016年第2回、2015年第3回、2015年第2回問題で解答できなかった部分の授業。		
16回	進捗調整	前期授業のまとめ 学生は前期授業で理解できなかった部分など質問するなど積極的授業参加する事。		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RW①クラス
科目名	英検対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標 □ 検定あり 英文法を学び英語の基礎力を上げる。 文法は英語を発信する際に必要なので、英語を使って意思疎通するためにも文法力は欠かせない。 英検やTOEICなどの文法問題の解法を学ぶと同時にコミュニケーションのための英語力を身につけることを目標とする。				
使 用 テキスト 入門英文法問題精講				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(小テスト) ・期末試験 80%				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 英文法基本の整理 主語、述語について理解する		
2回	1. 動詞と文型	自動詞と他動詞 動詞と名詞の関係 英語では他動詞(自動詞と間違いやすい動詞を知る)		
3回	1. 動詞と文型	文型 補語になる品詞 練習問題		
4回	1. 動詞と文型	第4文型を使った文を理解する 第4文型から第3文型の書き換え 第5文型を使った文を理解する		
5回	2. 時制	現在時制 進行形にしない動詞 未来のことを現在形で表す		
6回	2. 時制	現在完了形 過去完了形 練習問題		
7回	3. 助動詞	助動詞のさまざまな意味 canを理解する would と used to を理解する		
8回	3. 助動詞	have to とmust の違いを理解する should のさまざまな用法を知る may mightを理解する		
9回	3. 助動詞	had better を理解する 助動詞+have done について 練習問題		
10回	4. 疑問文	what, how の使い分け 否定疑問文 付加疑問文		
11回	4. 疑問文	間接疑問文を用いた表現 疑問文の慣用句 練習問題		
12回	5. 受動態	能動態と受動態 時制と受動態 助動詞つきの受動態		
13回	5. 受動態	感情を表す動詞の表現方法 他動詞の受動態を用いた熟語 練習問題		
14回	6. 不定詞	不定詞の3つの意味 動詞+to do の表現と意味 for ―to doの表現と意味		
15回	6. 不定詞	仮目的語のit seem to doの意味と書き換え 完了形の不定詞		
16回	まとめと復習	前期のまとめ 文型・助動詞・受動態・不定詞について復習する		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	RW②クラス
科目名	英検対策Ⅱ			
担当講師（フルネーム）	日高郁子			
到達目標 ☐ 検定あり *中学1年生からの英語を総復習。基本的な文法を徹底的に復習し基礎力を身につけ、英検3級、準2級合格を目指す。 *講師独自のプリントなどを用意することも多くシラバスどおりに進まないこともあります。				
使 用 テキスト 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく（Gakken）				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ・期末試験 70%				
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	主語と動詞 Be動詞	英語の文の構造を覚える。主語、動詞の区別 Be動詞と一般動詞の区別		
2回	代名詞	主格、所有格、目的格、所有代名詞		
3回	Be動詞	Be動詞の肯定文、疑問文、否定文の作り方。 Be動詞総復習		
4回	一般動詞	よく使う動詞を覚えよう 一般動詞の肯定文（主語が、I you 複数の場合） 疑問文、否定文		
5回	一般動詞	一般動詞の肯定文（主語が、3人称単数の場合） 疑問文、否定文		
6回	疑問詞	what, where, who, when, why, how などの疑問詞の使い方、答え方		
7回	現在進行形	Beting の文章の作り方、肯定文、否定文		
8回	過去形	過去形の動詞の変化を覚える 肯定文、疑問文、否定文		
9回	未来形	be going to / will		
10回	助動詞	can,must, should, may など助動詞の意味、使い方		
11回	命令文	命令文、否定命令文の作り方		
12回	これまでの復習	これまでの総復習		
13回	受動態	受動態の作り方 受動態→能動態 能動態→受動態		
14回	That節①	That 節を使った文章の翻訳		
15回	That節②	時制の一致 間接文		
16回	総復習	これまでの総復習		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科・エアライン科	RW③
科目名	英検対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	羽矢茂(はやしげる)			
到達目標				
①コミュニケーションの手段として英語が楽しいと感じられること。				
②基本的な英文法を学び、演習問題で知識を確実にする。				
③文法・読解力の知識を伸ばす。				
使 用 テキスト				
①総合英語「One」(アルク) ②プリント「文法問題」 ③プリント「長文」				
成績評価方法				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
授業態度、提出物、小テストなどの平常点30%＋期末テスト70%で総合評価する。				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回(4/11)	単語(品詞)の種類 文の種類	・授業の進め方、期末試験、評価方法の説明 ・名詞・動詞(be動詞/一般動詞)・補語・副詞・形容詞 ・肯定文・否定文・疑問文・命令文 ・確認テスト		
2回(4/18)	時制	・時制とは ・現在・過去・未来・進行形の意味 ・確認テスト		
3回(4/25)	完了形	・現在完了・過去完了・未来完了 ・確認テスト		
4回(5/9)	助動詞	・助動詞の種類(can / will / be able to / had better / would / could / may など) ・助動詞の意味と役割 ・確認テスト		
5回(5/16)	受動態	・受動態の作り方・意味 ・確認テスト		
6回(5/23)	不定詞	・不定詞の意味 ・確認テスト		
7回(5/30)	動名詞	・動名詞の表現・意味 ・確認テスト		
8回(6/6)	分詞	・分詞の役割・意味 ・確認テスト		
9回(6/20)	関係詞(1)	・関係詞の種類 ・関係代名詞と関係副詞の見分け方 ・確認テスト		
10回(6/27)	関係詞(2)	・関係代名詞と関係副詞の見分け方 ・確認テスト		
11回(7/4)	比較級	・比較級・最上級の作り方 ・確認テスト		
12回(7/11)	仮定法	・仮定法の意味と表現 ・仮定法過去・未来・過去完了 ・確認テスト		
13回(9/26)	疑問文・否定文	・疑問表現(who / when / where / why / how など) ・否定表現(not A but B/ hardly /rarely /few/ little /now always など) ・確認テスト		
14回(10/3)	話法・強調	・「直接話法」・「間接話法」 ・確認テスト		
15回(10/10)	強調・倒置・挿入・省略	・強調文・倒置文の形・挿入・省略の表現 ・確認テスト		
16回(10/17)	期末対策	・期末模擬試験		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル、エアライン、国際ホテルマネジメント、エアポート科	LRSW①②③④クラス
科目名	オーラルイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Max Gonzalez, Soshi Uchida, Guzman Carlos			
到達目標	☐ 検定あり To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak. Eg: Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.			
使用テキスト	Challenge Book #4およびTake off!			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class work and attitude(50%), Oral Test (50%)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	前期オリエンテーション Challenge Book #4 P7-8 Takeoff! P1-2	オリエンテーション: クラスルールの説明と確認 Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1		
2回	Challenge Book #4 P9 Takeoff! P3-4	Q&A: Personal Information Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2 Original Sentences: Do you want to _____? , etc.		
3回	Challenge Book #4 P10 Takeoff! P5-6	Presentation: Introducing a Friend Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3 Original Sentences: I _____ yesterday. , etc.		
4回	Challenge Book #4 P11 Takeoff! P7-8	Q&A: Family Test Role Play: Dialog 4 At the Library 1 Original Sentences: Let me _____ , etc.		
5回	Challenge Book #4 P12 Takeoff! P9-10	Presentation: My Family Presentation Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1 Original Sentences: I hope _____ , etc.		
6回	Challenge Book #4 P13 Takeoff! P11-12	Q&A: Sports Interview Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1 Original Sentences: I usually _____ , etc.		
7回	Challenge Book #4 P14 Takeoff! P13-14	Presentation: My Favorite Sport Role Play: Dialog 7 In the Classroom 2 Original Sentences: Can you _____? , etc.		
8回	Challenge Book #4 P15 Takeoff! P15-16	Q&A: Cuisine Interview Role Play: Dialog 8 In the Classroom 3 Original Sentences: I'm going to _____ this weekend. , etc.		
9回	Challenge Book #4 P16 Takeoff! P17-18	Presentation: My Favorite Restaurant Role Play: Dialog 9 In the Classroom 4 Original Sentences: _____ because _____ , etc.		
10回	Challenge Book #4 P17-18 Takeoff! P19-20	Review & Culture Point: Shaking Hands Role Play: Dialog 10 At the School Cafeteria 4 Original Sentences: How long did it take to _____? , etc.		
11回	Challenge Book #4 P21 Takeoff! P21-22	Q&A: School Memory Lane Role Play: Dialog 11 At a Department Store 1 Original Sentences: May I _____? , etc.		
12回	Challenge Book #4 P22 Takeoff! P23-24	Presentation: My Best School Trip Role Play: Dialog 12 At a Restaurant 1 Original Sentences: Are you ready to _____? , etc.		
13回	Challenge Book #4 P23 Takeoff! P25-26	Presentation: My School Club Role Play: Dialog 13 In the Classroom 5 Original Sentences: I don't like _____ , etc.		
14回	Challenge Book #4 P24 Takeoff! P27-28	Q&A: Music Interview Role Play: Dialog 14 In the Classroom 6 Original Sentences: Maybe _____ , etc.		
15回	Oral Test	Teacher will choose 1 challenge which students have already learned from the Challenge Book.		
16回	Oral Test (If not finished) Challenge Book #4 P25 Takeoff! P29-30	Presentation: My Favorite English Song Role Play: Dialog 15 In the Hallway 2 Original Sentences: How did you _____? , etc.		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル、国際ホテルマネジメント科	E①②、S①クラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	Ron Vanderlinden			
到達目標 ☐ 検定あり	To make the students enjoy using English. To improve the students spoken English. To improve the students confidence in regards to English			
使用 テキスト	Get Ready To Go! Homestay Adventures (Macmillan Language House)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 Class participation and attitude - 50% Oral test - 50%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	Greetings Homestay Adventures P2-3	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 1 Phrases: Hello. / Goodbye. / How are you? / I'm fine, thank you. / etc Unit 1A		
2回	Basic Personal Information 1 Homestay Adventures P4-5	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 2 Phrases: What's your name? / How old are you? / etc Unit 1B		
3回	Basic Personal Information 2 Homestay Adventures P6-7	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 3 Phrases: What's your favorite subject at school? / Where were you born? / etc Unit 2A		
4回	General Topics 1 Homestay Adventures P8-9	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 4 Phrases: What day is today? / What's the date today? / etc Unit 2B		
5回	General Topics 2 Homestay Adventures P10-11	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 5 Phrases: What time is it? / What time do you wake up every morning? / etc Unit 3A		
6回	Basic Personal Information 3 Homestay Adventures P12-13	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 6 Phrases: Do you like _____? / Can you _____? / etc Unit 3B		
7回	Basic Personal Information 4 + Extra Homestay Adventures P14-15	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 7 Phrases: Which do you prefer, ___ or ___? / How often do you _____? / etc Unit 4A		
8回	Basic Personal Information 5 Homestay Adventures P16-17	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 8 Phrases: What do you like? / What does your mother like? / etc Unit 4B		
9回	Basic Personal Information 6 Homestay Adventures P20-21	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 9 Phrases: Which do you want? / What do you have to do? / etc Unit 5A		
10回	Basic Personal Information 7 + Requests Homestay Adventures P22-23	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 10 Phrases: What don't you have to do? / Let's _____. / etc Unit 5B		
11回	Permission 1 + Polite Phrases Homestay Adventures P24-25	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 11 Phrases: May I _____? / What would you like? / etc Unit 6A		
12回	Location + Present Continuous Homestay Adventures P26-27	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 12 Phrases: Where is _____? / What are you doing now? / etc Unit 6B		
13回	Past Tense + Price Homestay Adventures P28-29	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 13 Phrases: What did you do yesterday? / How much is _____? / etc Unit 7A		
14回	Future Tense 1 Homestay Adventures P30-31	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 14 Phrases: What are you going to do tomorrow? / Is your friend going to _____? / etc Unit 7B		
15回	Oral Test	Verbal Questions and Answers from Phrase List		
16回	Future Tense 2 + Present Perfect Continuous Takeoff! P32-33	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 15 Phrases: What will you do later? / What have you been doing? / etc Unit 8A		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート ・夜間総合観光・国際ホテルマネジメント(日本人)科	ELNRWY・S①クラス
科目名	ビジネス能力検定			
担当講師(フルネーム)	徳永美千留・榎本美和子・田中友加利・原田歩・池田香織			
到達目標	☒ 検定あり ・ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(12月受験) ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。 ・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2017年度版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験 60% 平常点 40%(出席率・課題)			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法		
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ 第2章 仕事の基本となる8つの意識		
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー		
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談		
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性		
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客応対と訪問の基本マナー 第7章 会社関係でのつき合い		
7回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本		
8回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話応対		
9回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方 第5章 情報収集とメディアの活用		
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用		
11回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
12回	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
13回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
14回	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
15回	過去問題	過去問題解答 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		
16回	過去問題	過去問題解説 過去問題を解き問題に慣れ出題傾向を知る		

対象学年	1年	対象クラス	全科共通	ELRWINSYクラス
科目名	コンピュータ			
担当講師(フルネーム)	乙咩清美			
到達目標	〇 検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピング・文書作成スキルを身につける Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級レベルのスキルを習得する Windowsの仕組みを知り、マルチタスク操作キーボード操作等のスキルを身につけ、ビジネスシーンでの活用力を習得する			
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集 タイピング問題・Word・Excel基礎問題プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・小テスト 30% ・期末試験 50%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力		
2回	Word基礎	タイピング練習 シンプルな社内文書作成 ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け・切取線など)		
3回	Word基礎	タイピング練習 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など		
4回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) Excelの画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 計算式		
5回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)		
6回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 効率よく表を作成する方法、データ入力について学ぶ 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める		
7回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒、横棒、折れ線、円グラフ)		
8回	Word基礎 Excel基礎	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) エクセルの表示形式について、その意味を学習する 基本的なグラフ作成と印刷イメージの設定		
9回	Word基礎 Excel基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 3級過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際のデータ処理の考え方を身につける		
10回	Word基礎 Excel基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 3級過去問題を解きながら、効率の良い計算表の作成と、実際のデータ処理の考え方を身につける		
11回	Word基礎 Excel基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること		
12回	Word基礎 Excel基礎 Excel基礎演習問題	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 学んだ知識を深めるため、3級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること		
13回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 条件式の作り方を学び、高度な関数を利用して 関数をネストするという考え方を学ぶ		
14回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 応用的な関数のマスター 複合グラフの作成		
15回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること		
16回	前期期末試験	前期期末試験実施		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道1年を除く全科	EILRSWYクラス
科目名	SPI非言語対策			
担当講師(フルネーム)	俣野清貴・榎木田裕夫・北村正雄			
到達目標	☐ 検定あり matano 航空系、旅行系、ホテル系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。これらの企業・会社で採用されているのは、今までは(株)リクルートのSPI(テストセンター WEB ペーパー)ですが、最近は航空・旅行・ホテル企業では日本SHL社の玉手箱GAB形式やNOMA総研のSCOAも採用されています。SPIだけでは不十分なので講義でフォローしますね。分野では推論分野からの出題が非常に増えています。自分が希望する企業の面接試験という土俵に上がって相撲を取るにはSPIなどの能力試験に合格する必要があります。この試験に合格しなければ、あなたの企業に対する熱い思いを面接で面接官にぶつけることができません。希望の企業に合格して夢を実現することができるよう、全力でサポートします。			
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)他レジュメ等 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末テスト+授業態度・出席率			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 航空業界・旅行ホテル業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解ける地は限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。		
2回	四則計算1	十 - × ÷ (加減乗除)の処理の順番 この問題では桁数の多い問題が出題されますので、とにかく早く計算することが求められます。少数がついた数字と分数の掛け算・割り算は間違わないようにしましょう。通常は一桁の9×一桁の9=81 が最大ですが三桁の掛け算・割り算もマスターしましょう		
3回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうの問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それがSPI非言語と命名されている理由だと思います		
4回	鶴亀算1	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の本数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方でいて正解にたどり着ければよいのです。		
5回	鶴亀算2	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の本数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方でいて正解にたどり着ければよいのです。		
6回	速さ・時間・距離1	この問題は小学校では旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。あとは流水算もあります。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は鉄橋通過算です。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか?		
7回	速さ・時間・距離2	この問題は小学校では旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。あとは流水算もあります。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。特に有名な問題はAが分速60mで駅から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後駅から何mの地点でAに追いつけますか?		
8回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあげてみせます。食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。①食塩水Aに水または、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%? ③食塩水Aに食塩を混ぜて濃度が、より濃い食塩水Bにするには食塩は何g必要?		
9回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあげてみせます。食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。①食塩水Aに水または、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%? ③食塩水Aに食塩を混ぜて濃度が、より濃い食塩水Bにするには食塩は何g必要?		
10回	金銭の問題 比と割合	割合の考え方を基本に問題演習を实践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにします。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの日が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか?		
11回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。とても大事なので1年後期でも学習します。		
12回	順列1 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。公式は、 nPr $P = \text{permutation} = \text{順列}$ n は全体の数字 r は n 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。		
13回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。公式 nCr $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。		
14回	損益算1	損益算は普通高校卒業の学生にとっては馴染みが薄く、難しく感じられますが基本からじっくり学習していきます。利益 利益率 割引率 割引額 原価(仕入れ値) 定価 売価などの言葉は、商業高校を卒業した学生には、なじみがあり、難しく感じられません。普通高校を卒業した学生にとっては言葉の意味から理解していかなければなりません。しかしこの分野も超頻出分野です。得意科目になるよう一緒に頑張りましょう。		
15回	損益算2	損益算は普通高校卒業の学生にとっては馴染みが薄く、難しく感じられますが基本からじっくり学習していきます。利益 利益率 割引率 割引額 原価(仕入れ値) 定価 売価などの言葉は、商業高校を卒業した学生には、なじみがあり、難しく感じられません。普通高校を卒業した学生にとっては言葉の意味から理解していかなければなりません。しかしこの分野も超頻出分野です。得意科目になるよう一緒に頑張りましょう。		
16回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 損益算の復習 と 後期学習の最重要分野の推論について		

対象学年	1年	対象クラス	全科(鉄道科除く)	EILRSYクラス
科目名	SPI言語対策			
担当講師(フルネーム)	前田恭子 ・ 山本真美			
到達目標	就職試験における筆記試験の言語系(国語・社会)の対策授業。 SPI言語の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す。			
使用テキスト	・一般常識チェック&マスター / 実教出版 ・一般常識(一問一答) / 新星出版社			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点(授業態度・提出物) 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	就職試験に漢字は必須	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験(現在、取得の級より上の級の問題を解く) *7/14校内で実施される漢字検定に向けての準備		
2回	日本を知ろう	日本の白地図を使用して県名を確認する。 ural覚えの知識を確かな知識に変える一歩。		
3回	世界地図を広げよう①	日本をおさえたら、次は世界。白地図で主要な国の位置と首都を把握します。		
4回	世界地図を広げよう②	ニュースの中で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします。		
5回	『サミット』から見えるもの	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ 1年に1回集まって地球の将来を決める？今年はイタリアでの開催です。		
6回	グローバル社会を考える	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます。 中学・高校でも学んだILOやWHOの登場です。		
7回	グローバル社会を考える	程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要です。 国同士の『付き合い』を地域協定(EU・ASEANなど)を通して考えます。		
8回	世界が作るもの	世界各地の産物を学び、産地(国名や都市名)と組み合わせができるようにする。 また、EPAやFTA、TPPなども併せて学びます。 ・練習問題		
9回	日本の特産品を知る	日本各地の産物を学び、産地と組み合わせができるようにする。 ・練習問題		
10回	日本史の中の人物①	日本史上の人物に焦点をあてて、歴史をみる。あわせて遺跡もチェックする。 ・練習問題		
11回	日本史の中の人物②	前週に続き、人物と「歴史上の出来事」に重点をおいて、歴史を考える。 ・練習問題		
12回	世界史の中の人物	有名な歴史の出来事を追い、人物と「何」が起きたか？を覚える。 ・練習問題		
13回	文化は歴史が作る	文化史において、宗教や人物、建造物などを覚える ・練習問題		
14回	思想史	思想史は、名言・名句や人物と著書の組み合わせを覚えていく ・練習問題		
15回	文学史	作品名と作者、名作の冒頭を学びます。 ・練習問題		
16回	前期 総復習	前期を振り返り、苦手科目をなくすように問題を解く。 ・練習問題		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科 エアライン科 エアポート科	E① E② RW① RW② クラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			
到達目標	☐ 検定あり ① 接客業で重視される第一印象を整える。(表情 態度 挨拶 身だしなみ 言葉遣い) ② 自己分析する中で業界に通じる適性を発見しアピールする ③ 短時間で自分の良さを理解してもらうための、伝える力を磨く。			
使用テキスト	なし プリントを配布しますのでクリアファイル等を準備して毎回持参すること			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ★ 曜日にかかわらず毎回制服着用(※ 最終回(面接試験当日)予告なく欠席の場合は授業中の行った模擬面接を評価点とする) ・期末試験 70% ※ 最終回(面接試験当日)予告なく欠席の場合は授業中の行った模擬面接を評価点とする			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	この授業の受け方と注意点 就職の面接形式と実際について ●実技:正しいお辞儀を身につける		
2回	自己分析①	自分の特徴を分析する (長所・短所) ●実技:声の大きさに気を付けて話す (自己紹介)		
3回	自己分析②	自分の特徴を分析する (長所・短所) ●実技:表情に気を付けて話す (自己紹介)		
4回	自己PR①	自分の過去の経験に基づいたPRする ●実技:短いPR		
5回	自己PR②	今までで一番喜びを感じた事をPRする ●実技:短いPR		
6回	自己PR③	今までで一番努力したことをPRする ●実技:1分で話す		
7回	自己PR④	自分が影響を受けた物・人・ことを伝える ●実技:1分で話す		
8回	面接試験	自己PR(1分間) ※この日に公欠などわかっていれば事前に申し出ること		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科、ブライダル、国際ホテルマネジメント科	E,I,Sクラス
科目名	ホテル英会話 I			
担当講師(フルネーム)	佐藤俊子、日高郁子、小西啓介			
到達目標	☐ 検定あり ① ホテルで使う英語の基本的な表現を身に着ける ② 状況に応じて英語で対応できるようになる。			
使用テキスト	ホテル英会話1			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方の説明とホテルの英語の特徴を学ぶ	* 授業の進め方とテストについて確認する * 自己紹介を英語でする * ホテルの英語の特徴を学ぶ		
2回	Lesson 1 Greetings	* お客様がホテルにご到着された時のご挨拶を学ぶ * お客様がホテル滞在中に使う挨拶を学ぶ * お客様がご出発されるときに使う挨拶を学ぶ		
3回	Lesson 1 Greetings	* テキストに従ってロールプレイをして表現を身に着ける * 状況に応じて自然にレスポンスできるように何度も練習する * 言い換え練習をする		
4回	Lesson 2 Polite Expressions	* レッスン1の復習テストで理解度を確認する * May I?の使い方を学ぶ * Would you like?の使い方を学ぶ		
5回	Lesson2 Polite Expressions	* Could you? の使い方を学ぶ * Shall I?の使い方を学ぶ * ロールプレイをして表現を身に着ける		
6回	Lesson 3 Expressing Thanks and apology	* レッスン2の復習テストで理解度を確認する * 感謝の表現を学ぶ * 謝罪の表現を学ぶ		
7回	Lesson3 Expressing Thanks and apology	* ロールプレイをして自然なレスポンスを身に着ける * 置き換え練習をする * 状況に応じて誠意をもって表現できるように表情も工夫する		
8回	Lesson 4 Expressing Numbers	* レッスン3の復習テストをして理解度を確認する * 数字の言い方を学ぶ * 時間の言い方、営業時間の言い方を学ぶ		
9回	Lesson 4 Expressing Numbers	* 階数の表現を学ぶ * お部屋番号の言い方を学ぶ * 電話番号が言えるようになる。 * 金額の表現ができるようになる		
10回	Lesson 5 Doorman	* レッスン4復習テストをして理解度を確認する。 * ドアマンに必要な方向を示す表現を学ぶ * 置き換え練習をする。		
11回	Lesson 5 Doorman	* ホテル内の案内表現を確認する * ホテル外の道案内ができるようになる。 * ロールプレイをして確認する		
12回	Lesson 6 Bell Person	* レッスン5の復習テストをして理解度を確認する * ベルに必要な英語表現を学ぶ * ロールプレイをして理解度を深める		
13回	Lesson 6 Bell Person	* 置き換え練習をする * ロールプレイをして一連の流れをつかみ、実際にご案内できるように何度も練習する * 荷物のいいかた、お部屋の備品の英語表現を確認する		
14回	Lesson 7 Cdloakroom Attendant	* レッスン6の復習テストをして理解度を確認する * クローゼットスタッフの業務を理解して英語表現を学ぶ * 置き換え練習をする		
15回	Lesson 7 Cdloakroom Attendant	* ロールプレイをして理解度を深める * 置き換え練習をする。 * 貴重品や預かることができないものの確認をして、その英語表現を学ぶ		
16回	まとめ	* レッスン7の復習テストをして理解度を確認する * 前期全体の復習をする * テスト範囲の確認。重要表現の復習をする		

対象学年	1・2年	対象クラス	共通	AH MV LR	クラス
科目名	韓国語				
担当講師(フルネーム)	権京愛 ・ 李へ玉				
到達目標	☐ 検定あり ハングルの仕組みと正しい発音を学び、読む、書く練習を重ね、ハングルが読める、書けるようになる。 文法や文型を学び、短いフレーズを覚える。 また、授業関連の文化、歌などを取り入れ愉しみながら、将来職場で活用できるように韓国語の基礎を自然に身に付けることを目標とする。				
使用テキスト	ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と平常点を総合的に評価する。				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容			
1回	ORIENTATION・基本母音	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 基本母音を学び、書く練習をしながら覚える。 歌で韓国の挨拶を習う。			
2回	基本子音と基本母音	基本子音を学んで、既習の基本母音と組み合わせ、正しく発音ができるように練習を重ねる。 子音＋母音、関連単語の発音と書く練習する。 簡単な挨拶表現、教室用語を覚え、授業中に使えるように練習する。			
3回	合成母音と練習問題	合成母音を学んで子音と組み合わせ、発音の練習と書く練習を重ねる。 子音＋合成母音、関連単語の練習をし、覚える。 韓国童謡を習い、単語を覚える。			
4回	激音、濃音の練習	激音、濃音の発音を学び、書く練習をする。 母音と組み合わせで発音ができるように練習をする。 関連単語を覚え、正確に発音ができるようになる。			
5回	パッチムの発音	代表的なパッチムの音の表記と関連単語を書く練習をしながら覚える。 二重パッチムの発音の仕方と関連単語を学び、しっかり発音できるように練習を重ねる。 自分の名前をハングルで書いてみよう！			
6回	存在	存在の表現「あります」、「います」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 関連単語を覚え、会話の練習をする。 短文を作って発音の練習をする。			
7回	存在の否定	存在の否定の表現「ありません」、「いません」を学び、テキストの文章を声を出して読む練習をする。 買い物の表現を学び、会話の練習をする。 否定の短文を作って会話練習をする。			
8回	肯定・疑問と否定	肯定・疑問「～です、～ですか」と否定「～ではありません」の表現を学び、覚えるまで繰り返し練習をする。 韓国語で自己紹介したり、物を尋ねたりしながら会話の練習をする。 パッチムなど発音に気を付け、正しい発音で言えるようにする。			
9回	疑問の尊敬と要求	疑問の尊敬「～でいらっしゃいますか？」と要求「ください」に当たる表現を学び、言えるまで練習を重ねる。 将来、職場で自然に尊敬語が使えるように身に付ける。 お客様に使えるようなフレーズを覚える。			
10回	値段を尋ねる、漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようにする。 漢数字を使った価格の表現の仕方を学び、会話の練習をする。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。			
11回	固有数詞と助数詞	固有数詞と助数詞を学び、正しい発音で言えるようになりましょう！ 例)「何人ですか？」「何個ですか？」「何時ですか？」など置き換え練習をする。 韓国商品のチラシを見て商品の値段が正しい発音で言えるようになる。			
12回	指示詞	指示詞を覚え、物を尋ねる表現を学ぶ。 「これは」「それは」「あれは」「何ですか？」「何個ありますか？」のように会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。			
13回	文字・文型の復習	既習のハングルの母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度しっかり復習し、正しく読み書きできるようにする。 漢数字も復習し、値段を尋ねる会話の練習をする。 普段よく使われる韓国語の縮約形の言葉について学ぶ。			
14回	日付	時を尋ねる表現を学んで会話練習をする。 1月～12月、1日～31日までの言い方を発音に気を付けながら覚える。 クラスメートと「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」などと互いに会話練習をする。			
15回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 映画を通して日本と韓国の文化の違いを探し、皆で話し合おう！			
16回	総まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 文法、文型、発音などをおぼいし、期末テストに備える。 既習の韓国語で一言ずつ発表する。(好きな事や嫌いな事、夢などについて)			

対象学年	1年 ・ 2年	対象クラス	共通	AHMV ・ LRクラス
科目名	中国語			
担当講師(フルネーム)	青山祐子			
到達目標	☐ 検定あり 中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高める。			
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社) 喜多山 幸子 ・ 鄭 幸枝 著			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(40%)＋期末テスト(60%)			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	中国一般事情	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶		
2回	中国のについての理解	DVDを鑑賞し、中国への理解に関する感想文を書く		
3回	中国語の発音”声調” ”母音””子音”	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)		
4回	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声＋第3声→第2声＋第3声などの練習		
5回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文		
6回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么” ・ ”谁”)		
7回	トレーニング2 第3課キャンパスで	6. 省略疑問文 ◇人の呼び方 7. 指示代名詞		
8回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	8. 形容詞述語文 9. ”～的”		
9回	トレーニング4	10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有”		
10回	復習1 自己紹介	12. 反復疑問文 13. 数 詞		
11回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”		
12回	トレーニング5	16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞		
13回	第6課王先生の研究室で	18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)		
14回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了”		
15回	トレーニング7 中国語の歌を習おう	23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”		
16回	期末テストの対策	今まで勉強した内容についてのおさらい		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン科	KO クラス
科目名	韓国語			
担当講師(フルネーム)	権京愛			
到達目標 ☐ 検定あり ハングルが正確に読み書きできるようにして、文法、文型を学ぶ。 昨年度の引き続き、様々な場面で使える会話を身に付ける。 韓国の歌、映画のストーリーにふれながら、自然に韓国語が身に付けることと将来職場で活用できることを目標とする。				
使 用 テキスト ゼロからスタート韓国語(会話編) 著者名:鶴見ユミ 出版社:Jリサーチ出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 定期試験と平常点を総合的に評価する。				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	自己紹介とお祝い	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特に忘れてしまったハングル文字があれば、復習して読める、書けるようにする。		
2回	人を探す表現	「だれに会いますか?」「あの方はだれですか?」「だれと〜」「だれが〜」に当たる表現を学ぶ。 覚えるまで繰り返し、会話の練習をする。 韓国歌の歌詞を覚えよう!		
3回	理由を探す表現	「どうして」に当たる疑問詞を使った表現を覚え、会話練習をする。 「どうして遅れましたか?」「どうして韓国語を勉強していますか?」など、繰り返し会話の練習をする。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。		
4回	状態を探す表現	「気分はどうですか?」「明日の天気はどうですか?」などの表現を学ぶ。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら会話練習をする。		
5回	手段・方法を表す表現	「どうやって」「どのように」になど、方法を尋ねる時に用いる表現を身に付ける。 また、質問に対して返事ができる表現を学ぶ。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える		
6回	良好を表す表現	「～がいいです」「～がいいですか?」 「～はよくないです」に当たる表現を覚え、韓国旅行で買い物ができるようにしっかり身に付ける。 韓国商品のチラシを見ながら、商品の名前、値段が言えるように練習する。		
7回	好みを表す表現	「～が好きです」「～が嫌いです」に当たる表現を学ぶ。 特に日本語の助詞と違う韓国語の助詞に気を付けながら覚える。 クラスメートと会話練習をする。		
8回	練習問題	テキストの練習問題を解きながら、まだ分からない文法・表現などを復習する。 問題に書いてある文章で会話練習をする。 韓国歌の歌詞を覚える。		
9回	韓国旅行に役立つ表現	韓国料理のメニューを覚え、レストランで注文したり料金を支払ったりする会話練習をする。 道を尋ねたり切符を買ったりする表現を覚え、韓国旅行に役立つようになり身に付ける。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう!		
10回	합니다体と 해요体	합니다体と 해요体の言いまわしの練習をする。 動詞の原形を覚え、丁寧語の합니다.해요に直して言えるように練習をする。 クラスメートと互いに質問したり、答えたりしながら覚える。		
11回	位置名詞	位置名詞を覚え、言えるようにする。 絵や地図を見ながら建物の場所を教えたり、聞いたりする。 韓国の歌で楽しく位置名詞を覚える。		
12回	助詞	助詞をまとめて例文を挙げながら学んで覚える。 説明を聞いてから、自分で例文を作って理解する。 趣味や家族関係などについて韓国語でクラスメートとロールプレイする。		
13回	現在形と過去形	現在形と過去形を覚える。 丁寧語の現在形と過去形の例文を作る練習をする。 友達に使うため口や目上の人に使う尊敬語の言い方を練習する。		
14回	意志・推量・～したい	意志の表現を覚え、これから自分がどうしたいのかを述べる練習をする。 または、相手がどうしたいかを聞いたりする。 「～に行きたい」「～を食べたい」などとクラスメートと会話をする。		
15回	韓国文化に触れる	韓国映画鑑賞を通して、韓国文化に触れ、どれぐらい韓国語が聞き取れるか自分の実力を試してみる。 聞き取れる単語やセリフなどをメモしながら映画を観る。 映画を観て日本と韓国の文化の違いを発表する。		
16回	韓国語で面接の練習	面接時に「どうして当社を選んだのか」などを聞かれた時、韓国語で上手に答えられよう面接の練習をする。 韓国語で自分をアピールできるような文章を書き、スピーチの練習をする。 期末テストに備え、総まとめをする。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン科	KOクラス
科目名	中国語			
担当講師(フルネーム)	青山祐子			
到達目標	☐ 検定あり 習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高める。			
使用テキスト	中国語1年め(白水社) 緒方 昭・小林 光考・胡 慶華 著			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業への取り組み姿勢(40%)＋期末テスト(60%)			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	発音の復習	中国語の発音”声調” ”母音””子音”		
2回	第1課 中国人留学生と知り合う	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 ☐ 姓名の言い方		
3回	トレーニング1 第2課 携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”		
4回	トレーニング2 第3課 いっしょに勉強しよう!	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也”と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置		
5回	トレーニング3 第4課 ファストフード店で	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文		
6回	トレーニング4 第5課 Tシャツを買う	1. 数 詞 2. 量 詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在”		
7回	トレーニング5 第6課 いっしょに遊びに出かける	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想”・”要” 4. 語気助詞の”吧”		
8回	トレーニング6 第7課 花火は何時から?	1. 前置詞(1)”在”・”从”・”离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型		
9回	トレーニング7 第8課 学園祭	1. 助動詞(2)”会”・”能”・”可以” 2. 経験を表わす”过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 ☐ 時間の長さの言い方		
10回	トレーニング8 第9課 カラオケに行く	1. 様態補語 2. 前置詞(2)”给”・”跟” 3. 連動文		
11回	トレーニング9 第10課 中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文		
12回	トレーニング10 第11課 帰国を前にして	1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の”还是”		
13回	トレーニング11 第12課 空港で	1. 可能補語 2. ”是…的”の文 3. 2つの目的語をとる動詞		
14回	トレーニング12 よく使われるその他の語	☐ 時を表わす語 ☐ 時間の長さの尋ね方 ☐ 方向を表わす語 ☐ お金の数え方 ☐ 注意する100以上の数の数え方		
15回	中国語の映画鑑賞	今まで習得した単語と会話の再確認		
16回	期末テストの対策	今までのおさらい		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	AHクラス
科目名	フランス語			
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			
到達目標	検定あり フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。 主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。			
使 用 テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	挨拶	自己紹介を勉強してからロールプレイ フランス語のアルファベット。読み方。		
2回	Etre 動詞	フランス語の「です」 Je suis Japonais. Je suis Etudiant. テスト1		
3回	Avoir 動詞	フランス語の「ある・持つ」 J'ai un sac. J'ai une soeur. テスト2		
4回	Aller 動詞	フランス語の「行く」 Je vais en France. テスト3		
5回	[ER] 動詞	フランス語の一番簡単な動詞。予定・未来の話 Je mange. Je vais manger. テスト4		
6回	Aimer 動詞	好きなものを言える J'aime la France. J'aime le café. テスト5		
7回	質問1	ですか・ありますか？ Est-ce que tu es Japonais? Est-ce que tu as un animal? テスト6 (1回目～6回目)		
8回	質問2	行きますか・好きですか？ Est-ce que tu vas a Paris? Est-ce que tu aimes la musique? テスト7		
9回	何？質問	何ですか？何が好きですか？ Qu'est-ce que c'est? Qu'est ce que tu aimes? テスト8		
10回	どこ？質問	駅はどこですか？どこに住んでいますか？ Ou est la gare? Ou est-ce que tu habites? テスト9		
11回	数字・値段	1-2-3. いくらですか？ Un, deux, trois... Combien est-ce que ca coute? テスト10 (7回目～10回目)		
12回	いつ？質問	誕生日はいつですか？ いつフランスに行きますか？ Quand est ton anniversaire? Quand est-ce que tu vas en France? テスト10		
13回	何時？何色？質問	何時に食べますか？何色が好きですか？ A quelle heure est-ce que tu manges? Quelle couleur est-ce que tu aimes? テスト11		
14回	形容詞 1	小さい・大城・美味しい・楽しい C'est petit. C'est grand. C'est bon. C'est beau. テスト12		
15回	形容詞 2	小さすぎる・大きすぎる・彼は優しい C'est trop petit. C'est trop grand. Il est gentil. テスト13 (11回目～15回目)		
16回	ロールプレイ	パリへの旅行をしながら、色んなロールプレイ Bonjour. Je suis Japonais. Je voyage a Paris. Je m'appelle Nicolas. Combien ca coute? C'est trop cher. Est-ce que vous avez un T-shirt bleu?		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート科	AHKMOVクラス
科目名	英検対策			
担当講師(フルネーム)	佐藤俊子、中牟田登喜枝、日高郁子、内川孝子、榎本美和子			
到達目標 ☒ 検定あり 6月3日実施の2017年第1回検定、及び10月7日実施の2017年第2回検定(必須受験)に合格できる力をつける。 クラスによって取得目標級が異なる為、講師独自のプリントなど用意するにあたりシラバス通りに授業が進まないこともある。				
使 用 テキスト 英検7日間完成 英検予想問題ドリル(旺文社)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 小テスト、提出物、授業態度など。 ・期末試験 80% 授業の習熟度を期末試験に於いて評価				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	英語検定クラス授業説明 授業内容、成績評価方法についての説明 授業計画、使用プリント及び課題プリント説明(担当講師により各プリントは異なる。)		
2回	テキスト1st day	語彙問題、会話文問題(会話問題は受験級の出題形式による) 語彙、熟語の強化 学生は担当講師による指定箇所の予習、語彙強化に努める事。		
3回	テキスト1st day	長文問題 語彙を学ぶと共に、予想問題を解く。 並べ替え問題(並べ替え問題は受験級の出題形式による) 作文指導(受験級の出題形式による)		
4回	テキスト2nd day	語彙問題、会話文問題(会話問題は受験級の出題形式による) 語彙、熟語の強化 学生は担当講師による指定箇所の復習、語彙強化に努める事。		
5回	テキスト2nd day	長文問題 語彙を学ぶと共に、予想問題を解く。 並べ替え問題(並べ替え問題は受験級の出題形式による) 作文指導(受験級の出題形式による)		
6回	テキスト3rd day	語彙問題、会話文問題(会話問題は受験級の出題形式による) 語彙、熟語の強化 学生は担当講師による指定箇所の復習、語彙強化に努める事。		
7回	テキスト3rd day	長文問題 語彙を学ぶと共に、予想問題を解く。 並べ替え問題(並べ替え問題は受験級の出題形式による) 作文指導(受験級の出題形式による)		
8回	テキスト4th day	語彙問題、会話文問題(会話問題は受験級の出題形式による) 語彙、熟語の強化 学生は担当講師による指定箇所の復習、語彙強化に努める事。		
9回	テキスト4th day	長文問題 語彙を学ぶと共に、予想問題を解く。 並べ替え問題(並べ替え問題は受験級の出題形式による) 作文指導(受験級の出題形式による)		
10回	テキスト5th day	語彙問題、会話文問題(会話問題は受験級の出題形式による) 語彙、熟語の強化 学生は担当講師による指定箇所の復習、語彙強化に努める事。		
11回	テキスト5th day	長文問題 語彙を学ぶと共に、予想問題を解く。 並べ替え問題(並べ替え問題は受験級の出題形式による) 作文指導(受験級の出題形式による)		
12回	テキスト6th day	リスニングパート練習		
13回	テキスト6th day	リスニングパート練習		
14回	テキスト7th day	二次面接対策指導 リスニングパート練習		
15回	テキスト7th day	二次試験面接対策指導 リスニングパート練習		
16回	進捗調整及び前期授業まとめ	前期授業で学んだ内容のまとめ 学生は前期授業で理解できなかった部分など質問するなど積極的授業参加する事。		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル・トラベル・鉄道・エアライン・エアポート科	AHKMOVクラス
科目名	TOEIC対策			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標　✓　検定あり TOEIC受験に向けて、試験形式に慣れる。聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。 TOEICに頻出テーマの語彙力をつける。TOEIC頻出の文法項目を理解する。 10月に実施されるTOEIC　IPテストで目標の点数を獲得する。				
使　用　テキスト TOEICテスト直前の技術				
成績評価方法				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス
科目名	観光英語			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子・日高郁子・羽矢茂			
到達目標 □ 検定あり 航空・観光系の英語表現を身につけ、現実には会話ができるようになることを目指します。 聞く、話す、書くを多用して英語を身につけます。				
使 用 テキスト Travel English at Your Fingertips				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	1.On an Airplane	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 機内で使う英語表現 アナウンスメント		
2回	2.At Immigration and Customs	小テスト 出入国手続き中に使う英語表現 税関申告書		
3回	3.Getting to a Hotel	小テスト 旅行案内所での英語表現 空港から市内への交通		
4回	4.Checking Into a Hotel	小テスト ホテルチェックインの際の英語表現 フロント係に尋ねる		
5回	5.At a Restaurant	小テスト レストランで使う英語表現 注文をする		
6回	6.Taking a Subway	小テスト 交通機関で使う英語表現 地下鉄に乗る		
7回	7.Asking for Directions	小テスト 道を尋ねる英語表現 フロント係に尋ねる		
8回	8.Fast-food Restaurant & Snack Bar	小テスト ファーストフードレストランで使う英語表現 注文をする		
9回	9.At a Bank	小テスト 両替に関する英語表現 銀行での会話		
10回	10.Hotel Services	小テスト ホテルのサービスに関する英語表現 貴重品を預ける		
11回	11.Placing a Phone Call	小テスト 電話に関する英語表現 予約の確認		
12回	12.Visiting a Campus	小テスト 尋ねるときの英語表現 感謝を表す英語表現		
13回	13.At a Pharmacy	小テスト 病気の英語表現 薬局での会話		
14回	14.Renting a Car	小テスト レンタカーに関する英語表現 自動車・保険に関する英語表現		
15回	演習	小テスト 前期で学んだ会話を使ったロールプレイ 空港での案内		
16回	まとめと復習	前期のまとめ Vocabulary Useful Expressions		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科 エアライン科 エアポート科	A① A② OV① OV②クラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			
到達目標	☐ 検定あり ● IBCでの経験をもとに自己分析を深め、企業にアピールする説得力をつける ● 自分の伝えたいことを相手に好印象で伝わるような表現力をつける ● どんな質問にも、自分のアピールを盛り込み応えることができるアドリブ力をつける			
使用テキスト	なし 毎回プリントを配布しますのでファイルを用意すること(1年次で使用したものを引き続き使用してもよい)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ★ 曜日にかかわらず毎回制服着用。やむを得ない事情がある場合は事前に申し出ること。 ・期末試験 70% ※ 早期就業者は前半の試験(中間)にて評価します			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	この授業の受け方と注意点 ●実技:伝える力を磨く		
2回	自己PR①	今までの経験をもとに自己PRする ●実技:面接官の立場に立って評価する		
3回	志望動機①	職種に対する志望動機 ●実技:模擬面接		
4回	志望動機②	企業に対する志望動機 ●実技:模擬面接		
5回	グループディスカッション①	過去問にチャレンジする ●実技:ディスカッション		
6回	質疑応答①	あらゆる質問に答える ●実技:模擬面接		
7回	面接試験(中間)	グループ面接 (この日に欠席がわかっていれば事前に申し出ること)		
8回	グループディスカッション②	過去問にチャレンジする ●実技:ディスカッション		
9回	自己PR②	IBCでの経験をもとにアピールする ●実技:個人面接		
10回	質疑応答②	あらゆる質問に答える ●実技:模擬面接		
11回	質疑応答③	あらゆる質問に答える ●実技:模擬面接		
12回	面接試験(期末)	グループ面接 (この日に欠席がわかっていれば事前に申し出ること)		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン・エアポート・鉄道・夜間総合観光科	K O V M Z クラス
科目名	コンピュータ			
担当講師(フルネーム)	乙咩清美			
到達目標	☒ 検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピング・文書作成スキルを身につける Microsoft Excelの基礎知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級レベルのスキルを習得する Windowsの仕組みを知り、マルチタスク操作キーボード操作等のスキルを身につけ、ビジネスシーンでの活用力を習得する			
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集 タイピング問題・Word・Excel練習問題プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・プレゼンテーション発表 50% ・期末試験 30%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	Word基礎	タイピング練習(タッチタイピング) 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作 タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力、ビジネス文書の基本を復習		
2回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など		
3回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 表を含むビジネス文書作成 ※表作成、ビジネス文書の基本など		
4回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 画像などを含む文書作成 ※クリップアート、ワードアート、ページ罫線など		
5回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) チラシ・パンフレット作成 ※図や画像の挿入と編集		
6回	Word基礎・応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) チラシ・パンフレット作成 ※図や画像の挿入と編集		
7回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成 ※スライドのレイアウト、画面切替効果、サウンド、アニメーション効果など		
8回	PowerPoint	課題となるテーマとストーリーを考える(11、12回に発表) スライドの作成		
9回	PowerPoint	スライドの作成と編集 配色、スライドデザイン、文字・段落の書式設定 図形・グラフ・画像などの挿入、様々な効果を付ける		
10回	PowerPoint	スライドの作成と編集 リハーサル 発表のための準備や発表時の注意点など		
11回	プレゼンテーション発表 (試験)	OALームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること		
12回	プレゼンテーション発表 (試験)	OALームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること		
13回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 条件式の作り方を学び、高度な関数を利用してみる 関数をネストするという考え方を学ぶ		
14回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 応用的な関数のマスター 複合グラフの作成		
15回	Word基礎 Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 学んだ知識を深めるため、2級過去問題を各自解くこと 各自の問題点を解消できるよう、練習すること		
16回	前期期末試験	前期期末試験実施		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道2年を除く全科	AHOVZクラス
科目名	SPI非言語対策			
担当講師(フルネーム)	俣野清貴・榎木田裕夫・北村正雄			
到達目標	☐ 検定あり 航空系、旅行系、ホテル系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。これらの企業・会社で採用されているのは、今までは(株)リクルートのSPI(テストセンター WEB ペーパー)ですが、最近は航空・旅行・ホテル企業では日本SHL社の玉手箱GAB形式やNOMA総研のSCOAも採用されています。SPIだけでは不十分なので講義でフォローしますね。分野別では推論分野からの出題が非常に増えています。自分が希望する企業の面接試験という土俵に上がって相撲を取るにはSPI試験に合格する必要があります。この試験に合格しなければ、あなたの企業に対する熱い思いを面接で面接官にぶつけることができません。希望の企業に合格して夢を実現することができるよう、全力でサポートします。			
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)他レジュメ等			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末テスト+授業態度・出席率			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 基礎事項の確認	展開は中学高校の軌跡と同じ考え方です。前後または左右に回転した場合の立方体やサイコロの目の位置が出題されます。基本的にはSPIなどでは図形問題は展開回転を除いてあまり出題されません。面積(四角形 三角形) 体積(立方体 三角錐 円錐 円柱など)の求め方は軽く触れます。小中学校の時に来ないので、求め方の公式の確認をしましょう。		
2回	推論1	推論は中学高校でも学習していない分野です。しかし最近では推論分野からの出題が多いです。問題を見てその場で論理的思考をめぐらして解くので現場的思考を見るのに優れています。1年後期で学習したように、数字をあまり使わないので、計算力はあまり必要ありません。必要なのは論理力と推理力です。位置 順番など		
3回	推論2	方向・平均点など推論は実際に解いてみないと問題自体の意味・解法が全く分かりません。ポイントは短時間で解答出来るか、コツを理解しましょう。WEBにのみ、出題されるのは簡単な連立方程式です。		
4回	集合	集合分野は極めて重要な分野です。航空・旅行・ホテルなどほとんどの企業で出題が予想されます。ベン図の理解がポイントです。いかに短時間で解答できるか、そのためにはベン図を描けることがもとめられます。集合は確率の時に出てきた、【少なくとも】という言葉の日本語の意味がとても重要です。		
5回	命題	この分野は高校数学の学習分野です。命題を大前提に、逆・裏・対偶に関するド・モルガンの法則を学習します。モルガンの法則を理解したのち三段論法につなげていきます。命題A⇒Bを真とすると、逆は必ずしも真でない 裏も真ではない 対偶のみが真 BバーならAバーは真である。命題も集合と同じように考えるとわかりやすいです。		
6回	立方体の展開・回転	展開は中学高校の軌跡と同じ考え方です。前後または左右に回転した場合の立方体やサイコロの目の位置が出題されます。基本的にはSPIなどでは図形問題は展開回転を除いてあまり出題されません。ただ九州のある企業では毎年出題されます。軌跡より、はるかに簡単なので絶対に正解しなければいけません。		
7回	1年後期までと2年7回までの学習の復習 と推論3	1年後期の推論分野の重点的な復習 推論 位置関係(3階建のアパート101号～103号・201号～203号・301号～303号にABCDEFGHの9人が住んでいる。Aの二つ上の階はE、Bの二つ上の階はI、Cは202号室ではない、Gの二つ下の階にはF、Hの二つ上の部屋はG。各自の部屋を確定しなさい)		
8回	前期前半の試験と推論4	前期前半の試験(エアラインを中心に早期に実習に行く学生対象を含めて全学生)実施 推論4 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)		
9回	推論5資料の解釈	統計資料(日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)		
10回	推論6資料の解釈	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)		
11回	推論7 SCOA玉手箱	推論7 (発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?B(Cの発言は嘘?C(Dの発言は嘘?D(Eの発言は本当?E(Aの発言は嘘ではない?)		
12回	1年全部と2年11回までの学習の復習 推論8	いままでの重点分野の復習と推論8 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2、3、5、6などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)		
13回				
14回				
15回				
16回				

2年	2年	対象クラス	全科(除くKMクラス)	AHOVZクラス
科目名	SPI言語対策			
担当講師(フルネーム)	前田恭子 ・ 山本真美			
到達目標	就職試験に合格できるように苦手分野を克服し得意分野を伸ばす。 Webテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実戦力を養成する。			
使用テキスト	・朝日キーワード就職2017最新時事用語&一般常識 / 朝日出版社			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点(授業態度・提出物) 10% ・期末試験 90%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	必ず復習する	1年次復習テスト(文学史を含む)＋解答と解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します。 残りの時間は時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます。		
2回	漢検2級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。 漢検2級レベルを目指しましょう。今年の漢検校内試験は7/14です。		
3回	新聞を読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックを忘れずに。 普段から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。インターネットの各新聞社サイトも活用しましょう。		
4回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります。		
5回	はじめてにあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題をよく見て冷静に対応しましょう。		
6回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験時間は足りていますか？試験の問題量のチェックも忘れずに。		
7回	得意分野を伸ばす	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 得意分野は何ですか？よりパーフェクトに仕上げていきましょう。		
8回	前期試験実施日	前期試験実施日(30分) ・時事問題用語解説		
9回	今日から始める	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 授業終了まで1ヵ月。目標を立ててチャレンジあるのみ		
10回	みんながデキル問題	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率が高い問題は受験者のほとんどができています。みんながデキル問題は間違えないように。		
11回	過去を振り返る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 何事も、自分がやってきたことは正しかったのか？振り返る作業も大事です。		
12回	ゴールはスタート	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。 これからも、社会の動きをウオッチして、時代の流れを見ていきましょう。		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・鉄道科	K・Mクラス
科目名	サービス接客検定			
担当講師(フルネーム)	榎本美和子、池田香織			
到達目標	☒ 検定あり 6月10日(土)に行われるサービス接客検定2級に合格する			
使 用 テキスト	サービス接客検定1-2級実問題集			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点60%、検定合格点40% 授業中に模試を行い、成績評価とする			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	サービス接客検定について、評価方法、授業の進め方を理解する		
2回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
4回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
5回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
6回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
7回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
8回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
9回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
10回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
11回	過去問題を解く	模擬試験を行う①		
12回	過去問題を解く	模擬試験解説		
13回	過去問題を解く	模擬試験を行う②		
14回	過去問題を解く	模擬試験解説		
15回	過去問題を解く	模擬試験を行う③		
16回	検定・の復習	模擬試験解説、全体を通しての復習をする		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科 エアライン科 エアポート科	KOVクラス
科目名	コミュニケーション学			
担当講師(フルネーム)	森田房子			
到達目標 □	1. 自分の意見をしっかり言えること 2. 就職面接に活かせること 3. 人の話が聞ける社会人になること			
使 用 テキスト	教科書 ビデオ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 小テスト4回 実技内容 80% 平常点 20%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	2年生になったの心構え	授業内容、評価方法の説明 各自に話してもらう		
2回	話すこと	一年次で学んだコミュニケーション学をいかし、一分間スピーチ実施		
3回	聞くこと	良い聞き方／悪い聞き方実習		
4回	聞くこと	良い聞き方／悪い聞き方実習		
5回	きれいな発声 発音	聞き取りやすい話し方について学ぶ 腹式呼吸の練習 母音・活舌の練習		
6回	仕事上のコミュニケーション	事例研究		
7回	プレゼンテーション	言葉だけではなく、発表資料など視覚的に魅せるツールを使って効果的に行なう 実習		
8回	まとめ	8週のまとめ		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・エアライン・エアポート科	K・OVクラス
科目名	ビジネスマナー			
担当講師(フルネーム)	榎本美和子 橋本美智子			
到達目標 □	1.社会人として仕事に向かう姿勢を理解する。 2.ビジネスマナーの基本を学び、テキストと同等の実技を身につける。			
使 用 テキスト	ビジネスマナー 基本テキスト プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
・平常点 20%				
・期中評価 記述試験30% 実技試験50%				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ビジネスマナーの基本	ビジネスパーソンがビジネスマナーを学ぶ必要性 第一印象の重要性		
2回	社内のマナーとルール	①就業マナー ② 受命、報告、連絡、相談 ③会議でのマナー		
3回	電話のマナー	電話対応のマナー		
4回	中間まとめ	第1回～3回の振り返り 実技試験		
5回	対応のマナー1	①来客対応マナー ②会社訪問のマナー		
6回	対応のマナー2	①②実技試験		
7回	文書の基本マナー	①デジタルマナー ②お手紙のマナー		
8回	まとめ	第1回～7回の振り返り		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル・エアライン・エアポート科	AHOVクラス
科目名	手話			
担当講師(フルネーム)	鶴田由香			
到達目標 □ 検定あり				
・聴覚障害者に対しての理解を深めながら、手話を使って日常会話ができる				
・聴覚障害者のお客様への配慮とサービスを理解する				
・接客時の手話の取得				
使 用 テキスト				
手話を学ぼう手話を話そう 参考資料としてプリント(接客手話、聴覚障害者、手話に関する資料)				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点 20%(小テスト・提出物等)				
・期末試験 80% ・授業中は手を動かす(表現する努力)				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	手話って何？ 伝え合ってみましょう	・聴覚障害者に対しての理解を深め、手話の必要性を学ぶ ・身振り、手振りで手話に慣れる サイレント伝言ゲーム		
2回	第1.2講座 伝え合ってみましょう	・コミュニケーションを豊かに ・物の形、特徴をとらえて表す		
3回	第3講座 自己紹介をしましょう	・名前の紹介 ・挨拶 ・DVD		
4回	第4講座 家族を紹介しましょう	・人物の基礎となる表現 ・疑問詞「誰」		
5回	第5講座 数を使って話しましょう	・数の表し方 ・空港ホテルでの受付や案内所での手話		
6回	第6講座 趣味について話しましょう	・趣味をテーマに自己紹介 ・ジェスチャーを含めた手話 ・DVD		
7回	第7講座 仕事のついて話しましょう	・仕事の表し方 ・ろうあ者の仕事について ・接客時に使う手話		
8回	第8講座 住所を表しましょう	・地名の手話 ・住所の表し方 ・道案内をしてみよう		
9回	第9講座 まとめ	・自己紹介のまとめ ・手話の読み取り		
10回	第10講座 一日のことを話しましょう	・時の表し方 ・生活の中での動詞		
11回	第11・12講座 一か月のことを話しましょう	・時の表し方2 ・過去・現在・未来の表現		
12回	聴覚障害者のお客様を理解する	・筆談の仕方、コミュニケーションの大切さ ・聞こえない世界		
13回	第13講座 話してみましょう	・いろいろな疑問詞を使つての会話 ・企画して手話で案内してみましょう		
14回	第14講座 旅行について話しましょう	・旅行をテーマに手話で話す ・ロールプレイング		
15回	自己PRをしてみよう	・面接対策と自己PRを作成してみる		
16回	まとめ	・前期の復習と補足		

ホテル ブライダル

* 共通する科目は、ホテルにあります。

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	レストランオペレーション			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	☐ 検定あり ・レストランサービスに必要な基本的動作を身につける ・企業実習に必要な専門知識を習得する			
使 用 テキスト	103教室備品 プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的を理解する ・期末試験、評価方法について ・料飲部門の重要性		
2回	料飲部門の概要	・料飲部門の成り立ち、サービススタッフとしての心構えを理解する ・レストランサービスの流れと専門用語 ・接客用語		
3回	西洋料理の概要	・フランス料理の歴史とサービスの種類 ・リネンの種類と取り扱いについて		
4回	西洋料理のサービス①	・フルコースの流れを理解する ・グラスウェアの種類と取り扱い		
5回	西洋料理のサービス②	・世界三大珍味 ・チャイナウェアの種類と取り扱い		
6回	西洋料理のサービス③	・フルコースの流れを理解する ・シルバーウェアの種類と取り扱い ・フルコースのセッティング		
7回	朝食について	・朝食メニューについて ・朝食のセッティング		
8回	飲料のサービス	・飲料の種類 ・水のサービス ・トレイを使ったサービス①		
9回	中国料理について	・中国料理の歴史と概要 ・トレイを使ったサービス②		
10回	イタリアン入門	・イタリアンの基礎知識 ・プレートサービス		
11回	実習前トレーニング①	・サーバーの持ち方と使用方法 ・サーバーを使ったサービス		
12回	実習前トレーニング②	・サーバーを使ったサービス② ・実習直前！苦手克服講座		
13回	実習の振り返り	・実習での成功談、失敗談を元に、対処方を学ぶ ・ワインのサービス		
14回	期末試験について	・期末実技試験課題発表 ・課題に基づき、トレーニング		
15回	期末実技試験①	・授業時間内で、期末実技試験を行う ・フィードバック		
16回	期末実技試験②	・授業時間内で、期末実技試験を行う ・フィードバック		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	ソムリエ&バーテンダー			
担当講師(フルネーム)	松尾 慎一郎			
到達目標	ー 検定あり バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 お酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうことで、レストラン業務に活かせるようにする			
使 用 テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バーラウンジ編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・バーラウンジの概要	・自己紹介 ・成績評価の説明 ・ホテル内での料飲提供場所と役割(体験談含む)		
2回	・種類の定義と分類 ・ワイン概論	・お酒の種類 ・ワインはどのようなお酒か ・日本におけるワイン消費の現状について		
3回	・ワインの歴史 ・ワインの種類	・ワインはいつ頃から飲まれだしたのか ・いろいろなタイプのワイン(どうして違いが生まれるのか)		
4回	・ブドウの栽培 ・ワインの分類	・ブドウが好む土地～栽培されている国について ・ワインの分類について		
5回	・ワイン用ブドウ品種 ・ワインラベルの読み方	・ワインに使用されるブドウの種類と特徴 ・ワインのラベル(エチケット)の見方		
6回	・フランスワイン ・イタリアワイン	・フランスのワインについて ・イタリアのワインについて		
7回	・ドイツワイン ・その他の国のワイン	・ドイツのワインについて ・世界のワイン生産国の今		
8回	・ワインと料理の相性	・料理とのマリアージュ ・調和する組み合わせ～反発する組み合わせ		
9回	・ワイン抜栓練習	・抜栓するための道具 ・各テーブルにて抜栓練習		
10回	・ワイン種類別サービス 実技	・シャンパン、白ワイン、赤ワイン、それぞれのサービス方法 ・デカンタージュ(アエレーション)の方法と意味		
11回	・ソムリエの役割	・ソムリエとしての仕事・・・仕込みからお見送りまで、1日の流れを確認 ・ソムリエの仕事を模擬的に体験・・・ソムリエの楽しさ、厳しさの体感		
12回	・バーラウンジ運営の 基礎知識	・飲料管理と備品管理 ・バーテンダーの心得 ・開店準備～閉店までの流れ		
13回	・酒の基礎知識スピリッツⅠ	・種類の定義と分類(醸造酒・蒸留酒・混成酒の違いについて) ・蒸留酒(スピリッツ)について ・ウイスキーについて(世界5大ウイスキー) ・飲み方による作り方(デモンストレーション)		
14回	・酒の基礎知識スピリッツⅡ	・ジン(5つの種類とジンの原材料)について、ジンを使用した代表的なカクテルの説明 ・ウォッカ(ロシアの歴史) ・テキーラ(原材料とテキーラが出来るまで)		
15回	・酒の基礎知識スピリッツⅢ	・ラム(3つのタイプについて) ・ブランデー(フランスにおける主な種類の説明) ・焼酎(連続蒸留と単式蒸留)について、麦・芋・米・そばの種類について		
16回	・前期のまとめ(ワイン編)	・10回までの内容の確認 ・第1章バーラウンジの概要・第4章ワインの基礎知識・第5章ソムリエ ・期末試験のフォローアップ		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	E、Iクラス
科目名	フロントサービス			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝 中村淳二			
到達目標	☐ 検定あり ・宿泊部門の日常業務の理解と技術取得 ・他部門との連帯作業を学ぶ ・企業実習にむけての実技取得			
使用テキスト	「宿泊業務の基礎」 日本ホテル教育センター発行 宿泊実習室の備品 配布プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第2章宿泊部門 1.宿泊部門の使命と役割	成績評価、授業スケジュールについて説明 宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性		
2回	2.宿泊部門の業務の流れ	宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する		
3回	3.宿泊部門の組織体系と特徴	外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質についての意見交換		
4回	第3章フロントサービス 1.フロントサービスとは 2.ドアマンの業務	フロントサービス業務全体概要と特徴の理解 ドアマンの基本業務内容を理解する		
5回	2.ドアマンの業務	ドアマンロールプレー		
6回	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
7回	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
8回	ベルマン～案内編～	最初の挨拶から客室までの案内 ロールプレー		
9回	ベルマン～案内編～	最初の挨拶から客室までの案内 ロールプレー		
10回	ベルマン～見送り編～	バゲッジダウンとお見送り ロールプレー		
11回	客室のタイプとレイアウト客 室設備と備品	基本の客室タイプと客室設備や備品名の理解		
12回	4.クローク業務	荷物の預かりと引き渡し		
13回	第4章ハウスキーピング	ハウスキーピング業務と組織体系 バスルームの設備・備品		
14回	第4章ハウスキーピング	ルームインジェクション・システム ルーム・ステータス ドント・ディスターブとメイク・アップ・カード4		
15回	第4章ハウスキーピング	客室清掃手順		
16回	前期授業のまとめと期末試験対策	まとめ 関連用語の復習		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル 科	E クラス
科目名	日本旅館のサービス			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	☐ 検定あり 日本旅館は実はとても新しく面白い所です。まずは和の世界に興味を持ってもらい、旅館や和食レストランに必要なサービス知識を楽しく学んでいきたいと思います。和作法をしっかりと身につけた洗い若者になってください。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末テスト100%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	はじめに	自己紹介&授業内容 はじめまして		
2回	日本旅館概要	旅館で働く人々 ホテルと旅館の違いってなに？		
3回	立居振舞	和室のルール 右と左について。湯茶のサービス方法。		
4回	言葉遣い	NGワード 「ご飯を盛る」とは言いません		
5回	会席料理①	「かいせき」料理とは コースの流れとサービスのポイント		
6回	会席料理②	かいせき料理まとめ ◎このマークが関係あります。		
7回	飲料のサービス①	セッティング&お箸について お箸の歴史とマナー		
8回	飲料のサービス②	アルコールのサービス ビール・日本酒・焼酎を美味しく提供するために		
9回	食材研究	覚えておきたい基本食材 鶏・牛・豚		
10回	食材研究②	日本三大珍味 日本人大好き魚卵食品		
11回	料理以外のサービス	和の演出 和室のお手入れ・掛け軸に隠された意味		
12回	秋の行事と食材	秋の食材に詳しくなる お彼岸に詳しくなる		
13回	朝のサービス	朝食ならではのサービス 「かよう亭」日本一の朝食といわれるその中身は… 業界全体の朝食市場をみてみよう		
14回	和食器	器に親しむ 陶器と磁器の違いを知る 日本人はどのような素材を器として使ってきたかを学ぶ		
15回	郷土料理	福岡の郷土料理 明太子、能古うどんなど、福岡の郷土料理を学ぼう 鍋奉行を目指して		
16回	まとめ	これまでの授業の復習 期末テストに向けて		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科、ブライダル科	E1クラス
科目名	ホテル学入門			
担当講師(フルネーム)	佐藤俊子			
到達目標	☐ 検定あり ① 日本で有名なホテルの名前を覚えどんなホテルなのか特徴が言えるようになる。 ② ホテル産業の特徴やその歴史、流れを理解する。 ③ ホテルの系列、外資系ブランドホテルの特徴を理解する。			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ホテルの物知り度自己チェック	* ホテルのクイズに答えながらどのぐらいホテルを知っているか自己チェックをしよう * ホテルにも系列があることを知ろう * 自分がホテルを目指す理由をもう一度確認しよう		
2回	ホテルの系列を知ろう	* ホテルの系列を知ろう(鉄道系など) * 鉄道系のホテルが多い理由を考えよう * 御三家のすばらしさを確認しよう		
3回	御三家について学ぶ	* 御三家とは？ * 御三家の歴史 * 新しくなるホテルオークラ		
4回	帝国ホテルについて学ぶ	* 帝国ホテルの歴史について学ぶ * 帝国ホテルのサービスが素晴らしい理由を探ろう * 帝国ホテルに宿泊した有名人を知ろう		
5回	福岡のホテルについて学ぶ	* 福岡市内のホテルの歴史を学ぶ * 福岡市内の最近の建設傾向を学ぶ * 福岡市にはコンファランスが多いがなぜだろう？そして、客室が足りなくなる現状を考えよう		
6回	東京地区の有名ホテルについて	* 御三家以外の有名ホテルを学ぶ * 外資系ブランドホテルを学ぶ * 地域別に学ぶ		
7回	浦安、横浜地区のホテルについて	* 東京ディズニーリゾートとホテルの関係について学ぶ * 旅行者のパンフレットからパークとホテルの関係について学ぶ * 横浜地区のホテルについて学ぶ、会議が多い横浜。		
8回	大阪、京都地区のホテルについて学ぶ	* 大阪地区の有名ホテルを学ぶ * 京都地区の有名ホテルを学ぶ * 神戸地区の有名ホテルを学ぶ		
9回	リゾートについて考える	* シティホテルとリゾートホテルの違いは何かを考える * リゾートは海浜リゾートと山岳リゾートに分けられることを理解する。 * 日本のリゾート地を学ぶ		
10回	沖縄と北海道のリゾートホテルを学ぶ	* 沖縄と北海道の有名ホテルを学ぶ * 沖縄と北海道のリゾートとしてのアピール度をチェックする * 九州のリゾート地をチェックする		
11回	ホテルのレストランについて学ぶ	* ホテルのレストランの種類を学ぶ * ホテルのレストランが高い理由を考える * 町場のレストランとの違いは何かを考える		
12回	実習前の注意事項確認	* 実習で学ぶこと * 何を見て何を知らなければならないかを確認する * オフの日に見学に行くには？どこを、どのように？		
13回	夏の実習の総復習	* 実習で学んだことを確認する * 実習で不思議におもったこと、うまくいかなかったことをフィードバックする * 次は何をすべきか？何を準備すべきかを確認する		
14回	ホテルのブライダルについて学ぶ	* ホテルのブライダルの実数を学ぶ * ホテルのブライダルの特徴 * チャペルが一番の魅力。どんなチャペルが人気なのかをチェック		
15回	ホテルのブライダルについて学ぶ	* 2016年度のホテルの挙式件数の実数からトレンドを探る * その数字からわかること * ゲストハウスウェディングとホテルブライダルの違いについて学ぶ		
16回	まとめ、テスト準備	授業のまとめ 総復習 テストについての確認		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	コンシェルジュ			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり ・多様な場所で使われているコンシェルジュをホテル本来での意味を学ぶ ・業務内容、取組み方を学び、業務の醍醐味、楽しみを知る			
使 用 テキスト	プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点+レポート提出 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コンシェルジュとは	コンシェルジュの歴史 欧米のコンシェルジュ コンシェルジュの資質		
2回	コンシェルジュとは	世界組織 レクレドール レクレドール日本支部		
3回	ホテルのインフォメーション	ルームインフォメーション ハウスインフォメーション		
4回	ホテルのインフォメーション	メッセージ、バイハンド、ウイールコールフォー ログブック 帳票類とその使い方		
5回	ホテル館内のサービス	コンシェルジェデスクの設置とツール、他部門とのかかわり ホテル内での各種手配、お客様の送迎、案内、ルームインスペクション ゲストヒストリー、スペシャルアメニティ手配		
6回	ホテルのインフォメーション	シティインフォメーション ペアアで外国人のために市内観光を作ってみよう		
7回	ホテル館外のサービス	国内外郵便、電話電報、宅配便		
8回	ホテル館外のサービス	他ホテル、レンタカー、レストラン、ツアー手配		
9回	ホテル館外のサービス	時刻表の見方 航空券の申し込み		
10回	接客関連の基礎知識	・時差、ビザとパスポート、外国人登録書、保険		
11回	接客関連の基礎知識	・外貨両替、支払方法とつり銭		
12回	接客関連の基礎知識	・国際儀礼		
13回	接客関連の基礎知識	・ハンディキャップ、ボディランゲージ ・苦情、トラブル処理、病氣と事故への対応、エイズの知識		
14回	コンシェルジュストーリーとまとめ	あなたにはお客様からの要求をかなえるために相談できる人が何人いますか？ こんな要求あなたならどうする？ レポート作成		
15回	コンシェルジュストーリーとまとめ	こんな要求あなたならどうする？ レポート作成		
16回	学期末まとめ	期末テストについて		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	E・Iクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標 ☐ 検定あり 実用書を学びながら社会人としての教養を身につける				
使 用 テキスト オリジナルテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物 小テスト 授業態度				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	履歴書を書く①	履歴書とは・・・筆記具の種類、姿勢、ペンの持ち方(1)、平仮名の特徴と字源		理論 偏と旁①
2回	②	姿勢、ペンの持ち方(2) ・平仮名 書き取り練習		偏と旁②
3回	③	片仮名の特徴と字源 片仮名の書き取り練習		偏と旁③
4回	④	平仮名・片仮名のまとめ 数字の書き方		偏と旁④
5回	⑤	楷書の特徴 ・自分の名前～配字配列～ ・横書きの書き方と特徴		偏と旁⑤
6回	⑥	漢字仮名まじり文のまとめ方(1) 書き取り		筆順①
7回	⑦	漢字仮名まじり文のまとめ方(2) 書き取り		筆順②
8回	⑧	履歴書のレイアウトを考える 文字の大小・余白を考える		筆順③
9回	⑨	履歴書を書く① 氏名 住所 学歴 資格など		筆順④
10回	⑩	履歴書を書く② 志望動機 自己PRのレイアウトとまとめ方		筆順⑤
11回	⑪	履歴書を書く③ 1枚にまとめ→評価		常用漢字の間違搜し①
12回	⑫	第1週～第12週(実技・理論) まとめ 提出		常用漢字の間違搜し②
13回	実用ペン字①	はがきの表書き 返信用はがきの記入の仕方		常用漢字の間違搜し③
14回	②	長封筒の表裏の書き方(個人、企業宛)		常用漢字の間違搜し④
15回	③	A4サイズの封筒の表裏の書き方(個人、企業宛)		常用漢字の間違搜し⑤
16回	④	縦書きの書き方と特徴 手紙の書き方 書き取り		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	☐ 検定あり ・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。			
使 用 テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度…50% ・作成提出物による評価…50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。		
2回	就職活動の心構えと準備	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたっての心構えの重要性を再確認させる。		
3回	就職活動の流れ	・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。		
4回	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。		
5回	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。		
6回	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。		
7回	自己分析	・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。 ・自分の能力や適性を把握させる。 ・具体的な目標設定による意識向上をはかる。		
8回	職業を知る	・業界の過去・現在・未来を知ることによって業界へのアプローチを行う。 ・業界が求める人を知り自分との接点を探す。 ・自分と業界の接点を認識させ、より現実的な就業体制へと近づける。		
9回	自己PRの作り方	・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成		
10回	自己PRの作り方	・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。		
11回	自己PRの作り方	・面接用と履歴書用に書き分ける。		
12回	志望動機の作り方	・あるホテルをモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。		
13回	志望動機の作り方	・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。		
15回	企業研究	・企業研究における資料請求の必要性が理解でき、その方法もできるようになる。 ・資料請求後の礼状の書き方を学び、書けるようになる。		
16回	完成品のチェック	・前提出物のチェック		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル 科	E クラス
科目名	ホテル業界研究			
担当講師(フルネーム)	橋口淳二・長野美穂			
到達目標 ☐ 検定あり ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々をお招きし、業種ごとの仕事内容のお話を聞きながら 目指すホテル業界との関連を学び仕事に対する意識を高める授業とする。 * 講話者のスケジュールにより変更になる場合があります *				
使 用 テキスト 講話者との打合せによるレジュメとレポート用紙を授業開始時に配布する。				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	ホスピタリティとは？ 4月11日		
2回	ホテルで働く意義について	もてなす！ということ 4月18日		
3回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 4月25日		
4回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 5月9日		
5回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 5月16日		
6回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 5月23日		
7回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 5月30日		
8回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 6月6日		
9回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 6月20日		
10回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 6月27日		
11回	ホテル業界について	ホテル業界の動向 7月4日		
12回	まとめ	前期の振り返りと実習に向けて 7月11日		
13回	実習振り返り	夏季実習の反省と今後について 9月26日		
14回	グループワーク	実習企業の研究と他ホテルとの比較・資料作成 10月3日		
15回	グループワーク(発表)	実習先ごとにプレゼンテーション 10月10日		
16回	グループワーク(発表)	実習先ごとにプレゼンテーション 10月17日		

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	ブラッシュアップ講座			
担当講師(フルネーム)	塩見由佳			
到達目標	☐ 検定あり 人生や仕事をしていく中で、もっとも重要な「観点」のマネジメント能力形成をステップ的に理解していく。 自分自身の観点、他者の観点を認識をできる能力を実践力として形成し、 ※カリキュラムは、生徒自身の現在地など必要に応じて変更の可能性有り。			
使用テキスト				
適宜プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 レポート・小テスト(60%)、出席状況・態度・授業アンケート(40%)など			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	どうして学校にくるの？	90分×8コマ=720分の時間の中で、どんなことを行うのかのおおまかな構成を知り、主体的に授業に参加できるようになることを目的とする。メインとしては、多くの可能性があるなか、どうしてわざわざ学校にきて学ぶのか？何を学ぶのかについて自ら考える時間。		
2回	仕事以上に大切なことは？	この授業では、仕事のみならず、その土台として大切なことについて考える。社会に入り、3年以内に辞めるまたは辞めたいと思う人は、かなり数いるが、仕事だけではなく人生全体を俯瞰できるように発想していく。実は、現在の教育で育つ人間と、現在の社会で求められる人間には大きな格差がある。これまでの授業での理解を元に、これから必要な力について考え、積極的に養っていく。		
3回	あなただけの悩み？	社会に限らず、人間はあらゆるシーンで悩んだり、苦しんだり、葛藤したりするが、そういった時に、自分を責めたり、人を責めたり、環境のせいにしてみたりすることでは、実は何も解決しない。問題にぶち当たった時に「人間共通の限界」について整理する力を養うことで、ストレスから自由になる観方を養う。		
4回	人間関係は大変？？	人生や仕事で実は一番悩むことが、人間関係と言われている。仕事を辞めたい理由としてトップ3が人間関係というデータもあるほど、多くの人がその問題を抱えているが、これまでの授業の理解を土台に、人間関係の仕組み、コミュニケーションの仕組みについても繋げて理解していく。		
5回	今ここから、何を育む？	これからに限らず、今目の前でおきている人生、人間関係をどのように育んでいくのか？この今の蓄積が未来を創っていく。「今ここ自分」の選択として、どんなことをトレーニングしていくと良いのかを考え実践していく。		
6回	どんな出合いを重ねる？	人生の中で一人の人が出会うのは、大体3000人、その中で話すのは300人、その中で中が良いのは30人と言われる。限られた出合いの中で、その出合いをどう生かすのか？またその出合いにどうコントロールされてしまうのかは、自分の選択。どんな出合いを作り、どんな生き方をしていくのかを考え、トレーニングしていく。		
7回	どんな人生を歩みたい？	これまでの10コマの授業を通して、一人ひとりの見聞や経験が大きく広がった。その中で、これからの未来自分自身がどう生きていくのかの未来の設計図を発想する。まずは、これまでの授業を自ら振り返り、これからどう活用応用していくのかを考え、まとめる。		
8回	どんな人間になって、何をやるのか？	本授業の総まとめとして、前回の授業で一人ひとりがまとめた未来の設計図を踏まえて、これまでの授業を振り返り、どんな人間になって(人)何をやるのか(生)という観点で整理する。		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Eクラス
科目名	ブラッシュアップ講座			
担当講師(フルネーム)	佐藤多佳代			
到達目標	☐ 検定あり パーソナルカラー(自分らしさを引き出す色)の探し方や取り入れ方を学び、色を通じて自己分析を行い、自分の魅力を再認識、再発見する。 また、社会人として装いのルールやコーディネート術を習得し、自分ブランディングを構築する。			
使用テキスト	プリント教材、日本色彩研究所カラーカード			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	色の効果とパーソナルカラー	魅力を引き出すパーソナルカラーについて 色の基礎知識と効果		
2回	パーソナルカラーの色分類	パーソナルカラーに基づいた色の分類方法 4シーズンの色の特徴とイメージキーワード		
3回	似合う色の見分け方	色素チェック 4シーズンの眼、肌、髪の特徴		
4回	カラーコーディネート	パーソナルカラーに合わせたカラーコーディネート 効果的な色の使い方		
5回	自分ブランディング	パーソナルイメージの演出方法		
6回	ラインアナリシス 自己演出	骨格、体型に合わせた服や小物、ヘアスタイルの選び方 ヘアカラー、メイクカラーの選び方		
7回	社会人としてのファッション	社会人としてのファッションルール シーンに合わせたコーディネート		
8回	自分ブランディングとワードローブ計画	ライフスタイルの合わせたワードローブ計画 これからの自分ブランディング		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	ホテル科	Eクラス
科目名	ブライダル総論			
担当講師(フルネーム)	船藏大志			
到達目標	□ 検定なし ・ブライダルに関わる業界人に求められる資質、業務に必要な知識の習得。 ・結婚の歴史や法令の習得、業界の仕組みや成り立ちの把握。 ・結婚式を行うにあたり、多岐にわたる打ち合わせの流れを把握、業務内容の習得。			
使 用 テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末テスト80点 + 平常点20点			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、評価方法の説明を行います。 ・簡単なアンケートの記入をお願いします。		
2回	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を構成する4つの市場と、その役割を理解します。 ・ブライダルセレモニー市場の役割について理解します。 ・結婚式を行うホテルや専門式場の組織構成について理解します。		
3回	結婚・結婚式の歴史	・結婚式の歴史について把握します。 ・日本国憲法第24条や、憲法に基づき作られた結婚に関する法律について把握します。 ・日本や海外における結婚観について理解します。		
4回	業界人の資質	・業界人としての適性や身だしなみ、立ち振る舞い、生き方について把握します。 ・自分のあらゆる面を可視化し、自己受容します。 ・簡単なプランニングを通じ、建設的な思考を身に付けます。		
5回	挙式・披露宴とは①	・日本で代表的に行われる挙式スタイルと、その流れについて把握します。 (キリスト教式・神前式について)		
6回	挙式・披露宴とは②	・日本で代表的に行われる挙式スタイルと、その流れについて把握します。 (仏前式・人前式について) ・披露宴について把握します。		
7回	結婚式当日の流れ①	・結婚式当日の流れを把握します。 ・披露宴序盤の進行、演出について理解します。 (迎賓～乾杯迄)		
8回	披露宴当日の流れ②	・披露宴中盤の進行、演出について理解します。 (乾杯～新婦手紙)		
9回	披露宴当日の流れ③	・披露宴終盤の進行、演出について理解します。 (新婦手紙～送賓)		
10回	結婚式に携わる職業	・多岐にわたるブライダルに関わる職業と、その役割について把握します。		
11回	ブライダルマーケティング	・結婚式を行うことを決めた顧客が、どのような流れで会場を探すのかを理解します。 ・新規顧客の来館時対応について理解します。 ・請け書、見積書について理解します。		
12回	打ち合わせ業務①	・成約(契約)時の業務内容を理解します。 ・招待状や席次表をはじめとする、ペーパーアイテムの種類や手配方法について理解します。		
13回	打ち合わせ業務②	・挙式や披露宴で必要となる、衣裳や装花の種類・手配方法について理解します。		
14回	打ち合わせ業務③	・婚礼料理や料飲の手配方法について理解します。 ・司会、音響、カメラ、引き出物などの手配方法について理解します。		
15回	打ち合わせ業務④	・進行内容の作り方、進行表の書き方について理解します。		
16回	まとめ	・ブライダル業界の業態把握。 ・結婚式当日や、当日に向けての打ち合わせ業務理解。 ・ブライダル業界の未来について。		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	ホテルブライダルマーケティング			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり マーケティングとは何かを理解する。 ホスピタリティ産業に関するマーケティング知識を身につける。 ホテルやブライダル業界のマーケティング戦略について学ぶ。			
使用テキスト	プリント対応			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 授業態度+課題+提出物+期末試験 ・期末試験 80%			
期末試験	☐ ※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容		
1回	マーケティングとは	マーケティングとは何か マーケティングの歴史		
2回	サービス業の商品について	ホテルやブライダルのサービスという「商品」について学ぶ お客様に提供するサービスとマーケティングの関係について学ぶ		
3回	サービスエンカウンター	サービスを提供する側とされる側の関係について学ぶ		
4回	マーケティングリサーチ	マーケティングにおける情報収集について学ぶ ワークショップ		
5回	ワークショップ発表	前回のワークショップのグループ発表		
6回	セグメンテーション戦略	ホテル(ブライダル)の対象となる顧客層の絞り込みなどの戦略を学ぶ		
7回	ブランド戦略	ブランドの歴史について学ぶ ホテル業界におけるブランドについてのワークショップ		
8回	顧客満足	ホスピタリティ産業における顧客満足について学ぶ		
9回	ホスピタリティ産業の人材マーケティング	ホテル業界の人材市場におけるキャリアアップについて、 日本のホテル市場と外資系ホテル市場の違いを学ぶ		
10回	宿泊マーケティング	マーケティングの視点からの宿泊サービスについて学ぶ ビジネスホテルとシティホテル、リゾートホテルの違いについて学ぶ		
11回	宴会マーケティング	マーケティングの視点からの宴会サービスについて学ぶ 婚礼、一般宴会、会議などについて学ぶ		
12回	レストランマーケティング	マーケティングの視点からのレストランサービスについて学ぶ ラウンジ、フレンチ、和食等のレストランカテゴリーについて学ぶ ワークショップの準備		
13回	レストランマーケティング ワークショップ	レストランマーケティングのワークショップ 調査結果をまとめる 調査結果報告		
14回	ホテル営業	ホテルセールスの業務について学ぶ 法人セールスやエージェンツセールスについて学ぶ 宿泊セールスや宴会セールスについて学ぶ		
15回	顧客管理(クレーム処理)	クレームにおける心理(自我状態)について学ぶ 自分の心理(自我状態)について学ぶ		
16回	前期のまとめ	授業の重要な学習についてのおさらい		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	フロントオフィス			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する			
使用テキスト	「ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編」ウイネット発行 配布プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点+実技 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第1章フロント・オフィスとは	授業内容、評価方法、実技について フロント・オフィスの意義と役割 フロント・オフィスの組織と業務		
2回	第2章客室の種類	客室タイプ 料金システム		
3回	第3章リザーベーション業務	予約業務の重要性 イールドマネージメント		
4回	リザーベーション業務	客室予約の種類 宿泊予約システム概要		
5回	リザーベーション業務	予約受付の流れ		
6回	リザーベーション業務	宿泊受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザーベーションカード作成 ④キャンセルチャージ		
7回	リザーベーション業務	ロールプレーで予約取りの練習		
8回	リザーベーション業務	ロールプレーで予約取りの練習		
9回	リザーベーション業務	インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務		
10回	第4章レセプション業務	ルーミング プレアサイメント 接客マナー		
11回	レセプション業務	チェックインの手順 レジストレーションカード記入方法		
12回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法		
13回	レセプション業務	ウォークインのチェックイン 団体客のチェックイン		
14回	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務 デイリールーム・レポート作成		
15回	レセプション業務	ロールプレーでチェックインの練習		
16回	前期まとめ	期末試験について 前期項目の復習		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル・ブライダル科	A.Hクラス
科目名	社会情勢研究			
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			
到達目標	☐ 検定あり ・新聞の構成を知り、欲しい情報を得ることができるようにする。 ・新聞に興味を持ち、世の中の流れや話題になっているニュースを把握できるようにする。 ・記事の要旨をまとめ、自分の意見を交えて人に伝えられるようにする。			
使用テキスト	・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ニュースの発信源を知る	・授業の進め方、評価方法について理解する。 ・新聞を読むことの意義を理解する。 ・日本および主要国の新聞社・通信社について学ぶ。		
2回	新聞の構成を知る	・新聞の構成を知り、必要な情報を探し出せるようにする。 ・コラムを読んで、筆者が伝えたいことをわかるようにする。		
3回	新聞研究① (グループワーク)	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。		
4回	新聞研究② (グループワーク)	・記事をジャンル分けできるようにする。 ・記事の要旨を「5W1H」を意識して発表できるようにする。		
5回	新聞研究③ (グループワーク)	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。		
6回	新聞研究④ (グループワーク)	・難解な語彙を調べながら記事を読み進めていけるようにする。 ・記事の要旨とともに自分の感想も発表できるようにする。		
7回	新聞研究⑤ (グループワーク)	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。		
8回	新聞研究⑥ (グループワーク)	・記事の背景を調べながら記事を読み進めることができるようにする。 ・発表内容の要旨を書きとめながら発表を聞くことができるようにする。		
9回	新聞研究⑦ (グループワーク)	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。		
10回	新聞研究⑧ (グループワーク)	・興味の幅を拡げて記事を読めるようにする。 ・記事の要旨を写真・絵・図などを使って発表できるようにする。		
11回	新聞研究⑨ (グループワーク)	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む。 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめることができるようにする。		
12回	新聞研究⑩ (個人)	・夏休みの課題についての説明 ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨や意見をまとめる。		
13回	新聞研究⑪ (個人)	・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨や意見をまとめる。 ・研究発表の準備をする。		
14回	研究発表① (個人)	・記事について自分の意見や調べたことを交えながら発表する。		
15回	研究発表② (個人)	・記事について自分の意見や調べたことを交えながら発表する。		
16回	前期のまとめ	・時事問題に関する練習問題を解き、期末テストに備える。		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル、ブライダル科	AHクラス
科目名	ホテル英会話Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	佐藤俊子、中牟田登喜枝、日高郁子			
到達目標	☐ 検定あり ① 1年の時に学んだホテルでの基本的な表現を復習しながら応用表現を学ぶ ② 客室関連の表現(予約、フロント、ベルなど)を深く学ぶ ③ 電話対応、レストランの接客表現を学ぶ。			
使用テキスト	ホテル英会話Ⅱ 応用編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方の説明と1年の復習	* 授業の進め方を理解する * 自己紹介を英語でする * 1年の復習をする		
2回	Lesson1 Room Reservations D1	* 宿泊予約を取るための英語表現を学ぶ * 宿泊予約をロールプレイで実際にシミュレーションしてみる * 置き換え練習をする		
3回	Lesson1 Room Reservations D1	* 宿泊予約で頻出する単語を理解する * 予約の変更、キャンセルの表現を理解する。 * ロールプレイをして実際にシミュレーションする。		
4回	Lesson2 Check In D1	* レッスン1の復習テストをして理解度を確認する。 * チェックインのプロセスを復習する * チェックインの英語を学ぶ		
5回	Lesson2 Check In D4	* ルームキーの説明を覚えて言えるようになる。 * ベルとお客様になってロールプレイをして理解を深める。 * 置き換え練習をする		
6回	Lesson3 Hotel Services D3	* レッスン2の復習テストをして理解度を確認する。 * 電話で伝言を取る方法を学ぶ * シミュレーションをしてみる		
7回	Lesson3 Hotel Services D5	* 金庫の使い方を説明する表現を学ぶ * 最近のトレンド(インルームセーフ)について学ぶ * ロールプレイをして理解度を深める		
8回	Lesson 3 Hotel Services D7	* 両替のプロセスを確認する。 * P40の練習問題をやる * 両替に必要な英語表現を学ぶ * ロールプレイで理解度を深める		
9回	Lesson 4 Tour Information D1	* レッスン3の復習テストをして理解度を確認する * バストゥア(ハーフデーツアーや1デーツアー)の英語表現を学ぶ * 福岡の観光地に転用してシミュレーションをする		
10回	Lesson 5 Check Out D1	* レッスン4の復習テストをして理解度を確認する * チェックアウトの支払い方法を確認する * チェックアウト時に必要な英語表現を学ぶ		
11回	Lesson 5 Check Out D1	* チェックアウトをロールプレイで練習する * 置き換え練習をする * 会社払い、クーポンの支払いなどを学ぶ		
12回	Lesson 6 Telephone & paging	* レッスン5の復習テストをして理解度を確認する * 電話での受け答えの英語表現を学ぶ * ロールプレイをする		
13回	Lesson 7 Restaurant D1	* レッスン6の復習テストをして理解度を確認する * 日本食の言い方を学ぶ * 料理の用語を理解する		
14回	Lesson 7 Restaurant D1	* 電話でのレストラン予約の英語表現を学ぶ * ロールプレイをして理解を深める * 置き換え練習をする		
15回	Lesson 7 Restaurant D2	* ブッフェの朝食の英語表現を学ぶ * お席へのご案内の英語表現を学ぶ * ブッフェとアラカルトの言い方を学ぶ		
16回	まとめ	* レッスン7の復習テストをして理解度を確認する * 前期のまとめ * テスト範囲の確認		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル 科	A クラス
科目名	HRS対策(筆記)			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標 ☒ 検定あり 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる				
使 用 テキスト 西洋料理 料飲接客サービス技法				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ミニテスト 80% ・平常点 10%				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える		
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドワールドからデセールまで		
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食器用具 銀器の名称と取扱い		
4回	第4章 食文化	食文化 プロトコル食卓作法		
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前		
6回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
7回	ミニテスト①	5回までのプリントから出題 * 期末試験の評価となります		
8回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
9回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
10回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
11回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
12回	ミニテスト②	過去問から出題 * 期末試験の評価となります		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	HRS対策(実技)			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	☒ 検定あり ・レストランにおける基本的なサービス方法・事故対処方法・食事のマナーを学び、国家資格であるHRS検定3級合格を目指す			
使 用 テキスト	・プリント適時 ・103教室備品			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・確認実技テスト70% ・平常点(授業態度/出席/準備、片付け)20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ・ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) ・朝食のメニューについて		
2回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、紅茶サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
3回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
4回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明 ・整理整頓		
5回	確認テスト	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
6回	確認テスト	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
7回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～食事準備までのロールプレイ ・整理整頓		
8回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
9回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓		
10回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明		
11回	確認テスト	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
12回	確認テスト	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
13回	H29年度試験対策	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・整理整頓		
14回	H29年度試験対策	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・整理整頓		
15回	H29年度試験対策 確認テスト	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・授業内で個別に仕上がり確認テスト		
16回	H29年度試験対策 確認テスト	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・授業内で個別に仕上がり確認テスト		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	Aクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	☐ 検定あり ・受験する企業の絞り込みと企業研究を充実させる。 ・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。			
使用テキスト	・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と提出による評価・・・70% 授業態度・・・30%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・自己PR	・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明		
2回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント		
3回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。		
4回	論文・作文の書き方	・就職試験においての論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。		
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。		
7回	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。		
8回	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。		
9回	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることを確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。		
10回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
11回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
12回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル、ブライダル科	A,H 選択
科目名	専攻(英語面接対策)			
担当講師(フルネーム)	阿久澤明德、中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり ・英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ ・実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する			
使 用 テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	外資系、国際的企業が求める人材とは	企業が求める人材、面接の種類、役割を知り、十分な準備の必要性を学ぶ		
2回	実践編:面接を成功させるためのテクニック	挨拶の仕方、丁寧な言葉づかい、相づち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるようになる		
3回	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう	趣味や余暇の過ごし方について、面接に効果的なモデルパターンを知る		
4回	自分家族について、こんなふうに、話してみよう	学校、健康、家族、友達について、面接に効果的なモデルパターンを知る		
5回	自分家族について、こんなふうに、話してみよう	自分の長所、短所		
6回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう	ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになる		
7回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう	ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになる		
8回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう	志望動機 将来の夢		
9回	面接実践	模擬面接で、英語の質疑応答を体験		
10回	面接実践	模擬面接で、英語の質疑応答を体験		
11回	一分間スピーチ発表	自己PR 1分間スピーチをクラス皆の前で発表する		
12回	一分間スピーチ発表	自己PR 1分間スピーチをクラス皆の前で発表する		
13回	自分の意見を伝えよう	仕事、社会、人、趣味に関して、今一番関心があることをクラスの皆に伝えてみよう		
14回	自分の意見を伝えよう	仕事、社会、人に関して、今一番関心があることをクラスの皆に伝えてみよう		
15回	自分の意見を伝えよう	1分間スピーチをクラス皆の前で発表する		
16回	自分の意見を伝えよう	1分間スピーチをクラス皆の前で発表する		

対象学年	2年	対象クラス	ホテル 科	A② クラス
科目名	専攻(ABC検定)			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標 ☒ 検定あり	・ブライダルビジネスについての専門的知識・センスを身につける ・1月に行うABC検定合格に必要な知識を学ぶ			
使 用 テキスト	過去問プリント使用 参考テキスト(社団法人 日本ブライダル事業振興協会 アシスタント・ブライダル・コーディネーター)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末テスト100%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	Lesson1 結婚とは	第1章 結婚の定義 結婚が成立するためには マリッジ、ウェディング、ブライダルの意味の違い		
2回	Lesson1 結婚とは	第2章 日本の結婚式 歴史と文化 平安時代～現代まで		
3回	Lesson1 結婚とは	第3章 欧米の結婚式 歴史と文化 キリスト教由来の風習を		
4回	Lesson2 ブライダルビジネス	第3章ブライダル関連業種 海外挙式 人気の海外挙式先ランキング		
5回	Lesson3 ブライダルの基礎	第1章 見合いと婚約 日取りと流れ 六輝について復習		
6回	Lesson3 ブライダルの基礎	第2章 結納 結納品に込められた意味 結納の流れ		
7回	Lesson3 ブライダルの基礎	第4章 キリスト教式 第5章 神前式 カトリックとプロテスタントについて		
8回	まとめ	まとめ 期末テストに向けて復習		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル(専攻)科	専攻A①クラス
科目名	コンピュータ			
担当講師(フルネーム)	乙咩清美			
到達目標	検定あり ICT表計算技能標準試験(3級・2級・1級) Microsoft PowerPointの基本操作を学び、プレゼンテーションファイルの作成と発表の実践 Microsoft Excelの基礎～応用知識を学び、ICT表計算技能標準試験2級・1級レベルのスキルを習得する Windowsの仕組みを知り、マルチタスク操作キーボード操作等のスキルを身につけ、ビジネスシーンでの活用力を習得する			
使用テキスト	ICT表計算技能標準試験過去問題集・ドリルでマスター！PowerPoint2010&プレゼンテーション Word・Excel練習問題プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・プレゼンテーション発表 40% ・期末試験 40%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	PowerPoint	PowerPointの基本操作 サンプルスライドの作成 配色、スライドデザイン、文字・段落の書式設定		
2回	PowerPoint	スライドの作成と編集 図形・グラフ・画像などの挿入、様々な効果を付ける ※スライドのレイアウト、画面切替効果、サウンド、アニメーション効果など		
3回	PowerPoint	スライドの作成と編集 リハーサル 発表のための準備や発表時の注意点など		
4回	プレゼンテーション発表 (試験)	OALームで講師PCのモニターを使って発表する 発表の際の注意点を充分守って発表すること		
5回	Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 効率の良い計算表の作成と、データ処理の考え方を身につける 関数のネスト、条件式の作り方を学び、応用的な関数のマスター		
6回	Excel応用	タイピング練習(タッチタイピング、ビジネス文書作成) 様々な関数の利用 複合グラフの作成		
7回	Excel応用	データベースについて学び、データ集計(ソート、フィルタ、ピボットテーブルなど)の練習 表計算1級に必要な練習問題を解き、計算や集計を学ぶ 表計算1級の過去問題の解説		
8回	前期期末試験	前期期末試験実施		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	専攻Aクラス
科目名	カクテル			
担当講師(フルネーム)	松尾 慎一郎			
到達目標	検定あり カクテルの知識、技術の基礎を学び、パーテンダーとしての心構えを習得する。			
使 用 テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ パーラウンジ編			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験(実技) 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	・シラバスの説明 ・酒の知識Ⅰ	・授業内容の説明 ・成績評価説明と授業を行う上での注意点 ・1年生で学んだことのおさらい(酒の知識と分類 醸造酒・蒸留酒・混成酒)		
2回	・酒の知識② ・カクテルの知識①	・グラスの種類と用途、保管方法、必要器具の種類と用途 ・カクテルの知識(レシピ用語、分量表記) ・カクテルの豆知識(カクテル名の由来等)		
3回	・カクテルの知識②	・カクテルの名称、お酒の歴史 ・酒別の保管場所、保存方法の注意点 ・提供温度(酒の美味しい温度) ・器具の基本的な持ち方、使い方(パースプーンの持ち方、メジャーカップの使い方等)		
4回	・カクテルの実践講習①	・技法1 ビルドタイプ(DVD参照) I. 氷の入れ方 II. ステアーの練習 II. ビルドタイプカクテル実践講習 ①美味しい水割り ②美味しいロック ③炭酸の注ぎ方		
5回	・カクテルの実践講習②	・技法2 シェーカータイプ I. シェーカーの持ち方、シェイキングの仕方、注ぎ方(DVD参照) II. シェイキングの練習1回目		
6回	・カクテルの実践講習③	・技法2 シェーカータイプ I. シェイキングの練習2回目 II. シェーカータイプカクテル実践講習		
7回	・カクテルの実践講習④	・技法3 ステアータイプ I. ミキシンググラスの取り扱いと準備 II. ステアータイプカクテル実践講習		
8回	・カクテルの実践講習⑤	・技法4 スノースタイル I. スノースタイルの種類、塩のつけ方とグラスの取り扱い II. スノースタイルカクテルの実践講習		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ホテル科	専攻A②クラス
科目名	パーソナルカラー入門			
担当講師(フルネーム)	佐藤多佳代			
到達目標	☐ 検定あり 色彩の基礎知識を身につけた上で衣食住、ユニバーサル、それぞれの視点から、心身ともに生活を豊かにする色の活用方法を学びます ファッション分野…個々の似合う色の診断、取り入れ方の他、イメージに合わせたカラーコーディネート方法などを習得します。 フードカラー分野…美味しそうに見える色の取り入れ方、食材の色と栄養バランスの関係、テーブルカラーコーディネート術などを習得します。 インテリアカラー分野…目的や用途、利用者に合わせた色使いの方法、イメージに合わせたカラーコーディネーション習得します。 ライフケアカラー分野…年齢による色の見え方の違いなどを知り、誰でも安心、安全なユニバーサルカラーのポイントを学びます。 日本カラーコーディネーター協会のライフケアカラー検定3級に沿っているため、検定受験も可能です。			
使用テキスト	色彩活用 ライフケアカラー検定 公式テキスト3級 (一般社団法人 日本カラーコーディネーター協会)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
筆記試験、提出物の総合判断				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 色の基本①	オリエンテーション 『色彩活用』としてのパーソナルカラー 色の三属性 色相、明度、彩度について		
2回	色の基本② 色の心理効果	トーンの考え方 トーン別イメージ 色と心の関係		
3回	配色ルール①	配色の基本		
4回	配色ルール②	配色の応用		
5回	ファッションカラー	色素傾向の特徴と見分け方 イメージに合わせたファッションコーディネート		
6回	フードカラー	色の効果を使ったテーブルコーディネート 色と食の関係		
7回	インテリアカラー	利用者と目的、用途に合わせたカラーコーディネーション イメージに合わせた演出方法		
8回	ライフケアカラー	安全と安心の色使い ユニバーサルカラーについて		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	ブライダルオペレーション			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	☐ 検定あり ・ホテル、ブライダル業界における料飲サービスに必要な基本的動作を身につける ・企業実習に必要な専門知識を習得する			
使 用 テキスト	205教室備品 プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的と進め方、評価方法、期末試験についての説明 ・ブライダル業界における「料飲」の重要性 ・サービスの心構え(身嗜み、立ち方、歩き方)		
2回	サービスの流れ	・レストラン業務の流れを理解する ・接客用語5+1 ・レストラン・パンケットで使用する専門用語		
3回	西洋料理の概要	・西洋料理の起源とサービスの種類について ・リネンの種類と扱い方を習得する		
4回	西洋料理のサービス①	・フルコースの流れ ・CGSとは？ ・チャイナウェア グラスウェアの種類と取り扱い		
5回	西洋料理のサービス②	・シルバーウェアの種類と取り扱い ・フルコースのセッティング		
6回	朝食サービス	・朝食の種類と内容について ・朝食セッティング ・トレイサービス①		
7回	飲料のサービス	・飲料の種類 ・水のサービス ・トレイサービス②		
8回	中国料理について	・中国料理の概要 ・プレートサービス ・パッシング		
9回	日本料理について	・日本料理について ・日本料理の基本的なマナー		
10回	「宴会」の概要	・宴会部門の概要 ・宴会の種類や形式を理解する ・サーバーを使ったサービス①		
11回	婚礼宴会	・挙式の種類 ・披露宴の流れ ・サーバーを使ったサービス②		
12回	実習前トレーニング	・苦手なサービスを反復練習し、克服する		
13回	宴会サービス①	・テーブルプランを理解する ・宴会サービスの流れを理解する ・ワインサービス		
14回	宴会サービス②	・buffetでのマナー ・チューリンサービス		
15回	期末試験について	・期末実技試験課題発表 ・課題に基づき、トレーニング		
16回	期末実技試験	・授業時間内で、期末実技試験を行う ・フィードバック		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	I クラス
科目名	プランナー実務			
担当講師(フルネーム)	田中香利			
到達目標	□ 検定あり ブライダルプランナーとしての基礎知識とプランナー接客時に於ける接客用システムの操作 (制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参・プリントアウト後ファイリング用クリアファイル持参)			
使 用 テキスト	RWA-A版 RWA-B版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ・期末試験 70%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・自己紹介 ・前期授業スケジュールの説明と成績評価方法についての説明 ・パソコンID セットアップ方法		
2回	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を取り巻く職種とそれぞれの役割 ・現在のブライダルプランナーの接客スタイルとは ・ブライダルスケジュール		
3回	プランナー基礎知識 ①	・ブライダル用語 ・シーン毎の様々なブライダル演出とその意味:プランナー豆知識		
4回	プランナー基礎知識 ②	・挙式の種類 進行		
5回	プランナー基礎知識 ③	・ブライダルフラワー 季節やテーマに合わせたプランニング ・花こぼしを活用したブライダルシーンの作り方		
6回	プランナー基礎知識 ④	・衣裳 ウェディングドレスのライン ・シーン別のドレスコーディネート		
7回	プランナー基礎知識 ⑤	・演出 披露宴中の映像演出の役割 ・近年の人気演出		
8回	プランナー基礎知識 ⑥	・婚礼料理 ・フリードリンク		
9回	プランナー基礎知識 ⑦	・婚礼写真 ・様々なシーンでの婚礼写真の役割 ・ビューティーカウンセリング(美容)		
10回	プランナー基礎知識 ⑧	・六輝表の意味 ・アニバーサリーウェディングのプランニング		
11回	プランナー基礎知識 ⑨	・披露宴会場 テーマ別コーディネート ・挙式の進行(プランニング)		
12回	プランナー基礎知識 ⑩	・披露宴の進行(プランニング) テーマと背景を設定し、オリジナル進行を作成		
13回	RWA-B	・RWA-B版 ログイン ・新郎新婦 挙式日 設定 ・システム使用方法レクチャー		
14回	RWA-B	BOOK I ・ブライダルスケジュール		
15回	RWA-B	BOOK I ・接客に必要なウェディングアイテム		
16回	RWA-B	BOOK II ・接客に必要なウェディングアイテム		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル 科	I クラス
科目名	エレガンス表現MC演習			
担当講師(フルネーム)	立花美和子			
到達目標 ☐ 検定あり 基本的 発声・発音ができる。 披露宴の流れを把握し、司会者としての役割を考える。				
使 用 テキスト ブライダルMCテキスト				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 実技試験60%＋平常点40%(授業態度 重要)				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師・学生自己紹介、評価方法、テキストの使い方、実技テストのやり方 挨拶の基本(礼儀・姿勢・服装)		
2回	MCの役割・心得 発声特訓	披露宴の中でのMCの役割の重要性(目配り・気配り・心配り)、構成(全体の流れ・時間配分) 式場の特徴、正しい口の開き方、腹式呼吸法、滑舌の練習、表現力を学ぶ		
3回	テキスト(P2) ①迎賓～②MC挨拶	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 迎賓～MC挨拶までを学ぶ(以後マイク使用)	テキスト暗	
4回	テキスト(P3) ③入場～⑤プロフィール紹介	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 入場～開宴～プロフィール紹介(ウェルカムスピーチ)など・・・	テキスト暗	
5回	テキスト(P4) ⑥主賓挨拶～⑦乾杯	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 主賓挨拶～(お誂い・祝吟・祝舞)～祝電披露～乾杯まで	テキスト暗	
6回	テキスト(P5) ⑧祝宴開始～⑨ケーキ入刀	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 祝宴～歓談～ウェディングケーキ入刀(ファーストバイト)他を学ぶ	テキスト暗	
7回	実習①～⑨	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) ①迎賓～⑨ケーキ入刀までシミュレーションする		
8回	実技前半試験(part I)	テキスト暗記・発声発音に気を付ける。司会卓にて発表。MC以外はゲストやスタッフの役割を担当。 動きやタイミング等を把握し、MCとしての実技試験を出席番号順に2回に分け実施。		
9回	実技前半試験(part II)			
10回	テキスト(P6) ⑩新婦中座～⑫再入場	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 新婦お色直し退場～新郎退場～再入場までを学ぶ	テキスト暗	
11回	テキスト(P7) ⑬子供花束～⑮余興	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) 子供花束～友人スピーチ～余興のあれこれを学ぶ	テキスト暗	
12回	テキスト(P8) ⑯お色直し中座、他	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) お色直し退場まで・・・(プロフィールDVDやフラッシュモブなど)学ぶ	テキスト暗	
13回	実習⑩～⑯	〈発声練習〉(発声リーダーは順番に) ⑩新婦お色直し退場～2回目お色直し退場までシミュレーションする		
14回	実技後半試験(partⅢ)	前半試験と同じく、司会卓にて実際のMCとして体験発表する ゲスト役やスタッフ役の役割を担当し披露宴のすべての事を知る 出席番号順に2回に分け実施		
15回	実技後半試験(partⅣ)			
16回	まとめ (チャレンジ精神を持つ)	前期を振り返ってアンケート記入、質疑応答、個別指導(弱点を知る)		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	フラワーアカデミー			
担当講師(フルネーム)	小佐井由美			
到達目標	☐ 検定あり			
使用テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(授業態度) ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法、期末試験について 前期授業のスケジュール確認、花の知識や興味についてのアンケート実施 質疑応答		
2回	ブライダルプランナーのための花の基礎知識①	花やグリーンの名前、花言葉やその意味、婚礼装花の根源について知り、多方面からのウェディングフラワーを提案する 基礎知識の習得を目的とする ウェディングシーンでの花のあり方やメリット・デメリットについて知る		
3回	ブライダルプランナーのための花の基礎知識②	生花・プリザーブドフラワー・アーティフィシャルフラワー(造花)の素材の特性と役割、生かし方について ウェディングシーンにおいて、それぞれの特徴を生かした提案の仕方の習得 素材別による最適なフラワーアイテムの紹介		
4回	花に触れる① - プリザーブドフラワー製作 -	mother's day に合わせてギフトフラワー製作実習 プリザーブドフラワーならではのメリットや造形知識、取り扱い方法を知りながら、簡単な製作技術を体験することを目的とする 生花ではない花の簡単なラッピング方法を知り、表面的な華やかさの演出を習得する		
5回	ウェディングフラワー概論①	ウェディングブーケの歴史、トレンド、かたち、種類を知る ブーケの色やかたち、花の種類にあったドレス選び方や相性について ウェディングブーケに関連したフラワーアイテムの紹介や提案の仕方を習得する		
6回	ウェディングフラワー概論②	ウェディングフラワーの会場装飾についての知識の習得 チャペル、パンケツ、エントランス等の場所別による装花スタイルについて パンケツ会場内のメイン装花・テーブル装花の種類や演出方法を知る		
7回	花に触れる② - 生花のコサージュ製作 -	生花を使用してコサージュ製作実習 季節のお花を知り、花色の合わせ方、水揚げの仕方、ワイヤリング、テーピング方法の習得を目的とする コサージュの衣装への取り付け方、方向、崩れた場合の応急処置(対処方法)について知る		
8回	ウェディングにおける花の造形知識	花の種類別ワイヤリング方法の習得 ブーケのかたち別によるブーケ製作の基本と応用について ブーケの造形知識と組み合わせるリボン等の商品アイテムの紹介		
9回	イメージと花①	イメージワードを拾い、それに合わせた季節の花合わせ・色合わせをについて ガーデン・ナチュラル・ロマンティック・プリティ・カジュアル・クラシック・エレガント系統のイメージを知る ウェディングフラワーのオーダーシートを基に、イメージ画を製作・発表		
10回	イメージと花②	イメージワードを拾い、それに合わせた季節の花合わせ・色合わせをについて モダン・ダンディ・クールカジュアル・ゴージャス・フォーマル・シック系統のイメージを知る ウェディングフラワーのオーダーシートを基に、イメージ画を製作・発表		
11回	花に触れる③ - 造花を使った製作 -	ガーデンウェディングやレストランウェディング等で人気があるリストレットブーケの製作実習 本物の生花に近い紫陽花のアーティフィシャルフラワーを細かくワイヤリングしていく技術習得を目的とする リストレットブーケの取り付け方法、リボン使いを知る		
12回	ウェディングとアロマ - 五感に働きかける -	植物の香りの種類、心理効果、注意点を知り、五感に残るウェディングシーンの提案について知る 代表的な香りを自身で体感し、感覚を知る 香りの演出ができるウェディングシーンの紹介、メリットデメリットについて		
13回	装花コーディネート①	会場別、スタイル別の装花コーディネートの基礎知識習得を目的とする チャペル・パブリックスペース・エントランス・受付装飾のバリエーションやデザインを紹介 ウェディングシーン別の提案をグループ別に発表		
14回	パンケツ商品アイテムの知識	パンケツ商品の種類と用途、花に合わせて提案できる小物などアイテムの紹介と知識習得 ウェディングシーンの中で活躍するアイテムの提案方法を知る フラワーアイテムとの商品組み合わせと受注方法		
15回	花に触れる④ - リングピロー製作 -	ウェディングフラワーアイテムでも人気のリングピローを生花を使っの製作実習 リングをのせる台としての取り扱い方法や適した花を知り、ワイヤリングやアレンジ方法の秀句を目的とする 簡単な生花アレンジのラッピング方法を知る		
16回	前期試験について	前期、ブライダル担当としてのフラワー知識についてのまとめ 試験範囲や重要な部分の復習 前期不明な点の質疑応答		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Iクラス
科目名	ブライダル業界研究			
担当講師(フルネーム)	船藏大志			
到達目標	☐ 検定なし ・ブライダルに関わる業界人に求められる資質、業務に必要な知識の習得。 ・結婚の歴史や法令の習得、業界の仕組みや成り立ちの把握。 ・会場ごとの特徴や強みを発見する力を養う。			
使用テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末テスト60点 + 提出物評価20点 + 平常点20点			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、評価方法の説明を行います。 ・簡単なアンケートの記入をお願いします。		
2回	ブライダル業界とは	・ブライダル業界を構成する4つの市場と、その役割を理解します。 ・ブライダルセレモニー市場の役割について理解します。 ・結婚式を行うホテルや専門式場の組織構成について理解します。		
3回	結婚・結婚式の歴史	・結婚式の歴史について把握します。 ・日本国憲法第24条や、憲法に基づき作られた結婚に関する法律について把握します。 ・日本や海外における結婚観について理解します。		
4回	業界人の資質	・業界人としての適性や身だしなみ、立ち振る舞い、生き方について把握します。 ・自分のあらゆる面を可視化し、自己受容します。 ・簡単なプランニングを通じ、建設的な思考を身に付けます。		
5回	挙式・披露宴とは①	・日本で代表的に行われる挙式スタイルと、その流れについて把握します。 (キリスト教式・神前式について)		
6回	挙式・披露宴とは②	・日本で代表的に行われる挙式スタイルと、その流れについて把握します。 (仏前式・人前式について) ・披露宴について把握します。		
7回	結婚式当日の流れ①	・結婚式当日の流れを把握します。 ・披露宴序盤の進行、演出について理解します。 (迎賓～乾杯迄)		
8回	披露宴当日の流れ②	・披露宴中盤の進行、演出について理解します。 (乾杯～新婦手紙)		
9回	披露宴当日の流れ③	・披露宴終盤の進行、演出について理解します。 (新婦手紙～送賓)		
10回	結婚式に携わる職業	・多項にわたるブライダルに関わる職業と、その役割について把握します。		
11回	ブライダルマーケティング	・結婚式を行うことを決めた顧客が、どのような流れで会場を探すのかを理解します。 ・新規顧客の来館時対応について理解します。 ・請け書、見積書について理解します。		
12回	ホテルのブライダル商品比較①	・ホテルをピックアップし、ブライダル商品をはじめとした両社の違いや強みを見つけ出します。		
13回	ホテルのブライダル商品比較②	・ホテルをピックアップし、ブライダル商品をはじめとした両社の違いや強みを見つけ出します。		
14回	式場のブライダル商品比較①	・専門式場やゲストハウスをピックアップし、両社の違いや強みを見つけ出します。		
15回	式場のブライダル商品比較②	・専門式場やゲストハウスをピックアップし、両社の違いや強みを見つけ出します。		
16回	まとめ	・ブライダル業界の業態把握。 ・結婚式当日や、当日に向けての打ち合わせ業務理解。 ・ブライダル業界の未来について。		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	Iクラス
科目名	カラーコーディネイト			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	☒ 検定あり カラーコーディネーター検定3級 合格を目指す。(12月3日受験予定) コーディネーターとしての色彩知識とコーディネート能力を身につける。			
使 用 テキスト	カラーコーディネーションの基礎 3級 公式テキスト , 問題集			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末テスト … 80% 平常点 … 20% (提出物, 授業態度, 小テスト)			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	1章 色の性質	オリエンテーション 1節 色の効用とカラーコーディネーション 2節 色が見えるまで		
2回	2章 色と心理	1章 まとめ 1節 色の連想と象徴 2節 色がもたらす心理的効果		
3回	2章 色と心理	2章 まとめ		
4回	3章 色を表し、伝える方法	1節 色の表示方法とその特徴 2節 カラーオーダーシステムによる方法 マンセルシステム		
5回	3章 色を表し、伝える方法	2節 カラーオーダーシステムによる方法 CCIC , NCS		
6回	3章 色を表し、伝える方法	2節 カラーオーダーシステムによる方法 PCCS 3章 まとめ		
7回	4章 配色と色彩調和	1節 色彩調和の考え方		
8回	4章 配色と色彩調和	1節 色彩調和の考え方 2節 主な色彩調和論と調和の原則		
9回	4章 配色と色彩調和	2節 主な色彩調和論と調和の原則 4章 まとめ		
10回	5章 光から生まれる色	1節 光とは 2節 光が織り成す色彩現象		
11回	5章 光から生まれる色	3節 光源 5章 まとめ		
12回	6章 色が見える仕組み	1節 眼および脳の構造とその働き		
13回	6章 色が見える仕組み	2節 眼の変化による色覚の多様性 3節 色の見えを決める要因 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む		
14回	7章 色の測定	1節 色の測定の種類 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む		
15回	7章 色の測定	2節 三原色を使った色表示 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む		
16回	8章 混色と色再現	1節 混色の原理 2節 色再現の方法 について学ぶ 各項目の内容を理解し練習問題へ取り組む		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	マナープロトコール			
担当講師(フルネーム)	池田香織			
到達目標	☒ 検定あり マナープロトコール検定3級に合格する 社会人になるためのマナー、エチケットを身につける			
使 用 テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末試験	80%、平常点20%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	序章 マナーとは何か	マナープロトコール検定、授業の進め方、評価方法を知る マナーとは何かを知る		
2回	第3章 社会人に必要なマナー	第一印象の重要性、服装、立ち居振る舞いの基本を学び社会人に必要なマナーを理解する 言葉遣い、話し方、クッション言葉についてワークシートをもとに演習して確認する		
3回	第3章 社会人に必要なマナー	服装のマナーや基準を学び確認する 贈答習慣や贈り方のマナーやタブーを学び確認する 手紙のマナーを理解し、実際に形式に則った手紙を書いてみる		
4回	第3章 社会人に必要なマナー	第3章 社会人に必要なマナー確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する		
5回	第4章 ビジネスシーンのマナー	社会に出る前に、社会人としての心構えや会社の仕組み、企業活動の目的、企業人に必要な意識を知る 会社の仕組み、仕事の進め方を学び、「社会人と学生の違い」についてグループ討議を行う		
6回	第4章 ビジネスシーンのマナー	電話対応のポイントを学び、演習を行い実践力を身につける 来客対応を学び、ロールプレイング演習を行い実践力を身につける		
7回	第4章 ビジネスシーンのマナー	第4章 ビジネスシーンのマナーの確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する		
8回	第5章 食事のマナー	テーブルマナーの基本(なぜ必要か、食文化の特徴)を学ぶ 日本料理の基礎知識を学び和食のマナーを知る 和室でのマナーを学び、同時に日本文化や歴史の知識を身につける		
9回	第5章 食事のマナー	西洋料理(テーブルセッティング、カトラリーの使い方、席次)の基本を学ぶ 中国料理(席次、いただきかた、タブー)の基本を学ぶ その他各国(韓国、インドなど)の食事文化を学び、マナーを身につける		
10回	第5章 食事のマナー	第5章 食事のマナーの確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する		
11回	第7章 「冠」のしきたり	日本の主な通過儀礼について学ぶ 出産祝い、七五三のお祝い、入園、入学祝、お祝い事の由来としきたりを学ぶ		
12回	第7章 「冠」のしきたり	第7章 「冠」のしきたりの確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する		
13回	第8章 「婚」のしきたり	婚約・結納の意味と内容を学ぶ 結婚式の種類や準備までを学ぶ		
14回	第8章 「婚」のしきたり	結婚式の意味と内容を学ぶ 服装、招待客(受付、会場)のマナーを学ぶ		
15回	第8章 「婚」のしきたり	第8章 「婚」のしきたりの確認テストを行い、解答解説を行う 理解できていない箇所を復習する		
16回	期末試験前のまとめ	期末試験前に今まで学習したところを復習する		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	クラス
科目名	婚礼料理			
担当講師(フルネーム)	島崎満美子			
到達目標	☐ 検定あり ・婚礼料理について学びます。 ・フルコース料理の(和、洋、中)成り立ちの知識、飲物、ウエディングケーキについて学びます。 ・料理の提供＝サービスについて学びます。			
使用テキスト	授業でプリントを配ります。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の流れを理解します。 ・自己紹介		
2回	結婚式と食	・婚礼料理 ・トレンド ・婚礼料理の特性		
3回	婚礼料理①	・婚礼料理「洋食」のコース料理について学びます。		
4回	婚礼料理②	・婚礼料理「和食」のコース料理について学びます。		
5回	婚礼料理③	・和洋折衷、中華料理のコースについて学びます。		
6回	婚礼の飲物①	・ワイン(フランス、ドイツ、イタリア) 形状、分類、産地		
7回	婚礼の飲物②	・スピリッツ(蒸留酒) ・リキュール、日本酒、焼酎、泡盛 ・焼酎		
8回	ウエディングケーキ	・歴史・由来 ・移り変わり ・種類		
9回	テーブルコーディネート①	・意味 ・テーブルセッティング ・カトラリー、グラス		
10回	テーブルコーディネート②	・テーブルプラン ・テーブルクロス		
11回	サービスマニュアル①	・サービススタッフの礼儀とみだしなみ 心得、挨拶、笑顔、態度、グルーミング規定 男性編、女性編、言葉遣い		
12回	サービスマニュアル②	・洋食料理のサービス ・中華料理のサービス ・注意点		
13回	サービスマニュアル③	・飲物のサービス手順 ・サービススタッフの基礎知識(披露宴編) ・サービスに関するコンプレイン		
14回	今までのまとめ	重要な部分のおさらいをします。		
15回	期末試験	今までの復習を兼ねてテストを行います。		
16回	試験の解説	・回答解説 ・質疑応答		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	☐ 検定あり ・就職活動の重要性を認識させると同時に基本的な所作を体得させる。 ・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。			
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と授業態度・・・50% ・作成提出物による評価・・・50%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。		
2回	就職活動の心構えと準備	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・企業が求める人材とはどのような人かを考えさせる。 ・就職するにあたっての心構えの重要性を再確認させる。		
3回	就職活動の流れ	・当学校における就活の一連の流れを説明する。 ・就職室の正しい活用法を教える。 ・就職活動のルールを認知させる。		
4回	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。		
5回	職業を知る	・ブライダルの仕事とはどんな職業であるのかを認知させる。 ・ブライダル業界が求める人材を知ることで自身の適性とのすり合わせを図る。 ・自分と業界の接点を認知させる。		
6回	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再確認させる。 ・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。		
7回	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。 ・自分自身を棚卸しすることで自分を認知させる。 ・自分史の作成を通して自己の分析をやりやすくしていく。		
8回	自己PRの作り方	・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・企業でどう活かすのかを考え、文章にする。 ・「長所編」を作成		
9回	自己PRの作り方	・様々なバリエーションの自己PRを考え、どのような変化球へも対応できるようにする。		
10回	志望動機の作り方	・企業研究の方法を理解させ就活のスタートが早いブライダル業界に対応する。 ・志望理由の明確化と表現方法を身に付けさせる。		
11回	志望動機の作り方	・あるブライダル業者をモデルケースとして、パンフレットや資料を駆使して志望動機の作り方を学ぶ。 ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 ・モデルケースの志望動機を作ってみる。		
12回	志望動機の作り方	・前週に引き続き、モデルケースの志望動機を完成させる。 ・個人の進捗状況に応じて履歴書用と面接用との使い分けをした志望動機を作成する。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
13回	企業研究(ブライダル業界)	・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。		
14回	企業研究(ブライダル業界)	・前週に引き続き、エントリーシートを完成させる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
15回	エントリーシートの書き方	・エントリーシートとはどのようなものであるかと重要性を認識させる。 ・エントリー方法を理解させる。 ・実際のエントリーシートを使いシミュレーションを行う。		
16回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック		

対象学年	1年	対象クラス	ブライダル科	1クラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標 ☐ 検定あり				
・社会人として通用する第一印象を身につける				
・模擬面接を通じて、就職試験に通用する面接の力を身につける				
・自己分析や企業研究を通じてまとめた自分の考えを、就職面接試験の場で伝えられるようになる				
使 用 テキスト				
プリント適時 基本的には制服着用のこと				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・課題、レポート提出、授業態度50%				
・期末試験 50%				
期末試験		※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、評価方法説明 ・自分の考えを伝えてみる→課題の発見 ・就職活動の計画をたて、意識を高める		
2回	集団面接演習Ⅰ	・集団面接の体験(ビデオ撮影) ・課題の発見 ・就職活動のスケジュールを確認		
3回	集団面接演習Ⅱ	・ビデオを見て、強みと課題を見つける ・課題をまとめ、今後の対策を考える		
4回	集団面接演習Ⅲ	・面接の種類を知る ・面接での基本的なマナーを学ぶ ・日常でできる、面接対策を知る		
5回	集団面接演習Ⅳ	・入室から退室までの流れを実践 ・面接中のポイントを学ぶ		
6回	集団面接演習Ⅵ	・自分の長所と短所を見つける ・長所と短所の面接での伝え方を考える		
7回	集団面接演習Ⅴ	・質疑応答の実践 ・面接官に伝わる話の組み立て、表現方法を学ぶ		
8回	期末実技試験	・前期期末実技試験として模擬面接を行い、今まで学んだことが理解・実践できているかを確認		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ホテルブライダルマーケティング			
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			
到達目標	☐ 検定あり マーケティングとは何かを理解し、ホテル、ブライダルのマーケティング戦略について意見が出来る。			
使 用 テキスト	プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% 授業への参加度20%、テスト80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	効果的な自己紹介の仕方 発表		
2回	コミュニケーション	サービス業からコミュニケーションを学ぶ 言葉の足りなさに気付くワーク		
3回	マーケティングとは	マーケティングとは何か 身近にあるマーケティング 歴史		
4回	サービスとマーケティング	サービスとマーケティングとの関係		
5回	サービスを受ける	する側、される側に分かれてのワーク		
6回	リサーチ	マーケティングにおける情報収集		
7回	発表	グループディスカッション 発表		
8回	セグメンテーション戦略	ホテル、ブライダルの対象となる顧客層絞り込みの戦略を学ぶ		
9回	ブランド戦略	ブランドの歴史 ホテル業界のブランド		
10回	ホスピタリティ	ホスピタリティ精神を学ぶ		
11回	PR戦略	広報活動の必要性 手段と効果		
12回	異業種マーケティング	広い視野をもち、日頃からアンテナをはる		
13回	発表	身近な飲食店からマーケティングを学ぶ		
14回	顧客満足について	お客様の声にて、戦略とそう結びついたかを知る		
15回	次の戦略	計画的な戦略をたてる		
16回	質疑応答	これまでのまとめ		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	セレモニープロデュース I			
担当講師(フルネーム)	船藏大志			
到達目標	☐ 検定なし ・自らテーマを決め、企画を立案し、建設的に考え実践する力を養う。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を理解し全うする行動力を養う。 ・ブライダル業界の業態について理解する。			
使 用 テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末テスト80点 + 平常点20点			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・夏季演習の目的について理解します。 ・演習当日の流れについて解説します。 ・チームでプロジェクトを成功させるために必要な資質について理解します。		
2回	会場見学①	・演習で使用する会場見学を行います。 ・会場の特長・魅力を把握します。 ・会場見学レポートを作成します。		
3回	進行内容作成 ①	・テーマに基づいて、進行内容の作成を行います。 ・必要な物をリストアップします。		
4回	進行内容作成③	・テーマに基づいて、進行内容を完成させます。 ・必要な物をリストアップします。		
5回	行動計画作成②	・進行内容に沿って、さらに各担当の細かい動きを確認します。 ・必要な物をリストアップします。		
6回	演習準備②	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
7回	演習準備④	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
8回	演習準備⑥	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
9回	演習準備⑧	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
10回	演習準備⑩	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
11回	最終調整・リハーサル①	・演習に向け、最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
12回	最終調整・リハーサル③	・演習に向け、最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
13回	夏季演習の復習	・夏季演習の振り返り、反省を行います。 ・冬季演習について、概要を解説します。		
14回	進行内容の作成①	・テーマに基づいて、進行内容の作成を行います。 ・必要な物をリストアップします。		
15回	役割分担	・必要な役割に沿って、役割分担を行います。 ・必要な物をリストアップします。		
16回	演習準備②	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	セレモニープロデュースⅡ			
担当講師(フルネーム)	船藏大志			
到達目標	☐ 検定なし ・自らテーマを決め、企画を立案し、建設的に考え実践する力を養う。 ・チームでプロジェクトを成功させるために、自分の役割を理解し全うする行動力を養う。 ・ブライダル業界の業態について理解する。			
使用テキスト	・授業毎に資料を配布します、A4用紙の入るファイルを準備してください。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点20点 + 提出物評価20点 + 演習準備の進捗状況60点			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	テーマの設定	・夏季演習のテーマを決め、企画書を完成させます。 ・予定している会場見学にあたり、見学時のポイントについて解説します。		
2回	役割分担	・必要な役割に沿って、役割分担を行います。		
3回	進行内容作成②	・テーマに基づいて、進行内容の作成を行います。 ・必要な物をリストアップします。		
4回	行動計画作成①	・進行内容に沿って、さらに各担当の細かい動きを確認します。 ・必要な物をリストアップします。		
5回	演習準備①	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
6回	演習準備③	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
7回	演習準備⑤	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
8回	演習準備⑦	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
9回	演習準備⑨	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
10回	会場見学②	・作成した進行内容をもとに、会場を改めて確認・実践します。 ・進行内容の調整を行います。		
11回	最終調整・リハーサル②	・演習に向け、最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
12回	最終調整・リハーサル④	・演習に向け、最終調整・学内でのリハーサルを行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
13回	テーマの作成	・冬季演習のテーマを決め、企画書を完成させます。		
14回	進行内容の作成②	・テーマに基づいて、進行内容の作成を行います。 ・必要な物をリストアップします。		
15回	演習準備①	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		
16回	演習準備③	・各担当ごとに、制作作業を行います。 ・進捗状況を、クラス全員で共有します。		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	H クラス
科目名	プランニング			
担当講師(フルネーム)	田中香利			
到達目標	☐ 検定あり ブライダル業界での必須業務とされる、集客戦略法の取得とウェディングプランの作成			
使 用 テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ・期末試験 70%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 集客戦略とは	・自己紹介 ・前期授業スケジュールの説明と成績評価方法についての説明 ・パソコンID セットアップ方法 ・ブライダル業界における集客戦略の構成とは(フェア・プラン・特典・特徴)		
2回	ブライダルフェアとは I	・ブライダルフェアの構成 会場ごとの[売り]・[タイトル表記]・[開催時期]・[開催内容]を把握する		
3回	ブライダルフェア予算とは	・ブライダルフェア予算 と 集客目標		
4回	ブライダルフェア予算とは	・ブライダルアイテムの売価と原価		
5回	ブライダルプランとは	・ブライダルプラン構成 ・さまざまなプランの特徴		
6回	ブライダルプランとは	・プラン原価 売価 ・スタンダード見積もりとプラン見積もりの違い		
7回	ブライダルプラン企画	・チーム分け ・リーダー決定 ・書記決定 ・企画手順決定 ・プラン企画詳細プレスト		
8回	ブライダルプラン企画書作成	・企画書作成		
9回	ブライダルプラン作成	・ブライダルフェア フライヤー作成		
10回	ブライダルプラン作成	・ブライダルフェア フライヤー作成		
11回	ブライダルプラン プレゼンテーション	・チームごとにブライダルプランをプレゼンテーション (検証)		
12回	ブライダルプラン プレゼンテーション	・チームごとにブライダルプランをプレゼンテーション (検証)		
13回	ゼクシィ広告とは	・ゼクシィ広告の役割と効果 ・ゼクシィ誌面掲載内容の確認		
14回	ゼクシィ広告プランニング	・広告宣伝費とは 掲載誌面から検証 ・販売促進費とは 掲載誌面から検証		
15回	ゼクシィ広告作成	・会場スタイル・ウェディングスタイル 挙式・披露宴会場数 設定 ・キャッチコピー 考案		
16回	ゼクシィ広告作成	・ブライダルフェア日程 設定 ・掲載プラン 設定		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	プレゼンテーション			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	☐ 検定あり 相手を説得し、行動させる能力を身につけ、就職活動やプランナーとしての業務に活かす。			
使 用 テキスト	説明・提案・説得のワーク：プレゼンテーションの基礎			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 発表の内容と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50%(4/12～6/7)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	プレゼンテーションとは何か	プレゼンテーションの必要性		
2回	プレゼンテーションの特性	模擬披露宴のチラシを作成する		
3回	「自分」と「相手」を知る①	インタビューと顧客ファイル作成		
4回	「自分」と「相手」を知る②	様々な相手に理解してもらえる説明を工夫する		
5回	目的(テーマ)を明確にする	オープンキャンパスにてブライダル科を高校生に紹介する		
6回	プレゼンテーションのための情報収集	情報収集のワーク		
7回	シナリオを作成する	シナリオと発表ツールの作成		
8回	プレゼンテーション①	学科紹介実践		
9回	発表資料の作成とシナリオの統合①	効果的なツールとは		
10回	発表資料の作成とシナリオの統合②	発表ツールの作成と準備		
11回	効果的に伝える①	伝え方の極意		
12回	効果的に伝える②	模擬披露宴のコンセプトと演出テーマを伝える		
13回	プレゼンテーション②-1	ブライダル業界と顧客の変化と実態		
14回	プレゼンテーション②-2	模擬披露宴の空間演出計画立案		
15回	プレゼンテーション③	私自身をプレゼンテーションする		
16回	プレゼンテーションの実施と振り返り	まとめと振り返り：模擬披露宴に向けて		

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ブライダルデザイン			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	☐ 検定あり ブライダルプランナーとしてのイメージ造りから、創作能力、プレゼンテーション能力の向上を目指す 模擬披露宴の空間コーディネートに関する計画立案と制作を実施する			
使用テキスト	ファッション&ビューティーの色彩			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 作品評価と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50% (6/21～10/16)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イメージ戦略 実習	ファッションとビューティーにおける色彩の役割 ブライダルフェアのプランニング 顧客の目を引くデザインとは		
2回	カラーコーディネート応用	色の表し方 ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作		
3回	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ① ブライダルフェアのプランニング ディスプレイのプランニングと制作		
4回	カラーコーディネート応用	色の見え方とイメージ② イメージ通りのスタイルを提案するには…		
5回	カラーコーディネート応用	配色の基本①		
6回	カラーコーディネート応用	配色の基本② トータルコーディネート提案		
7回	カラーコーディネート応用	配色の基本③ オリジナルウエディングの提案		
8回	ドレスデザイン 実習	憧れの一着をデザインする ドレスとブーケのトレンド		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	ABC検定対策			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	☒ 検定あり ・ブライダル業に携わる上で必要な婚礼に関する知識を身につける ・アシスタントブライダルコーディネーター検定合格を目指す			
使 用 テキスト	アシスタント・ブライダル・コーディネーター ABC検定テキスト/プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	結婚とは？	・ABC検定について ・「結婚」の意味、定義を理解する ・「結婚」を表す様々な言葉・違いを知る		
2回	結婚式の歴史と文化 ～日本の場合～	・古代～現代までの結婚式(日本)の流れを知る ・宗教と結婚式の関係について理解する ・結婚式に関する風習、言われを知る		
3回	結婚式の歴史と文化 ～欧米の場合～	・古代～現代までの結婚式(欧米)の流れを理解する ・キリスト教の結婚式について理解する		
4回	ブライダルビジネス	・ブライダル業種 ホテル・式場などの概要を理解する ・ブライダル関連業種 婚活ビジネス・エージェント・旅行会社・衣装・メイクなどの概要を知る		
5回	ブライダルの基礎①	・見合いの流れとサービスの留意点を理解する ・婚約の意味を理解する ・婚約指輪と誕生石		
6回	ブライダルの基礎②	・結納の流れとサービスの留意点を理解する ・結納品に込められた意味を知ろう		
7回	ブライダルの基礎③	・キリスト教式 カトリックとプロテスタントの違いを理解する ・キリスト教式の流れとポイントを理解する ・神前式の流れとポイント		
8回	ブライダルの基礎④	・仏前式の流れとポイントを理解する ・人前式の流れとポイントを理解する		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			
到達目標	☐ 検定あり ・受験する企業の絞り込みと企業研究を充実させる。 ・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。			
使 用 テキスト	・オリジナルレジュメ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ワークシートの作成内容と提出による評価・・・70% 授業態度・・・30%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション・自己PR	・現在の就職活動状況の報告 ・冬の実習を使った自己PRを作成する。 ・自分自身の問題点の洗い出しを行い弱点を見つける。 ・前期授業内容及び授業時間内ルールの説明		
2回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント		
3回	自由表現	・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。		
4回	論文・作文の書き方	・就職試験においての論文・作文の書き方を学び、書くときのポイントを整理する。 ・400字詰め原稿用紙2枚を使い、与えられた課題で実際に書いてみる。 ・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。		
5回	受験企業の研究シート作成	・受験企業の研究シートの充実を図り、どのような質問にも答えられるようにする。		
6回	受験企業の志望動機作成	・受験企業の志望動機を完成させる。		
7回	企業研究・面接対策	・受験企業の自己PRならびに志望動機の完成品を作成し再度精査する。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。		
8回	企業研究・面接対策	・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。		
9回	内定後にすること	・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの確認をさせ規律を守らせる。 ・就業規則とは何かを知らしめ企業内での言動について考えさせる。		
10回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
11回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
12回	企業研究・面接対策	・内定者と未定者とを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標	☐ 検定あり ・模擬面接によって就職面接試験に通用する、自己表現力を身につける			
使 用 テキスト	205教室備品 プリント適時			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・課題やレポート提出50%、平常点(授業態度、取り組み姿勢、出席)50% で評価する			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、評価方法説明 ・各自の就職活動の進捗状況の整理・把握 ・【課題】志望企業の過去の一次面接質問を調べ、提出		
2回	集団面接Ⅰ	・過去出題例をもとに、集団面接演習 ・演習の振り返りを行い、自分の強みと課題を確認 ・【課題】受験企業の過去の面接質問を調べ、回答をまとめる		
3回	集団面接Ⅱ	・過去出題例をもとに、集団面接演習 ・演習の振り返りを行い、自分の強みと課題を確認 ・【課題】受験企業の過去の面接質問を調べ、回答をまとめる		
4回	2次面接対策Ⅰ	・一次面接との違いを理解する ・個別質問の意図を掴み、回答する(ビデオ撮影) ・ビデオを元に、振り返り		
5回	2次面接対策Ⅱ	・個別質問の意図を掴み、回答する(ビデオ撮影) ・ビデオを元に、振り返り		
6回	2次面接対策Ⅲ	・個別質問の意図を掴み、回答する(ビデオ撮影) ・ビデオを元に、振り返り		
7回	個人面接演習	・最終面接の意図、目的について理解する ・最終面接を想定し、個人面接演習、フィードバック		
8回	個人面接演習	・最終面接の意図、目的について理解する ・最終面接を想定し、個人面接演習、フィードバック		
9回	面接対策の振り返りⅠ	・面接対策授業の振り返り、自己評価 ・面接を通して自分を振り返り、働く上での課題や強みを見つける ・個人の進捗状況に合わせ、面談、対策		
10回	面接対策の振り返りⅡ	・面接対策授業の振り返り、自己評価 ・面接を通して自分を振り返り、働く上での課題や強みを見つける ・個人の進捗状況に合わせ、面談、対策		
11回	就職活動レポートⅠ	・就職活動を振り返り、レポートを作成 ・各自の就職活動の進捗状況に合わせて面談、対策を行う		
12回	就職活動レポートⅡ	・就職活動を振り返り、レポートを作成 ・各自の就職活動の進捗状況に合わせて面談、対策を行う		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル 科	H選択 クラス
科目名	HRS対策(筆記)セミナー			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	☒ 検定あり 8月に実施されるレストランサービス技能検定の学科試験合格を目指す 衛生管理やプロトコルを学び、広い視野でサービスを行えるようになる			
使 用 テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・ミニテスト 80% ・平常点 10%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	食品の基礎知識 栄養素を覚える		
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	フルコース復習 オールドウーブルからデセールまで		
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識	西洋料理の食事用具 銀器の名称と取扱い		
4回	第4章 食文化	食文化 プロトコル食卓作法		
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生	食品衛生 食中毒を引き起こす菌の名前		
6回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
7回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
8回	ミニテスト①	5回までのプリントから出題	* 期末試験の評価となります	
9回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
10回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
11回	過去問を解く	過去問を解く&解説		
12回	ミニテスト②	過去問から出題	* 期末試験の評価となります	
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	ブライダル科	Hクラス(選択)
科目名	HRS対策(実技)セミナー			
担当講師(フルネーム)	田才亜紀子			
到達目標 ☒ 検定あり	・レストランにおける基本的なサービス方法・事故対処方法・食事のマナーを学び、国家資格であるHRS検定3級合格を目指す			
使 用 テキスト	・プリント適時 ・103教室備品			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・確認実技テスト70% ・平常点(授業態度/出席/準備、片付け)20%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業内容、目的、スケジュール、評価方法、昨年度の試験内容、結果報告など ・ロールプレイに当たっての基本説明(テーブルセッティング) ・朝食のメニューについて		
2回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えから水、紅茶サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
3回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからパンサービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
4回	朝食サービス	・テーブルセッティング(朝食) ・お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明 ・整理整頓		
5回	確認テスト	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
6回	確認テスト	・テーブルセッティング(朝食) ・朝食サービスのロールプレイの内容で実技試験 ・整理整頓		
7回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～食事準備までのロールプレイ ・整理整頓		
8回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ ・整理整頓		
9回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・整理整頓		
10回	ランチサービス	・テーブルセッティング(昼食) ・お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ ・事故対処方法説明		
11回	確認テスト	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
12回	確認テスト	・テーブルセッティング(昼食) ・昼食サービスのロールプレイにて実技試験 ・整理整頓		
13回	H29年度試験対策	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・整理整頓		
14回	H29年度試験対策	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・整理整頓		
15回	H29年度試験対策 確認テスト	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・授業内で個別に仕上がり確認テスト		
16回	H29年度試験対策 確認テスト	・今年度の課題の流れを覚える ・全てのサービスを8分以内で終わられるように反復練習 ・授業内で個別に仕上がり確認テスト		

トラベル 鉄道

* 共通する科目は、トラベルにあります。

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	レクラス
科目名	国内観光地理Ⅰ			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 ☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。 国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地・特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。				
使 用 テキスト 国内旅行地理ベーシック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回4/10	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む 白地図に記入する		
2回4/17	島・半島	旅情イメージにあふれる島・半島 ツアータイトルに使われる島・半島 全国33の地域・特徴を覚える		
3回4/24	湖・川・滝・鍾乳洞	日本三大湖沼、三大急流など 三大瀑布など 三大鍾乳洞など全国38の観光スポットを覚える		
4回5/8	温泉	温泉を覚える 北海道・東北・関東 人気のある旅先		
5回5/15	主な観光地	歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所 テーマパーク		
6回5/22	地理検定問題	第42回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回5/29	地理検定問題	第44回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
8回6/5	青森・岩手	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する ねぶた祭り、陸中海岸、中尊寺		
9回6/19	山形・福島	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 出羽三山、最上川、磐梯高原		
10回6/26	群馬・埼玉	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 草津温泉、吹割の滝、川越		
11回7/3	神奈川・新潟	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 鎌倉、箱根山、佐渡島		
12回7/10	福井・山梨	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 東尋坊、永平寺、富士五湖		
13回9/25	静岡・愛知	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 伊豆半島、寸又峡、犬山城		
14回10/2	京都・大坂	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 嵐山、二条城、適塾		
15回10/16	島根・岡山	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 松江市、出雲大社、大原美術館		
16回10/23	まとめと復習	前期のまとめ 北海道～岡山の復習		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	1クラス
科目名	国内観光地理Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 ☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。 国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地・特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。				
使 用 テキスト 国内旅行地理ベーシック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回4/14	山・高原・渓谷	必須59の山を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望、夜景の素晴らしい峠や山々		
2回4/21	海岸・岬	必須27の海岸・岬を覚える 日本三景など 断崖、奇岩、遊覧船巡り		
3回4/28	寺社・城跡	必須30の寺社、城跡 世界遺産の寺院・神社 歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社、城跡		
4回5/12	温泉	温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州 人気のある旅先		
5回5/19	地理検定問題	第41回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
6回5/26	地理検定問題	第43回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回6/2	北海道	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 知床、函館、大雪山		
8回6/9	宮城・秋田	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 松島、鳴子温泉、男鹿半島		
9回6/23	茨城・栃木	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 偕楽園、日光、華厳滝		
10回6/30	千葉・東京	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 成田山新勝寺、高尾山、小笠原諸島		
11回7/7	富山・石川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 黒部峡谷、立山、能登半島		
12回7/14	長野・岐阜	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 上高地、志賀高原、下呂温泉		
13回9/29	三重・滋賀	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 伊勢神宮・英虞湾・延暦寺		
14回10/6	兵庫・奈良	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 城崎温泉、斑鳩、吉野山		
15回10/13	和歌山・鳥取	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 那智滝、高野山、大山		
16回10/20	広島・山口	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 宮島、生口島、秋芳洞		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	1クラス
科目名	旅行実務・カウンター販売(国内)			
担当講師(フルネーム)	草野智子			
到達目標	☐ 検定なし ・旅行カウンターでのマナー・言い回し・提案から予約・お渡しまで一連の流れを把握出来るようになる。 ・旅行会社で働く上での業務基本知識(JR・航空ルール・時刻表・専門用語・パンフレットの見方など)の習得を目指す。 ・各社パンフレットの特徴・ホテルの特徴を比較しながら学び、更に料金計算・取消料・申込金の案内が出来るようになる。			
使用テキスト	国内旅行カウンター販売、配布プリント、指定パンフレット、JR・航空時刻表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 40%(小テストを含む) ・期末試験 60%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方概要・主な旅行会社・ブランド	・授業内容の説明・自己紹介・評価について案内。 ・主な旅行会社・ブランドを把握する。 ・旅行商品とは。パンフレットに書いてある内容を把握する。		
2回	航空時刻表・2・3レター	・日本航空・全日空の時刻表の内容を把握する。 ・航空券(国内)の基本知識を習得する。 ・代表航空会社と就航都市の2・3レターを学ぶ。		
3回	専門用語	・小テスト①(1・2回の復習) ・主に国内旅行手配で使用する専門用語を学ぶ。		
4回	宿泊券・観光券・船車券・旅行保険	・旅行のパーツ(旅館とホテルの違い・客室の種類・JR以外のバス・フェリー等・観光券)について基本知識を習得する。 ・旅行保険とはどんなものか概要を理解する。		
5回	取消料と申込金	・小テスト②(3・4回の復習) ・宿泊・JRパック・航空パックそれぞれの申込金と取消料についてパンフレットを使用し理解・口頭で案内出来るようになる。		
6回	JR時刻表	・JRの基本ルールの習得。(年齢・乗車券等・きっぷの種類・乗り継ぎ割引) ・時刻表の見方①(地図のページ・前半のピンクのページ)がわかるようになる。		
7回	JR時刻表	・練習問題で前回の復習をする。 ・時刻表ページ(グレー)の見方・掲載順・その他(高速バス・定期観光バス等の掲載場所)の確認。 ・後ろのピンクのページ(重要事項)の解説(払戻し・事故などの取り扱い・ペットの持ち込み・新幹線の料金等)を把握する。		
8回	JR時刻表	・練習問題を通して時刻表に慣れる。		
9回	旅行商品のJRルール	・通常のきっぷと旅行商品のJR券の異なるルールについて理解する。 ・乗り遅れた場合、変更可否について学ぶ。 ・小テスト③(JR時刻表ルール等)		
10回	国内パンフレットの見方	・主要旅行会社のパンフレットを練習問題を解きながら見方がわかるようになる。 (JAL・ANA)		
11回	国内パンフレットの見方	・主要旅行会社のパンフレットを練習問題を解きながら見方がわかるようになる。 (JR九州旅行)		
12回	国内パンフレットの見方	・主要旅行会社のパンフレットを練習問題を解きながら見方がわかるようになる。 (西鉄旅行)		
13回	カウンター販売マナー・実践	・カウンター販売におけるマナー・言い回し・聴取項目を学び、ロールプレイングで体験してみよう。 ・国内旅行申込書の記載内容を理解する。 ・アロト・手じまいについて		
14回	旅行カウンター店舗作り	・パンフレット展示の役割や重要性・様々な飾りつけ・POPについて学ぶ。 ・グループに分かれて、POP計画を作成する。		
15回	203教室飾りつけ	・見た人の印象に残るようにPOP作成・パンフレットの入れ替え作業を体験する。		
16回	203教室飾りつけ・期末テスト対策	・飾りつけを完成させよう。 ・期末テスト対策。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	添乗業務(国内)			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 □ 検定あり 国内(一部海外)添乗業務の基礎知識の習得 講師の添乗経験談を交えて、添乗業務のやり甲斐を知る 授業内容から旅行業界全体のイメージを掴み、旅行業界に進む際の判断材料とする				
使 用 テキスト 「ツアーコンダクター入門」・プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験70%+平常点(出欠・授業態度・提出物)30%				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション/添乗員の役割①	・授業の進め方・評価方法 ・添乗員とは＝旅行業界の中の「添乗員」の役割、旅程管理者としての添乗員		
2回	添乗員の役割②	・添乗員と営業・販売担当者との関係 ・添乗員の役割と立場(同行すだけではない、添乗員の仕事)		
3回	添乗員の役割③	・添乗業務の特徴に基づく留意点 ・添乗員に必要な資質・能力、豊富な知識と話題 ・接客マナー・身だしなみ・言葉遣い(添乗員は会社の顔)		
4回	添乗員の基礎知識①	・宿泊(ホテル・旅館) ・貸切バス(バス問題にも触れる) ・鉄道		
5回	添乗員の基礎知識②	・観光(入場・見学・参拝/拝観) ・航空 ・食事		
6回	添乗実務(準備編)	・添乗準備(対業者・対お客様への確認)・持ち物 ・現地情報の事前学習		
7回	添乗実務(日帰りツアー編)	・ツアーの流れに沿って紹介(日帰りはツアーの基本) ・添乗精算・報告		
8回	添乗業務(宿泊編)	宿泊施設での添乗員の動き(チェックイン・食事・入浴・チェックアウト)		
9回	添乗業務(乗り物編①)	鉄道を利用する際の添乗員の動き(ツアーの集合～乗り物に乗るまで)		
10回	添乗業務(乗り物編②)	航空機を利用する際の添乗員の動き(ツアーの集合～乗り物に乗るまで)		
11回	ロールプレイング	添乗の場面で必要なシチュエーションを想定し、ロールプレイング(朝の挨拶、観光地での案内の仕方など実践)		
12回	前期前半のまとめ	前期前半の復習		
13回	添乗業務(トラブル編)	事故やトラブルへの対応(さまざまなトラブルを検証)		
14回	海外添乗基礎知識①	国内添乗と海外添乗の違い		
15回	海外添乗基礎知識②	・国内と海外での「ガイド」の在り方について知る ・方面別の旅行先への添乗員の心構え(語学など)		
16回	前期のまとめ	・期末試験へ向けての講義・旅行業務についての総括的講義		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	国内運賃・料金(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	☒ 検定あり 9月に実施される「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す 国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する			
使用テキスト	国内運賃・料金／JR時刻表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内試験60%+平常点(授業態度 等)40%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	「運賃」「料金」とは・JRの基本	運賃と料金の違い／JR旅客6社／乗車券の種類・発売日・有効期間		
2回	JR運賃計算の基本①	「幹線」「地方交通線」／各種運賃表／運賃計算の手順		
3回	JR運賃計算の基本②	本島3社と3島会社相互の運賃計算		
4回	JR料金の基本①	5つの料金／練習問題		
5回	JR料金の基本②	練習問題		
6回	新幹線①	新幹線の路線網／新幹線の料金計算		
7回	新幹線②	新幹線の特例／練習問題		
8回	乗継割引	乗継割引の条件／練習問題		
9回	JR割引運賃・団体旅客の取扱い	各種割引の条件と割引率／団体割引の計算の手順		
10回	JR団体運賃・料金	団体割引と無賃扱い／練習問題		
11回	JR運賃の特例	特定都区市内制度／区間外乗車・大都市近郊区間		
12回	JR運賃の特例②	特定区間、新幹線と在来線		
13回	JR運賃料金のまとめ	総合練習問題		
14回	航空	空港コード／予約開始日・発売日／運賃・料金		
15回	貸切バス運賃・料金／フェリー運賃・料金	貸切バスの運賃料金／フェリーの運賃料金		
16回	運賃・料金のまとめ	総合練習問題		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	レクラス
科目名	海外観光地理			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標 ☒ 検定あり 10月総合管理者試験に向け、前期は主要国の観光地を広く学習します。観光で巡る観光地名、特徴、特産品、料理、祭りなどを学びます。 日頃から、海外旅行のパンフレットに目を通したり、テレビの旅番組などを積極的に見るようにして、覚えていってください。				
使 用 テキスト 海外観光資源(JTB)、旅に出たくなる地図				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(小テスト) ・期末試験 80%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	導入・中国	学習の仕方などを説明。 観光資源の解説、地図で位置確認。 広大な土地の中国、アジアでも覚える観光地が多いNO1の国です。		
2回	中国	中国の歴史を今に伝える都市や遺跡、多様な自然景観を学びます。 北京・上海・中国東北部・中央部・南部・西部の観光地を見ていきます。 世界的な遺跡への旅が脚光を浴びています。		
3回	韓国	中国小テスト 日本から一番近い海外、韓国の観光資源を見ていきます。 観光ポイントとしてソウル・釜山・慶州・済州島を学びます。		
4回	東南アジア1	小テスト 東南アジアを主要国を中心に見ていきます。 ベトナム・カンボジア・タイの観光地を学びます。		
5回	東南アジア2	小テスト マレーシア・シンガポールの観光地を学びます。 伝統芸能やビーチリゾートも魅力的です。		
6回	イギリス	小テスト ヨーロッパの主要な国を学びます。 イギリスの魅力の背景にある歴史や文化を考えながら地名にの確認をします。		
7回	フランス	小テスト フランスを多くの日本人が最初にヨーロッパの旅で訪れる国です。 パリを中心にフランス各地の観光地を学びます。		
8回	ドイツ	小テスト ドイツも歴史が深い国です。 ドイツのポイントである中世の建造物・古城や街道などを学びます。		
9回	イタリア	小テスト 世界中からの観光客が集まるイタリアを見ていきます。 ローマ・フィレンツェ・ナポリ・ベネチアなどの魅力ある都市を学びます。		
10回	ヨーロッパ	小テスト 人気が高まってきた北欧、最も人気がある国のひとつスウェーデンを見ていきます。 また、観光資源が多数あるスペインやポルトガルを学びます。		
11回	アメリカ	小テスト ロサンゼルス・サンフランシスコなどの西海岸、ニューヨーク・ワシントンなどの東海岸、オランダ周辺のテーマパークがポイントとなる南部を中心に見ていきます。		
12回	ハワイ・カナダ	小テスト 日本人観光客が最も多く訪れるハワイを学びます。 また、美しい自然に恵まれたカナダを見ていきます。		
13回	南米	小テスト 多くの観光客を引き付けるペルーの遺跡などを学びます。 また、南米のイメージの象徴ブラジルを見ていきます。		
14回	オセアニア	小テスト 多様な大自然と固有の動植物など、魅力あるオーストラリアを見ていきます。 また、変化に富む自然があり、先住民とヨーロッパの文化が共存するニュージーランドを学びます。		
15回	中東・アフリカ	小テスト 古代文明の発祥の地エジプトを見ていきます。 また、世界遺産が多く、アジアとヨーロッパを結ぶトルコを学びます。		
16回	まとめと復習	前期のまとめ アジア・ヨーロッパ・アメリカ・オセアニアの復習をします。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	業法(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	丸山時男			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)			
使用テキスト	2017年旅行業法及びこれに基づく法令(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	☐ ※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ ☐ 期末試験なし・・・× を枠に選択			
	テーマ	授業内容		
1回	旅行業法とは	授業の進め方、評価方法 国家試験の概要 旅行業法の条文の構成と学習法		
2回	第1章 総則	旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)		
3回	第1章 総則	旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) 旅行業と旅行業者代理業		
4回	第2章 旅行業等	登録制度、旅行業の種類と業務の範囲 旅行業法施行規則(第1条～4条)		
5回	第2章 旅行業等	登録拒否(第6条) 有効期間、更新、変更(第6条2～4) 旅行業法施行規則(第4条～5条)		
6回	営業保証金制度	小テスト 営業保証金の供託と供託額(第7条～8条)		
7回	営業保証金制度	営業保証金の追加供託、取り戻し、保管替え等(第9条) 取引額の報告(第10条)		
8回	旅行業務取扱管理者 制度	旅程管理(第12条の10～12条の11) 取扱管理者の選任、試験、証明書の提示(第11条～12条の5の2) 取扱管理者の職務(施行規則10条)		
9回	取扱料金表 旅行業約款	標識の掲示(第12条の9) 取扱料金表の掲示(第12条) 旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款の掲示(第12条の3)		
10回	取引条件の説明 書面の交付	小テスト、課題提出 取引条件の説明内容、書面の交付内容(第12条の4～12条の5) 説明事項、書面の記載事項(共同規則3条～9条)		
11回	広告、禁止行為	受託契約(第14条の2) 外務員証の携帯(第12条の6) 企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8) 禁止行為・名義利用の禁止(第13条～14条)、施行規則		
12回	旅行業協会制度	旅行業協会の法定業務、弁済業務保証金制度(第22条の3～22条の16)		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	クラス
科目名	約款(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	丸山時男			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)			
使 用 テキスト	2017年旅行業約款・運送・宿泊約款(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅行業約款とは	授業の進め方、 評価方法、旅行業界の年表 。約款とは 。旅行契約の種類 。国家試験の国内と総合の範囲		
2回	募集型企画旅行	。総則(定義、契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結		
3回	同上	。契約の変更		
4回	同上	。契約の解除		
5回	同上	。団体、グループ契約 。旅程管理 。責任 。理解度チェック小テスト		
6回	同上	。旅程保証 。変更補償金		
7回	受注型企画旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則(定義、契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結 。契約の変更 。契約の解除		
8回	特別補償規程	。補償金等の支払い(責任、定義) 。補償金等を支払わない場合 。補償金等の種類及び支払い額		
9回	特別補償規程	。補償金等(身体の傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 。携帯品損害補償金の支払い		
10回	手配旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則 。契約の成立 。契約の変更及び解除 。課題の提出		
11回	手配旅行	。旅行代金 。団体グループ手配 。責任		
12回	旅行相談	。契約の内容 。責任		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	アクセス			
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			
到達目標	検定あり 国内線の空席照会～予約や変更、機内座席指定さらには個人割引運賃全般まで、幅広く習得する。 以上、練習問題を多くこなすことにより、処理能力を高める。また、実務に役立つ専門用語も学ぶ。 アクセス検定国内3級(7月実施)の全員合格を目指す。			
使用テキスト	AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、検定対策用過去問題			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点30%(授業態度10% 小テスト10% 提出物10%) 期末テスト70%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	基礎知識	アクセス端末の各名称(キーボードの場所や基本操作)や入力時の注意点を学ぶ 基本的な専門用語(空港コード/都市コード/航空会社の正式名称など)を学ぶ その他、CRS(予約端末機)についての概要を学ぶ		
2回	空席照会と予約	予備知識(予約受付期限/発券期限/国内年齢区分・など)を学ぶ 航空便の空席照会入力方法を学ぶ、直行便や乗継便の予約を行う ※2レター/航空会社名 小テスト実施		
3回	旅客データの入力と訂正	旅客名の入力を学ぶ(国内へボン式ローマ字/家族や外国人入力/インファント入力) 旅客の連絡先や申込者の入力を学ぶ 旅客データの訂正/追加/削除を学ぶ		
4回	PNRの完了と中断	PNR構成と作成までの流れを学ぶ PNR完了と中断方法を学ぶ 予約コードの流れを学ぶ		
5回	その他の予約方法	キャンセル待ち/便指予約/オープンセグメントの入力を学ぶ PNRの抽出方法を学ぶ		
6回	予約変更と取消	予約便の取消と変更手順を学ぶ 事前座席指定へ進む(国内シートマップについて学ぶ)		
7回	事前座席指定	シートマップからの座席予約(機内通路や窓側を選択し予約する)を学ぶ 予約変更による座席変更を行う		
8回	割引運賃の予約Ⅰ(AW入力)	国内線割引運賃全般(予約クラス・規則を学ぶ) AW画面からの予約を行う		
9回	割引運賃の予約Ⅱ(AW入力)	AW画面からにの最安値運賃の予約を行う 割引運賃の予約変更手順を学ぶ		
10回	検定対策Ⅰ	アクセス検定国内3級に向けて、入力のポイントを学ぶ アクセス検定国内3級・過去問題に取り組む(課題あり)		
11回	検定対策Ⅱ	アクセス検定国内3級・過去問題に取り組む(課題あり) 添削と返却		
12回	国内線総復習/期末テスト	国内線総復習(空席照会～予約・変更・座席指定まで) ※期末テスト		
13回	復習/分割	国内予約の流れを復習(空席～予約～座席指定～割引運賃まで) PNR作成とロールプレイ(新規予約)		
14回	新システムについて	2017年10月～アクセス国内線新システムについて学ぶ (新システム概要説明)		
15回	新システムについて	アクセス国内新システムについて、PNR作成の流れを確認する		
16回	新システムについて	アクセス国内線新システム・簡単なPNRを作成する		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 □ 検定あり 専門学校において、就職することが最大目標である事を再認識し、基本的な姿勢を習得します。 自己PRや自己分析を的確に行い、また、就職活動の流れを早く掴んでおくことを目標とします。				
使 用 テキスト SUCCESS、就職ノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度により評価を行う				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	自己紹介(業界を志望する理由、目指す職業など) 授業の進め方を説明。就職とは何か、社会人の心構えとはなど自分と向き合う事から始めましょう。		
2回	就職活動の心構え・準備	就職とは、を考えて自分なりの就職の目標を考えます。 身だしなみはなぜ大切か、を考えましょう。 学生と社会人の違いは何でしょうか。		
3回	就職活動の流れ・履歴書の書き方	当校における就職への流れの説明。 就職室の利用方法 履歴書の書き方 就職活動のルール		
4回	自分を知ろう	自分自身をどれだけわかっているか、を考えます。 自分のライフスタイルはどうなのかを向きあってみましょう。 将来の夢や目標は何でしょうか？		
5回	自己分析①	自己分析の意義＝就職活動において何なのか、を考えます。 過去・現在の自分の掘り起こしをして、自己分析の基礎とします。		
6回	自己分析②	自分で考える自身の性格を記述してみましょう。 自分の能力や適性の把握を考えてみましょう。		
7回	職業を知ろう	業界の歴史について理解していきます。 業界が求める人材とは？ 自分と業界の接点の認識を考えます。		
8回	自己PR作成①	自己分析からPRできるものをピックアップし、それに肉付けしていきます。 それを企業でどう活かすのかを考え、文章にします。		
9回	自己PR作成②	300字以内で自分をPRしよう。 自己PRの分析をもとに、文章にしていきたいと思います。		
10回	志望動機の作り方	個別の志望動機を自己分析から抽出します。 業界とのマッチングをどう表現するか、考えましょう。志望する根拠の確認をします。		
11回	志望動機作成	300字以内で志望動機を書いてみよう。 文章にして考えていきたいと思います。		
12回	企業研究	業種、職業別に自分の希望を定め、企業について選定を進めていきます。 11月の模擬面接に向け、第1志望～第3志望の企業を選定し、企業研究を発展させます。		
13回	希望就職先の志望動機の作り方	第1志望の企業に向けての、志望動機の作り方を学習します。 志望動機で書く内容、そのために必要な資料を定めます。 書く内容を箇条書きにします。		
14回	希望就職先の志望動機の下書き・準備	志望動機の文章を書き始めます。講師が添削・指導します。 文章の構成を十分に練って書いてみてください。		
15回	希望就職先の志望動機を完成させる	志望動機の文章を清書します。 余裕がある人は希望就職先に応じ長いバージョン／短いバージョンをそれぞれ作成してみましょう。 エントリーシートによって長さを変えられるよう、臨機応変に対処できるよう、準備しましょう。		
16回	前期の振り返り	自己分析、それに対して希望就職先の志望動機をどれだけ完成させたかを確認。 前期のまとめ。後期への目標を定める。		

対象学年	1年	対象クラス	トラベル科	Lクラス
科目名	ツアープランニング			
担当講師(フルネーム)	草野智子			
到達目標	☐ 検定なし ・国内(海外)旅行プランニングの目的、見積もり・行程表の基本ルールの習得を目指す。 ・決められた時間内で、お客様だけのオリジナルプランの完成出来るようになる。 ・プランニング内での人気観光地までのアクセス・人気ホテル・お土産・食事・交通機関も把握できるようになる。			
使用テキスト	プランニングノート・指定パンフレット・JR時刻表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・小テスト(平常点) 20% ・提出物 80%(課題4つそれぞれ20点)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方概要・国内行程表作成方法解説	・授業の進め方・評価方法について案内 ・ツアープランニングとは何か。実際に現場ではどのような仕事をしているのかを学ぶ。 ・国内旅行(個人)行程表のプランニング方法を練習問題(関西)を解きながら学ぶ・資料の使い方を学ぶ。		
2回	①JRを利用した旅行	・1泊2日JRで行く九州旅行(鹿児島か長崎)のプランニングをしよう。 (お土産・ホテルの特徴・人気グルメ・人気観光スポットは必ず入れること。)		
3回	②飛行機を利用した旅行1	・東京&ディズニーリゾート方面で国内ツアーパンフレットをベースにプランニングをしよう。 (お土産・ホテルの特徴・人気グルメ・人気観光スポットは必ず入れること。)		
4回	②の続き	・②のつづき 時間内に完成・提出しよう。		
5回	③飛行機を利用した旅行2	・リゾート(沖縄)方面でレンタカーを使った個人旅行をプランニングをしよう。 (お土産・ホテルの特徴・人気グルメ・人気観光スポットは必ず入れること。)		
6回	③のつづき	・③のつづき 時間内に完成・提出しよう。		
7回	④海外個人旅行(アジア)	・海外旅行行程表のプランニング方法を練習問題(韓国)を解きながら学ぶ・資料の使い方を学ぶ。 (お土産・ホテルの特徴・人気グルメ・人気観光スポットは必ず入れること。)		
8回	④のつづき	・シンガポール旅行(ホテル・航空券・OPツアーそれぞれ別手配)のプランニングをしよう。 ・④の続き 時間内に完成・提出しよう。		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1.2(選択者)年	対象クラス	トラベル 科	K・L クラス
科目名	総合管理者 I			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子 藤田祐子 丸山時男			
到達目標 ☒ 検定あり 10月に実施される「総合旅行業務管理者」の資格試験に向けて、約款、海外実務の科目を中心に学習していく。 海外実務の科目は多岐に渡るため、それぞれに整理して学んでいく。				
使 用 テキスト JTB総合検収書「旅行業約款、運送・宿泊約款」「出入国法令と実務」「国際航空運賃・料金」「海外旅行実務」				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業中の小テストにて評価を行う。				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 4/12(水)	国際航空運賃(藤田)	国際航空運賃の基礎 (IATA、GI、運賃の種類)		
2回 4/13(木)	国際航空運賃(藤田)	運賃の適用、小幼児運賃、曜日運賃、有効期間、必要旅行日数、変更取り消し払い戻し、購入期限		
3回 4/19(水)	国際航空運賃(藤田)	運賃の通貨単位、IATAレート(NUC、ROE)、 端数処理		
4回 4/20(木)	国際航空運賃(藤田)	タリフのとは、タリフの見方、アドオン運賃、付加運賃税金諸料金、Eチケットの見方		
5回 4/26(水)	国際航空運賃(藤田)	運賃計算の基礎(旅程の各地点の呼び名、他の用語説明)、旅行形態		
6回 4/27(木)	国際航空運賃(藤田)	運賃計算の基礎と手順、マイルレージ計算と運賃計算、運賃計算の例1		
7回 5/10(水)	出入国法令・実務(挽田)	旅券の種類を学ぶ 一般旅券の発給申請について理解する 必要書類を知る・省略できる提出書類を覚える		
8回 5/11(木)	国際航空運賃(藤田)	運賃計算の例2(割り増し)		
9回 5/17(水)	出入国法令・実務(挽田)	代理申請について学ぶ 未成年者の申請の仕方を知る 居所申請の条件と方法を調べる		
10回 5/18(木)	国際航空運賃(藤田)	運賃計算の例3		
11回 5/24(水)	出入国法令・実務(挽田)	小テスト 新規発給以外の申請について学ぶ 旅券の失効について理解する・旅券の受領の仕方を知る		
12回 5/25(木)	国際航空運賃(藤田)	みなし計算、TPM控除、特定経路		
13回 5/31(水)	出入国法令・実務(挽田)	小テスト 時差表の見方を学ぶ GMTへの換算・2地点の時差・相手の現地時間を計算する		
14回 6/1(木)	約款(丸山)	H28年度国家試験問題分析①、解説		
15回 6/7(水)	出入国法令・実務(挽田)	都市コード・空港コード・航空会社コードを覚える OAG航空時刻表の見方を学ぶ 所要時間を計算する		
16回 6/8(木)	約款(丸山)	H28年度国家試験問題分析②、解説		

対象学年	1.2(選択者)年	対象クラス	トラベル 科	K・L クラス
科目名	総合管理者 II			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子 藤田祐子 丸山時男			
到達目標 ☒ 検定あり 10月に実施される「総合旅行業務管理者」の資格試験に向けて、約款、海外実務の科目を中心に学習していく。 海外実務の科目は多岐に渡るので、それぞれに整理して学んでいく。				
使 用 テキスト JTB総合検収書「旅行業約款、運送・宿泊約款」「出入国法令と実務」「国際航空運賃・料金」「海外旅行実務」				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業中の小テストにて評価を行う。				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 6/21(水)	出入国法令(挽田)	日本の入国手続きを理解する 動物検疫・植物検疫について学ぶ 輸入禁止品や輸入検査品を知る		
2回 6/22(木)	約款(丸山)	H28年度国家試験問題分析③、解説 演習問題、小テスト		
3回 6/28(水)	出入国法令(挽田)	税関手続きについて学ぶ 携行品等の免税範囲を知る 携行品等の課税通関について理解する		
4回 6/29(木)	約款(丸山)	国際航空運送約款(日本航空)の条文解説		
5回 7/5(水)	出入国法令(挽田)	小テスト ワシントン条約について理解する 外来生物法による輸入規制について学ぶ		
6回 7/6(木)	約款(丸山)	国際航空運送約款(日本航空)の条文解説		
7回 7/12(水)	出入国法令(挽田)	小テスト 外国人の入国について学ぶ 外国人の出国と再入国許可の手続きについて理解する		
8回 7/13(木)	約款(丸山)	H27年度国家試験問題分析、解説(国内線、国際線、宿泊) 小テスト		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	国内観光地理			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	☐ 検定あり 1年次の国内観光地理の学習内容を踏まえ、さらに詳しく肉付け、パンフレット等を参考にも自分自身でもお客様へも案内用できるように、実践的に学ぶ。			
使 用 テキスト	国内観光地理 旅に出たくなる地図 プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験80%+平常点(出欠・授業態度・提出物)20%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方 評価方法の説明		
2回	北海道(春・夏)	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習。		
3回	北海道(秋・冬)	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習。		
4回	北東北(青森・秋田・岩手)	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
5回	南東北(宮城・山形・福島)	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
6回	関東	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
7回	甲信越・立山黒部アルペンルート	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
8回	中部	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
9回	前半まとめ	前半の内容をまとめ。		
10回	北陸	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
11回	関西①	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
12回	関西②	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
13回	中国・四国	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
14回	九州	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
15回	沖縄	ツアーでも行く観光地をピックアップ。その観光地の特色と、付随する内容を深めて学習		
16回	まとめ	前期のまとめ。自分(学生)のオススメツアーの紹介発表。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	海外観光地理			
担当講師(フルネーム)	藤田 祐子			
到達目標 □ 検定あり 海外の観光地、特産品、その土地の食べ物、など、海外旅行を楽しむための基礎知識を学びます。 映像も観ながら楽しく学んでいきます。、海外旅行の楽しさを伝えられるように、自分でも興味を持って、旅番組を見たりして、知識を増やしましょう。				
使 用 テキスト 海外観光資源、旅に出たくなる地図(世界)、プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試験 100%				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ベトナム	ベトナムの観光開発は、近年大変著しく成長しています。リゾート地も増えてきました。 経済成長も著しいベトナム。日本人観光客も増えております。ホーチミン、ハノイ、という大都市を中心に、ベトナムの観光資源を学んでいきます。		
2回	マレーシア	都会のクアラルンプール、そして海や高原のリゾート、自然の資源があふれる東マレーシア、 様々な顔を持つ、マレーシアの魅力を学びます。 多民族多文化の国の面白さを知りましょう。		
3回	グアム・サイパン	日本から近い太平洋のリゾート、ウエディングも多いです。家族連れにも人気の海のリゾートを学びます。		
4回	インド	30以上の世界遺産があるインド。歴史も深く、近年の経済発展もあり、興味深い観光地です。歴史的な場所も含め、インドの魅力を学びます。		
5回	インド・ネパール	インドの観光地を学び、隣接するネパールの自然の魅力も学びます。		
6回	ハワイ	昔から日本人に人気のリゾート。楽しみ方も様々あります。ホノルルがあるオアフ島から、観光地や人気スポットを学んでいきます。		
7回	ハワイ	オアフ島に隣接する、他のハワイ諸島の島々の魅力を学んでいきます。オアフ島以外の島に滞在するツアーも多く、それぞれの島の魅力の特徴をつかんで、説明できるようになりましょう。		
8回	ニュージーランド	オセアニアの自然豊かな島国ニュージーランド。北島、南島と大きく2つの島に分かれています。 一番の大都市オークランドから観光地を学んでいきます。		
9回	ニュージーランド	南島にも豊かな自然の観光地がたくさんあります。ニュージーランドのハイライト的な観光地は南島に多くあります。 南島の魅力を学びます。		
10回	オーストラリア	オセアニアの大きな面積の国です。コアラ、カンガルーといった固有の動物の生息地としても知られています。 日本からは時差も少なく、人気の国でもあります。大都市シドニーから順に観光地を見ていきます。		
11回	オーストラリア	広大な面積のオーストラリア。東岸、中央部、北部、など場所により様々な顔をもっています。 オーストラリアの魅力を学びましょう。		
12回	カナダ	アメリカ大陸の北に比する国 カナダ。メープルの葉が国旗のカナダは、自然豊かな国。 自然を中心とした観光資源をじっくりと見ていきましょう。		
13回	カナダ	カナダは西部、東部と観光資源も様相が変わります。楽しく映像を見ながら学びましょう。		
14回	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、いわずと知れた世界の大国。歴史は浅いですが、広大な土地の様々な都市は魅力にあふれています。 文化、大自然、大都市の活気、多くの見所を学びます。		
15回	アメリカ合衆国	西海岸の都市から初めて、東海岸の都市、ニューヨーク、などを順に観光地を紹介していきます。 アメリカの文化歴史を交えながら学んでいきましょう。		
16回	フロリダ半島・西インド諸島	アメリカのフロリダ半島から、西インド諸島にかけてをみていきます。西インド諸島は、多くの島があり、それぞれの文化を持つ国々で構成されています。カリブ海の美しい海とともに、魅力を学びます。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	カウンター販売(海外)			
担当講師(フルネーム)	草野智子			
到達目標	☐ 検定なし ・旅行商品の仕組み・国際航空券・オプションツアー・専門用語・査証・旅行保険等の幅広い知識の習得を目指す。 ・予約・販売・企画・見積もりをする際の流れ・言い回し(カウンター・電話)をロールプレイングで習得する。 ・人気都市・商品について研究・比較(ホテルの特徴・パンフレットの差別化)し、即戦力として案内・提案できるようになる。			
使用テキスト	海外旅行カウンター販売、配布プリント、指定パンフレット			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 40%(小テストを含む) ・期末試験 60%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	海外旅行概要	・授業・評価方法について説明。 ・海外旅行の主な商品やパーツ(鉄道・ホテル・航空・オプションツアー等)がどのようなものがあるか概要を把握する。		
2回	専門用語・電圧・WiFi事情	・旅行・航空会社の手配・添乗・予約時の専門用語を習得する。 ・日本と異なる電圧・プラグ・海外のWiFi事情について学習する。 ・ホテルの客室について(日本との考え方の違い)		
3回	海外航空券	・小テスト1(①②の復習) ・海外航空券の種類・仕組み・主な航空会社・2レター(国際線)・航空会社ランキング・海外代表都市3レターを学習する。		
4回	海外旅行パッケージツアー・パスポート	・パンフレットの見方・旅行商品取消料について、・203教室 パンフレット入れ替え作業 ・パスポートの取得方法・金額・日数を把握。入国する際のパスポート残存期間について。査証(ビザ)とは。 ・旅行代金計算(基本・航空UP国内線・燃油サーチャージ・税金)を学習する。		
5回	旅行シーズン・世界の列車	・小テスト2(③④の復習) ・雨期・乾季それぞれの魅力や、人気都市のオススメ旅行シーズンについて把握する。(ハネムーン等) ・世界の豪華列車について・各国通貨について		
6回	カウンター接客応対	・カウンター販売(予約)のお迎えからお見送りまで一連の流れを把握(ロールプレイング)する。 ・海外旅行保険について ・申込金・予約の名前について		
7回	企画・見積もり	・団体ツアー等の企画や見積もり方法・注意点を学ぶ(練習問題) ・小テスト3(⑤⑥の復習)		
8回	人気都市研究①	・ハワイについて(ハワイの島・代表的な観光スポット・ホテル・空港からのアクセス) ・各旅行社の商品比較(JTB・HIS・JAL/バック・ハローツアー・西鉄旅行など)何が違うのか学習する。 ・査証(ESTA)について		
9回	人気都市研究②	・韓国(ソウル・釜山)について(空港・港からのアクセス・KTX・代表的なホテルと免税店・人気OPツアー) ・福岡から就航している航空会社について		
10回	人気都市研究③	・ヨーロッパについて(乗り継ぎ時の注意点・各旅行社パンフレットの特徴・航空会社指定なしの見方について等) ・人気都市と代表的な観光地・美術館・博物館・建造物・自然について ・ロストバゲッジについて		
11回	人気都市研究④	・その他人気アジア(タイ・ベトナム・シンガポール・バリ島・カンボジア)主な航空会社・人気ホテル・OPツアーについて		
12回	人気都市研究⑤	・オーストラリア・グアムについて(日本からの航空会社・主要都市・シーズン・主な観光地・代表的なホテルについて)		
13回	人気都市研究⑥	・アメリカについて(日本からの航空会社・主要都市・シーズン・主な観光地・代表的なホテルについて)		
14回	ワーキングホリデー	・ワーキングホリデーの仕組みについて口頭で説明できるようになる。 ・対象国や対象年齢を把握する。		
15回	海外ウェディング	・海外ウェディングとはどんなものか概要を把握する。 ・主な方面・商品についてパンフレットを見ながら内容を確認しよう。 ・提案～予約までの流れ・期間を把握する。		
16回	復習	・今までの授業内容を振り返り期末テスト勉強をしよう。		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	アクセス			
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			
到達目標	☒ 検定あり 国際線の空席照会～予約や変更、機内座席指定などの基本操作から、機内食・小児幼児入力やパスポート情報・渡航先入力などの応用入力まで、幅広く習得する。 以上、練習問題を多くこなすことにより、処理能力を高める。また、実務に役立つ専門用語も学ぶ。 アクセス検定国際3級合格を目指す(希望者のみ)。			
使用テキスト	AXESS国際予約発券業務の基礎・国際早見表 その他、検定対策用過去問題			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点30%(授業態度10% 小テスト10% 提出物10%) 期末テスト70%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	基礎知識	国際線で必要な知識(航空会社・都市・空港コードなど)をテキストにそって確認する アクセス端末でよく使用するキーボードの確認をする その他、CRS(予約端末機)についての概要を学ぶ		
2回	スケジュール照会	国内線と国際線の違いを学ぶ スケジュール照会の基本操作を学ぶ (途中寄港、機内食、使用機材、予約クラス、コードシェア便の表示を確認する)		
3回	空席照会	国際線における空席照会入力(基本入力と画面確認→アライアンスやリンクレベルの確認)を学ぶ 基本の空席照会から画面展開を行い、効率の良い便を探す (直行便、乗継便、時間指定、航空会社指定、乗継地指定も行う)		
4回	航空便の予約	空席照会からの予約 コードシェア便の予約 予約コードの流れを学ぶ		
5回	航空便の予約	キャンセル待ち/便指予約/オープンセグメントの入力を学ぶ 予約コードのアップグレード入力を学ぶ→どのタイミングで行うのか、またその入力方法を学ぶ		
6回	旅客データ入力	国際線における旅客氏名・連絡先の電話番号・申込者担当者の入力を学ぶ ヘボン式入力のおさらい 旅客氏名入力について、国内線との違いを学ぶ		
7回	PNR完了と中断・抽出	PNR完了と中断を学ぶ 様々な、PNR抽出方法を学ぶ ※中間テスト(スケジュール照会/空席照会からの予約～PNR完了まで 筆記問題あり)		
8回	旅程の変更と取消	PNR完了から、旅程の取消と変更を行う 座席表・シートマップの入力方法を学ぶ 座席表・シートマップからの事前座席指定を行う(座席番号にて予約する)		
9回	事前座席指定	属性コードにて、他社便座席指定を行う 座席指定後の画面確認「*S」入力 PNR項目別表示について学ぶ「*R」「*G」「*H」など		
10回	特別機内食	特別機内食の入力を行う 機内食コードの確認をする		
11回	幼児・小児入力	幼児・小児情報の入力を行う SSR削除と画面消去を行う		
12回	復習/期末テスト	アクセス検定国際3級・過去問題に取り組む ※期末テスト(筆記・PNR作成・変更・座席指定・座席指定・機内食入力・幼児小児入力)		
13回	国際線まとめと応用	国際予約の流れを復習(空席～予約～座席指定まで) PNR作成とロールプレイ(新規予約) PNR分割(旅客人数の変更)		
14回	国際線まとめと応用	米国入国時に必要な入力について学ぶ (渡航先入力DOCA//パスポート情報DOCS/その他旅客情報DOCO入力を行う) アクセス検定・国際2級・過去問題に取り組む		
15回	新システムについて	2017年10月～アクセス国内線新システムについて学ぶ (新システム概要説明)		
16回	新システムについて	アクセス国内線新システム・簡単なPNRを作成する		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業英語			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	☐ 検定あり 海外旅行の添乗業務をする際に必要な英語を、実際の旅行の流れに沿って学び、海外添乗業務を遂行できる力を身につける。 海外添乗の基本的業務に必要な英語力と添乗で遭遇するさまざまなケースでの言い回しを会話パターンとして身につける。 旅行業務に必要な英語を学び、情報・資料・手配書などを読み取れるようになる。			
使用テキスト	ツアーコンダクターの英語			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第5章自由行動の案内1	自由行動中の業務の基本を理解する 情報を得るための英語表現を学ぶ オプショナルツアーやショーの情報を読み取る		
2回	第5章自由行動の案内1	復習テスト ホテルから情報を取る 路線バスの乗り方		
3回	第5章自由行動の案内1	復習テスト ツアーとショーの予約 音楽会の切符の予約		
4回	第5章自由行動の案内1	復習テスト レンタカーの予約 列車の切符の予約		
5回	第6章自由行動の案内2	復習テスト バスの運転手に行き先を聞く 道を聞く		
6回	第6章自由行動の案内2	復習テスト 買い物をする 切符を引き取る		
7回	第7章レストランで	復習テスト 昼食の注文 夕食のレストランの予約		
8回	第7章レストランで	復習テスト 夕食のレストランで メニューの見方		
9回	第8章観光・視察	復習テスト ガイドが来ない コースの確認		
10回	第9章事故処理	復習テスト お客様の病気 医者を呼ぶ		
11回	第9章事故処理	復習テスト 手荷物の紛失・盗難・破損など 空港での荷物の紛失		
12回	第10章移動と帰国	復習テスト 航空機での移動 予約の確認・変更		
13回	旅行業務の英語表現	復習テスト 日程表を読む 手配確認書を読む		
14回	旅行業務の英語表現	復習テスト 条件書を読む 情報・資料を読む		
15回	第10章移動と帰国	復習テスト 帰国 ホテルのチェックアウト、ボーターの手配、空港のチェックイン		
16回	まとめと復習	復習テスト 前期のまとめ 旅行英語用語集		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業概論			
担当講師(フルネーム)	島崎明			
到達目標	☐ 検定あり 観光市場に対する関心を持つことで、業歌人としての自覚を高める。 業界人の目線で、旅行業界の現状や課題を知る。 事例を検証し、思考力や問題解決力を育成する。			
使用テキスト	観光のマーケティング・マネジメント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・到達目標、評価方法 ・家族旅行でマカオへ 各人の旅行目的、日程、旅行費用(旅行業界紙の優待情報) ・旅行日程作成：立地の良いホテル、ミシュランの三ツ星レストラン、市場、お買い物、		
2回	IBC設立の理由	・電鉄会社が学校？ 阪急電鉄と小林一三 阪急デパート、宝塚遊園地、沿線の住宅開発、文化事業(宝塚音楽学校)、人気のカレーライス ・リゾート法適用第一号(1988年)が宮崎シーガイア。バブル期到来、長崎ハウステンボス、三井グリーンランド、スペースワールド、大型ホテル開業 ・1994年IBC(ホテル科、トラベル科)開講 入学選考試験、実習制度、学科に即した就職、ハウステンボス等のバックアップ		
3回	旅行業の魅力	・低賃金、過重労働、向き不向き ・日常生活と旅行、趣味を仕事に ・がんばる爺さん業界マン		
4回	旅行業界の近代史	・東京オリンピック(1964年):東海道新幹線開業(東京～大阪)、団体旅行ブーム、都心部のホテル建設、海外旅行の自由化(外貨枠一人500円) ・大阪万国博覧会(1970年): 6400万人の入場者、大衆旅行ブーム(団体・グループ・個人旅行)、「anan」「non-no」若い女性誌が旅行喚起 ・ジャンボ機就航による運賃の多様化、海外パック商品(ルック、JALパック、ジェットツアー)、円が固定から変動レートへ、海外旅行の外貨枠撤廃		
5回	安近短と新しい旅行形態	・ネット社会の到来 ・テーマパークの勝ち組 ・修学旅行、家族旅行、ハネムーン、熟年旅行、		
6回	国内・海外旅行の現状	・数字で見る国内旅行: データの分析 ・数字で見る海外旅行: データの分析		
7回	訪日外国人の旅行	・国際観光収支は黒字、赤字？ ・インバウンドの実態: 数字で見るインバウンド旅行 ・インバウンド旅行は日本の旅行業界にとっては迷惑？		
8回	主催募集旅行の作り方	・旅行商品はこうやって利益を出す ・ターゲットは女性 ・大量集客商品が安価なわけ、多様なニーズ対応商品		
9回	中小旅行業者の生き残り	・ヤマダ電機と街の電気屋さん、家電商品の価格勝負は明らか。 ・なぜ電気屋さんはしぶとく生き残っているのか？ ・同行添乗では負けない。 兼業もひとつのアイデア		
10回	LCC	・福岡空港に乗り入れているLCC ・LCCの主要ターゲット層？ ・取扱料金と相談料で利益確保		
11回	テーマパーク	・静岡県VS千葉県、「どっちに行きたい？」 両県の人気観光スポットやお土産品をチェック ・静岡県御殿場と千葉県浦安のディズニーランド誘致合戦。なぜ浦安だったのか？ ・絶対有利の三菱地所(御殿場)破れる！三井不動産(浦安)プレゼン戦略の勝利！		
12回	地域起こしと観光①	・札幌雪祭り。長崎ランタンフェスティバル。 ・弱みを克服してオフをオンシーズンに ・事例研究		
13回	地域起こしと観光②	・40年前、観光バスは湯布院を素通り。 ・観光バスガイドの通過アナウンス「林の間にテラと見えるのが金鱗湖、鄙びた温泉情緒の湯布院を通過しております」 ・湯布院はなぜ有名観光地に？		
14回	地域起こしと観光④	・洞爺湖サミット、伊勢志摩サミット ・福岡の強み:MICE誘致 ・事例研究		
15回	地域起こしと観光①	・衰退する日本の温泉地。雲仙温泉の強みは？ 弱みは？ ・1次産業は農林水産業、2次産業は工業、3次産業はサービス業。6次産業って何？ ・雲仙温泉が地域一体となってやろうとしていること		
16回	総括	・遣り残した事柄 ・追加する事柄 ・まとめ		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル・鉄道科	K・Mクラス
科目名	サービス接客検定			
担当講師(フルネーム)	榎本美和子、池田香織			
到達目標	☒ 検定あり 6月10日(土)に行われるサービス接客検定2級に合格する			
使 用 テキスト	サービス接客検定1-2級実問題集			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
平常点60%、検定合格点40%	授業中に模試を行い、成績評価とする			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イントロダクション	サービス接客検定について、評価方法、授業の進め方を理解する		
2回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
4回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
5回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
6回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
7回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(敬語問題)		
8回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
9回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
10回	過去問題を解く	過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
11回	過去問題を解く	模擬試験を行う①		
12回	過去問題を解く	模擬試験解説		
13回	過去問題を解く	模擬試験を行う②		
14回	過去問題を解く	模擬試験解説		
15回	過去問題を解く	模擬試験を行う③		
16回	検定・の復習	模擬試験解説、全体を通しての復習をする		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	国内管理者対策Ⅰ			
担当講師(フルネーム)	丸山時男・友納真			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す			
使 用 テキスト	国内運賃・料金／国内観光資源／JR時刻表／国内観光地理サブノート／国内地理ベーシック300			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内試験60%+平常点(授業態度等)40%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 4/12(水) 友納	国内地理(テキスト国内観光資源)	管理者試験国内地理演習問題／温泉を覚える(北海道・東北)		
2回 4/13(木) 丸山	旅行業法	H28年度国家試験問題の分析・解説		
3回 4/19(水) 友納	運賃・料金①	JR運賃計算の基本を復習／演習問題を解く		
4回 4/20(木) 丸山	旅行業法	演習問題、解答・解説		
5回 4/26(水) 友納	国内地理(テキスト国内観光資源)②	管理者試験国内地理演習問題／温泉を覚える(関東・中部・関西)		
6回 4/27(木) 丸山	旅行業約款	H28年度国家試験問題の分析・解説		
7回 5/10(水) 友納	運賃・計算②	JR運賃計算／演習問題を解く		
8回 5/11(木) 丸山	旅行業約款	演習問題、解答・解説		
9回 5/17(水) 友納	国内地理(テキスト国内観光資源)③	管理者試験国内地理演習問題／温泉を覚える(中国・四国・九州沖縄)		
10回 5/18(木) 丸山	宿泊・運送約款	H28年度国家試験問題の分析・解説		
11回 5/24(水) 友納	運賃・計算③	JR料金計算の基本を復習／演習問題を解く		
12回 5/25(木) 丸山	宿泊・運送約款	演習問題、解答・解説		
13回 5/31(水) 丸山	宿泊・運送約款	演習問題、解答・解説		
14回 6/1(木) 友納	国内地理(テキスト国内観光資源)④	管理者試験国内地理演習問題／歴史ある街並みや建造物・名園・テーマパーク		
15回 6/7(水) 丸山	旅行業法	弱点対策、小テスト		
16回 6/8(木) 友納	運賃・計算④	JR料金計算の基本を復習／演習問題を解く		

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	国内管理者対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	丸山時男・友納真			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す			
使 用 テキスト	国内運賃・料金／国内観光資源／JR時刻表／国内観光地理サブノート／国内地理ベーシック300			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内試験60%+平常点(授業態度等)40%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回 6/21(水) 友納	国内地理(テキスト国内観光資源)⑤	管理者試験国内地理演習問題／寺院・仏閣		
2回 6/22(木) 丸山	旅行業約款	弱点対策、小テスト		
3回 6/28(水) 友納	運賃・計算⑤	JR総合問題		
4回 6/29(木) 丸山	宿泊・運送約款	弱点対策、小テスト		
5回 7/5(水) 友納	国内地理⑥／ 運賃・計算⑥	国内地理演習問題／JR総合問題		
6回 7/6(木) 丸山	旅行業法	模擬試験、解答・解説		
7回 7/12(水) 友納	まとめ	試験に向けて、復習		
8回 7/13(木) 丸山	約款	模擬試験、解答・解説		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	K①K②クラス
科目名	就職活動講座(面接)			
担当講師(フルネーム)	山田邦幸			
到達目標	☐ 検定あり * 2017年度における企業の求人スケジュールに沿った授業運営を行い、企業が求める面接、コミュニケーション能力及び業界に必要な知識を育成することで、各学生が希望する企業の内定を勝ち取る。同時に前年度以上の月別内定率を達成する。 * 内定学生は就業までに自己研鑽として社会人としての自覚を持つよう指導(課題提示)と業務に必要な知識アップ(小テスト等実施)を行う。			
使用テキスト	* 勝つための就職ガイドSUCCESS・就職ノート * プリント(その都度配布・過去に配布した分を含めてファイルに綴じて毎回持参すること。)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 * 面接実技・出席率・提出物(内容・提出期限等)・授業態度・身だしなみにより評価。(スーツ着用・規定通り着用すること。)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について(前年度及び今年度の求人環境・求人状況・企業研究・企業リスト・就職閲覧室の活用等)		
2回	受験対策	* 最終模擬面接に向けての用意 * 就職活動について(学校の規則・手続き等)		
3回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 最終模擬面接の振り返り * 面接練習①(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等)		
4回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習②(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
5回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習③(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
6回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習④(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
7回	受験対策 (求人状況に応じて)	* グループディスカッション練習(受験報告書&レジュメをもとに・受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等) * 内定率50%以上目標		
8回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑤(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
9回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑥(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
10回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑦(集団または個人・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等) * 内定率70%以上目標		
11回	受験対策 (求人状況に応じて)	* 面接練習⑧(個人または集団・受験報告書&レジュメをもとに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・小テスト(業界用語・地理・一般常識等) * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
12回	まとめ	* 前期のまとめ・就業までの過ごし方 * 未内定学生の個別指導 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の取得等)		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル 科	K クラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	藤田 祐子			
到達目標 ☐ 検定あり 就職活動をするにあたり、個人個人の就職活動の指導を行っていきます。 受験する企業ごとに、個別の指導をしていきます。				
使 用 テキスト Success 、 就職ノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 100%				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	導入	4月22日の最終模擬面接に向けて、エントリーシートを作成します。 求人情報についての現状と、求人の見方を再度確認します。		
2回	受験対策	最終模擬面接のエントリーシートの提出をします。 受験手続について、再度確認します。		
3回	受験対策	最終模擬面接の振り返りをします。 受験企業に向けての、自己PR、志望動機を作成します。		
4回	受験対策	自己分析の再確認および自己PRの完成を目指します。		
5回	受験対策	志望企業のリストアップ、企業研究を求人ごとに個別に行います。		
6回	受験対策	志望企業のリストアップ、企業研究を求人ごとに個別に行います。		
7回	受験対策	受験対策、履歴書の記入などを個別に指導します。		
8回	受験対策	受験対策、履歴書の記入などを個別に指導します。		
9回	受験対策	受験対策、履歴書の記入などを個別に指導します。		
10回	受験対策	受験対策、履歴書の記入などを個別に指導します。		
11回	受験対策	受験対策、履歴書の記入などを個別に指導します。		
12回	受験対策	内定者は、振り返りを行い、早期就業に向けての準備指導を行います。		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	コミュニケーション学			
担当講師(フルネーム)	森田房子			
到達目標 ☐				
日常のコミュニケーションの大切さに気付く				
上手く人と関わっていくにはどのようなことに注意したら良いかを学ぶ				
人の話を聞くことの大切さを学ぶ 授業に積極的に参加する態度を身につける				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験 80% 平常点 (授業態度・出席率) 20%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コミュニケーションの必要性	授業内容 評価方法の説明 何故コミュニケーションが必要か 全員自己紹介		
2回	コミュニケーションの手段	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いについてゲームから学ぶ		
3回	正しい日本語で話す	尊敬語、謙譲語、丁寧語をマスターする 演習問題 間違った現代の言葉遣いに気付く		
4回	効果的な話し方	整理して工夫を加えてより効果的に伝える話し方のポイントを知る 話し方の構成技術を学ぶ		
5回	一分間スピーチ	スピーチのビデオ撮り VTRを再生し自分自身を見た感想を書く		
6回	聞くことの重要性	人の話を聞くことは、コミュニケーション上、最も大切であることを理解させる 良い聞き方と悪い聞き方を理解させる 良い聞き方と悪い聞き方の実習訓練		
7回	聞くことの重要性	同上		
8回	試験 まとめ	試験 全体の復習		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業研究(ワールドカルチャー)			
担当講師(フルネーム)				
到達目標	☐ 検定あり 世界の異文化の探究、観光資源の探求、画像や体験談を見聞きしながら幅広い知識の習得			
使 用 テキスト	プリント、インターネット、DVD等の活用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	世界遺産探究	新世界遺産(自然・文化)とそのゲートウェイの探究 アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東・アフリカの主要国 総合旅行業務取扱管理者試験対策に繋げる。		
2回	主要国のランドマーク	世界各国の国を象徴するシンボリックなモニュメント、建造物、目印となる特徴的な自然を含む。探究 総合旅行業務取扱管理者試験対策に繋げる		
3回	フランス探究	フランスの日常と習慣 メトロの利用方、交通ルール、チップ、トイレ、タクシーの選び方など		
4回	インド探究	ブッタの足跡を追う。 仏教の成立、隆盛、伝播、宗派と仏教芸術の探究 インドの今を追う		
5回				
6回				
7回				
8回				
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	トラベル科	Kクラス
科目名	旅行業研究(インバウンド概論)			
担当講師(フルネーム)	梶田雅子			
到達目標 □ 検定あり インバウンドの意義を理解し、訪日外国人旅行の現況と課題を把握する。 インバウンド振興を進めるための知識を身につける。 訪日旅行者ひとりひとりに向き合う心構えを学ぶ。				
使 用 テキスト プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	インバウンドとは	スケジュールの説明、評価方法の説明 観光立国推進法について学ぶ インバウンドの振興が果たす役割を考える		
2回	訪日外国人旅行市場	訪日外国人旅行者数の推移を確認する 訪日外国人旅行者数の動向について知る 国別の旅行者数と動向を詳しく見る		
3回	観光資源の現況	外国人旅行者から見た日本の観光資源を学ぶ 満足度・不満度の調査を見て課題を考える		
4回	アジア・マーケット	アジア発訪日客の増加について調べその背景を考える 韓国・中国・東南アジアマーケットの特性を学ぶ		
5回				
6回				
7回				
8回				
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	N クラス
科目名	交通論			
担当講師(フルネーム)	西政明			
到達目標	☐ 検定あり 交通の基礎理論、知識を習得するとともに、交通業界、特に鉄道事業を中心とした業界の運営状況、経営課題等を認識し鉄道従事員となるための基本的 資質の育成・向上に資する			
使 用 テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・シラバス、授業の進め方等の説明 ・交通論の意義、目的を学ぶ ・交通用語の基本を学ぶ ・交通トピックス解説		
2回	交通の基礎理論	・交通の定義、意義(役割)を学ぶ ・交通サービスの概念と即時性及び生産要素を学ぶ ・交通トピックス解説		
3回	〃	・交通サービス商品と交通資本を学ぶ ・交通と経済を学ぶ ・交通トピックス解説		
4回	交通のビジネスモデル	・機関別のビジネスモデルと企業文化及び戦略を学ぶ ・交通トピックス解説		
5回	交通政策史	・鉄道関連政策史を学ぶ ・交通トピックス解説		
6回	〃	・交通市場の変容と交通政策を学ぶ ・交通トピックス解説		
7回	鉄道の概要	・鉄道の長所・短所を学ぶ ・鉄道の歴史を学ぶ ・日本の鉄道の特徴を学ぶ ・交通トピックス解説		
8回	〃	・日本の鉄道史を学ぶ ・旅客輸送の機関別シェアの推移と現状を学ぶ ・交通トピックス解説		
9回	〃	・都市鉄道と経営戦略を学ぶ ・交通トピックス解説		
10回	〃	・地方鉄道と経営危機を学ぶ ・交通トピックス解説		
11回	〃	・都市型交通システム(地下鉄、モノレール、新交通)を学ぶ ・交通トピックス解説		
12回	〃	・都市型交通システム(路面電車、他)を学ぶ ・交通トピックス解説		
13回	〃	・観光鉄道と鉄道関連ビジネスの現状と戦略を学ぶ ・交通トピックス解説		
14回	九州の鉄道	・九州の鉄道の現状と課題を学ぶ ・交通トピックス解説		
15回	課題研究	・グループ討議・発表		
16回	まとめ	・振り返りと要点整理		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道係員			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。 鉄道運行の仕組みについて学ぶ。 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ		
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ		
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する		
4回	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ		
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る		
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する		
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ		
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ		
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追及し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る		
10回	指差確認呼称(喚呼)	1.指差確認呼称が事故防止にどのような効果があるか学ぶ 2.指差確認喚呼の効果と運転士の作業内容に対する必須事項を学ぶ 3.期末試験対策		
11回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ		
12回	鉄道乗務員②	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける		
13回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に對しに指令の役割が生かされているかを学ぶ		
14回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ		
15回	期末試験対策	1.ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ		
16回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道基礎 I			
担当講師(フルネーム)	田島義章			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道についての専門知識を身に付ける。			
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術 [土木編・電気編・運転編] 講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	鉄道とは	授業の目的・進め方・成績評価方法について理解する。 鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。		
2回	鉄道法規	鉄道に關係する法律について学ぶ。 鉄道に関する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。		
3回	鉄道用語	基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を理解する。		
4回	鉄道信号(信号)	交通信号と鉄道信号の違いを考える。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。		
5回	鉄道信号(合図)	合図とは何かを考える。 どのような合図があるのか知る。		
6回	鉄道信号(標識)	鉄道標識の定義について考える。 技術基準省令の解釈基準に定められている標識を知る。		
7回	列車防護	列車防護の種類を理解する。 列車防護を行なう場合、また省略出来るときや解除の方法を知る。		
8回	閉そく方式	列車間の安全を確保する方法について考える。 通常時の閉そく方式を知る。 異常時に列車を走らせる手段や手続きを知る。		
9回	鉄道運転事故	過去の重大事故の内容を知る。 事故の悲惨さを十分認識し事故防止に対する意識を深める。		
10回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を考える。 電車の止まる原理について理解する。 集電装置・制御装置・主電動機の役割を知る。		
11回	鉄道設備名称	踏切警報装置・踏切遮断装置・電車線路の構造や線路、分岐器などについて学ぶ。 鉄道信号について振り返る。		
12回	指令所	運転指令・電力指令・線路指令の役割を知る。 運転指令の業務内容を知る。		
13回	線路閉鎖	線路閉鎖の重要性を知る。 線路閉鎖を必要とする作業について学ぶ。		
14回	作業安全	安全の必要性について考える。 国の安全行事について知る。 事故と怪我について理解する。		
15回	運輸安全マネジメント	安全マネジメント制度とは何かを知る。 ヒューマンエラーについて考える。		
16回	まとめ	前期授業の振り返り。 質疑応答。		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	時刻表			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標 ☐ 検定あり JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する				
使 用 テキスト JR時刻表、講師作成プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 時刻表の基礎	1. 年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 2. 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 3. 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする		
2回	時刻表の使い方基礎	1. 時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 2. 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 3. 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ		
3回	鉄道地図の見方	1. 鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける 2. JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 3. 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ		
4回	時刻表をひく①	1. 新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 2. 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる各特急列車の座席の種類を把握し プランニング作業に生かす		
5回	時刻表を引く②	1. 在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけて出す 2. バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける 3. バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ		
6回	時刻表を引く③	1. 船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 2. 旅客機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 3. 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明		
7回	時刻表を引く④	1. 各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 2. 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 3. 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける		
8回	プランニング訓練①	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法		
9回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法		
10回	プランニング訓練③	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法		
11回	JRの営業案内	1. 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 2. 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握する 3. 習熟度確認を行い理解度を把握する		
12回	時刻表の早見法まとめ	1.時刻表の便利な使い方を再周知する 2.各ページの役割と内容再周知 3. 理解度調査による再認識を行い時刻表の見方を訓練する		
13回	便利な切符	1.全国各社発売の各種切符を学び、特徴を把握する ・切符の取り扱いを把握する		
14回	プラン作成①	1.見積書作成時の注意点 ・各種記号の把握によりお客さまに対し確認しやすいものを作る ・その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等)		
15回	プラン作成②	1.新幹線プラン(国内) ・各班ごとにプランを決め、他の班との頼み側と受け側に別れプランニング作業を行う ・行程見積もり作業を行うことによりお客さまのニーズに合ったプランを計画する		
16回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策 2. 青春18きっぷの説明を行い、乗車準備に役立たせる 3. 1日で行けるプランニング作業を行い、乗車距離の把握と条件を身に付ける		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	鉄道業界研究			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道業界への就職を目標とし、JRを中心とした業界研究を行う。(私鉄は後期に行う。) 各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。			
使用テキスト	・「鉄道業界の動向とカラクリがよくわかる本」			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明		
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで		
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師		
4回	運転士の仕事について・求められる人物像とは	運転士の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、 志望動機につなげる 小テスト1		
5回	駅員の仕事について・求められる人物像とは	駅員の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、 志望動機につなげる		
6回	車掌の仕事について・求められる人物像とは	車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り、 志望動機につなげる		
7回	西鉄について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2		
8回	JR九州グループについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
9回	JR四国について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
10回	7～9回目までの復習 中間テスト対策	西鉄・JR九州グループ・JR四国で学習した内容を総復習する		
11回	中間テスト 及び振り返り	中間テストを振り返りすることで業界知識を身に着け、 志望企業の選定に活かす		
12回	JR東海・JR北海道について	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
13回	JR西日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
14回	JR東日本	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える		
15回	東京メトロについて	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1		
16回	期末テスト対策	これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	国内観光地理 I			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。 国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地・特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。			
使用テキスト	国内旅行地理ベーシック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回4/10	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 旅に出たくなる地図を読む 白地図に記入する		
2回4/17	島・半島	旅情イメージにあふれる島・半島 ツアータイトルに使われる島・半島 全国33の地域・特徴を覚える		
3回4/24	湖・川・滝・鍾乳洞	日本三大湖沼、三大急流など 三大瀑布など 三大鍾乳洞など全国38の観光スポットを覚える		
4回5/8	温泉	温泉を覚える 北海道・東北・関東 人気のある旅先		
5回5/15	主な観光地	歴史ある街並みや建造物が残る観光都市 名園、花の名所 テーマパーク		
6回5/22	地理検定問題	第42回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回5/29	地理検定問題	第44回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
8回6/5	青森・岩手	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する ねぶた祭り、陸中海岸、中尊寺		
9回6/19	山形・福島	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 出羽三山、最上川、磐梯高原		
10回6/26	群馬・埼玉	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 草津温泉、吹割の滝、川越		
11回7/3	神奈川・新潟	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 鎌倉、箱根山、佐渡島		
12回7/10	福井・山梨	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 東尋坊、永平寺、富士五湖		
13回9/25	静岡・愛知	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 伊豆半島、寸又峡、犬山城		
14回10/2	京都・大坂	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 嵐山、二条城、適塾		
15回10/16	島根・岡山	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 松江市、出雲大社、大原美術館		
16回10/23	まとめと復習	前期のまとめ 北海道～岡山の復習		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	国内観光地理Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			
到達目標 ☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す。 国内実務科目のうち国内観光地理の知識を身につける。 観光箇所の名称・観光地の所在地・特徴・温泉・祭り・名産品などの観光資源全般の知識を増やし、実務科目で得点を取れるようにする。				
使 用 テキスト 国内旅行地理ベーシック300 旅に出たくなる地図 国内観光資源 国内観光地理サブノート				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(授業参画度10%・小テスト10%・課題提出10%) ・期末試験 70%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回4/14	山・高原・渓谷	必須59の山を覚える 新緑や紅葉の名所 眺望、夜景の素晴らしい峠や山々		
2回4/21	海岸・岬	必須27の海岸・岬を覚える 日本三景など 断崖、奇岩、遊覧船巡り		
3回4/28	寺社・城跡	必須30の寺社、城跡 世界遺産の寺院・神社 歴史的、芸術的、観光的に名高い寺社、城跡		
4回5/12	温泉	温泉を覚える 中部・関西・中国・四国・九州 人気のある旅先		
5回5/19	地理検定問題	第41回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
6回5/26	地理検定問題	第43回過去問 自然景観に関する問題 温泉・観光地に関する問題		
7回6/2	北海道	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 知床、函館、大雪山		
8回6/9	宮城・秋田	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 松島、鳴子温泉、男鹿半島		
9回6/23	茨城・栃木	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 偕楽園、日光、華厳滝		
10回6/30	千葉・東京	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 成田山新勝寺、高尾山、小笠原諸島		
11回7/7	富山・石川	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 黒部峡谷、立山、能登半島		
12回7/14	長野・岐阜	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 上高地、志賀高原、下呂温泉		
13回9/29	三重・滋賀	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 伊勢神宮・英虞湾・延暦寺		
14回10/6	兵庫・奈良	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 城崎温泉、斑鳩、吉野山		
15回10/13	和歌山・鳥取	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 那智滝、高野山、大山		
16回10/20	広島・山口	旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入する 宮島、生口島、秋芳洞		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	旅行業法(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)			
使用テキスト	2017年旅行業法・約款(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末試験(授業中)	50%+小テスト30%+平常点20%(課題提出)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅行業法とは	。授業の進め方、評価法 。国家試験の概要 。旅行業法の条文と構成と学習法		
2回	第1章 総則	。旅行業法の目的と定義(第1条～第2条)		
3回	第1章 総則	。旅行業の定義(代理、媒介、取次、利用) 。旅行の形態 。旅行業と旅行業者代理業(登録の種類)		
4回	第2章 旅行業等	。登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～5条) 。旅行業法施行規則(第1～4条)		
5回	第2章 旅行業等	。登録拒否(第6条) 。有効期間、更新、変更(第6条2～4) 。旅行業法施行規則(第4条～5条)		
6回	小テスト・解説			
7回	営業保証金制度	。営業保証金の供託と供託額(第7条～8条)		
8回	営業保証金制度	。営業保証金の追加供託、取り戻し、保管替え等(第9条) 。取引額の報告(第10条)		
9回	旅行業務取扱管理者	。旅程管理(第12条の10～12条の11) 。取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～12条の5の2) 。取扱管理者の職務(施行規則10条)		
10回	取扱料金、旅行業約款	。取扱料金の揭示(第12条)、施行規則 。旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の3)、施行規則 。標準の揭示(第12条の9)		
11回	取引条件の説明 書面の交付	。取引条件の説明 。書面の交付(第12条の4～12条の5) 共同規則3条～9条)		
12回	小テスト・解説			
13回	広告、禁止行為	。受託契約(第14条の2) 。外務員証の携帯(第12条の6) 。企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、共同規則12条～14条) 。禁止行為・名義利用の禁止(第13条～14条)、施行規則		
14回	旅行業協会制度	。旅行業協会の法定業務 。弁済業務保証金制度 (第22条の2～22条の16)		
15回	期末試験・解説			
16回	問題・解説			

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	旅行業約款(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験合格(国家試験)			
使 用 テキスト	2017年旅行業法・旅行業約款(JTB総合研究所)、2017年宿泊・運送約款(JTB総合研究所)、科目別問題集(JTB総合研究所)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験(授業中)50%+小テスト30%+平常点20%(課題提出)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅行業約款とは	授業の進め方、評価方法 。約款とは 。旅行契約の種類 。国家試験の国内と総合の出題範囲の違い		
2回	募集型企画旅行	。総則(定義、契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結		
3回	同上	。契約の変更		
4回	同上	。契約の解除		
5回	同上	。団体、グループ契約 。旅程管理 。責任 。理解度チェック小テスト		
6回	同上	。旅程保証 。変更補償金		
7回	特別補償規程	。補償金等の支払い(責任、定義) 。補償金等を支払わない場合 。補償金等の種類及び支払い額		
8回	特別補償規程	。補償金等(身体の傷害)と損害補償金(携帯品)の相違点 。携帯品損害補償金の支払い		
9回	受注型企画旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則(定義、契約の内容) 。手配代行者 。契約の締結 。契約の変更 。契約の解除		
10回	手配旅行	。企画旅行契約との相違点 。総則 。契約の成立 。契約の変更及び解除 。課題の提出		
11回	手配旅行	。旅行代金 。団体・グループ手配 。責任 。課題の提出		
12回	旅行相談	。契約の内容 。責任		
13回	期末試験			
14回	モデル宿泊約款 国内航空運送約款			
15回	貸し切りバス約款 フェリー約款			
16回	JR営業規則			

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	国内運賃・料金(国内管理者)			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 □ 検定あり 9月に実施される「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格を目指す 国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する				
使 用 テキスト 国内運賃・料金／JR時刻表				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業内試験60%+平常点(授業態度 等)40%				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	「運賃」「料金」とは・JRの基本	運賃と料金の違い／JR旅客6社／乗車券の種類・発売日・有効期間		
2回	JR運賃計算の基本①	「幹線」「地方交通線」／各種運賃表／運賃計算の手順		
3回	JR運賃計算の基本②	本島3社と3島会社相互の運賃計算		
4回	JR料金の基本①	「5つ」の料金／練習問題		
5回	JR料金の基本②	練習問題		
6回	新幹線①	新幹線の路線網／新幹線の料金計算		
7回	新幹線②	新幹線の特例／練習問題		
8回	乗継割引	乗継割引の条件／練習問題		
9回	JR割引運賃・団体旅客の取扱い	各種割引の条件と割引率／団体割引の計算の手順		
10回	JR団体運賃・料金	団体割引と無賃扱い／練習問題		
11回	JR運賃の特例	特定都区市内制度／区間外乗車・大都市近郊区間		
12回	JR運賃の特例②	特定区間、新幹線と在来線		
13回	JR運賃料金のまとめ	総合練習問題		
14回	航空	空港コード／予約開始日・発売日／運賃・料金		
15回	貸切バス運賃・料金／フェリー運賃・料金	貸切バスの運賃料金／フェリーの運賃料金		
16回	運賃・料金のまとめ	総合練習問題		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	☐ 検定あり 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。 前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。			
使用テキスト	・「SUCCESS 勝つための就職ガイド」・就職ノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明		
2回	就職活動の心構えと準備	就職とは 身だしなみ、学生と社会人との違い インターネット・リテラシー		
3回	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール		
4回	履歴書作成	IBCの履歴書作成ルールを学び、実際に作成する		
5回	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する		
6回	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする		
7回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する		
8回	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする		
9回	自己PR作成②	300字以内で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について		
10回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認		
11回	志望動機作成 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう		
12回	夏休み前の振り返り	自分自身をどれだけ分析できたかを確認する これまでのまとめ		
13回	夏休みの取り組んだことの 振り返り	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る		
14回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす		
15回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認		
16回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	就職筆記試験対策Ⅰ			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	検定あり 鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。鉄道会社はが採用している試験形式は、SPIテストセンター、SCOA・玉手箱GAB・CAB、と言われています。前期のメインは小学校の高学年・中学生の分野です。この分野は柔軟な思考力が要求されます。現場思考力を判断するには適切だからです。			
使用テキスト	なし(JR、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験+平常点			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	鶴亀算	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹?連立方程式の解 ①式 $x+y=20$ ②式 $2x+4y=70$ ③式 $y=20-x$ を②式に代入④ $2x+4(20-x)=70$ ⑤ $-2x=-10$ ⑥ $x=5$ 鶴亀算はこうにして解きません。最近ではテストセンター試験でも鶴亀算が可能な条件も出題されています。		
2回	旅人算①	鉄道会社好みの問題・小学生のほとんどが実は理解できていないと言われている。その結果中学生の何割かは解できていないのでは? 速さ・距離・時間を求める公式距離=速さ(時速・分速・秒速)×時間(時・分・秒)追いつけ計算(分速の遅いAが先に出発したx分後分速の早いBが出発した時、何分後何mの地点で追いつく?		
3回	旅人算②	鉄道会社好みの問題・列車通過算・列車がある鉄橋に差し掛かってから完全に通過するまでの時間(時速80km長さ45mの普通列車と時速125km長さ100mの特急つばめ号が出会ってすれ違うまで何秒?)この特急つばめ号が長さ900mの鉄橋を完全に通過するのに何秒?		
4回	年齢算	年齢算の考え 方程式を用いなくて解く・年齢算の本質は差一定算 現在父の年齢39歳、子Aの年齢12歳、年齢差27歳は何年たっても、ひらくことも、縮まることもない、常に一定・父の年齢が子Aの年齢の3倍になるのは何年後? 子Bが現在9歳ならA+Bの年齢が父の年齢と同じになるのは何年後? もちろん方程式を用いてといっても全く問題ありません。大切なことは短時間で正解を導くことです。		
5回	流水算	流水算 旅人算の応用問題です。ある川を航行する船の下り上りの速度と時間 流水の速度を求める(ある川を船が下りは時速9km上りは時速7.6kmで航行する場合この船の静水時の航行速度は?この川の流れの速さは(下りの船の速さ-上りの船の速さ)÷2 この船の静水時の速さ?		
6回	食塩水の濃度①	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率2トップのうちの一つです。毎年鉄道会社に限らず航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているの、出題頻度が高いのだと思います。①食塩水Aに水または、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%? ③食塩水Aに食塩を混ぜて濃度が、より濃い食塩水Bにするには食塩は何g必要?		
7回	食塩水の濃度②	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率2トップのうちの一つです。毎年鉄道会社に限らず航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているの、出題頻度が高いのだと思います。①食塩水Aに水または、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%? ③食塩水Aに食塩を混ぜて濃度が、より濃い食塩水Bにするには食塩は何g必要?		
8回	桁数の多い計算 SCOA	加減乗除 分数 小数 すばやく計算出来るマル秘テクニックなど 9が続く数字の掛け算(9999×8428=? 675×999=? 98×99=? 185×102=? 104×95=? 103×98=? 35の2乗 155の2乗995の2乗 1012÷9=? 100128÷9=? 12345÷8898? 11898÷96?		
9回	仕事算①	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分数秒数) Aが鉄道会社のある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1		
10回	仕事算②	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する?など		
11回	SCOA 理数	SCOA数学 等差数列と等比数列 規則性を伴った数字の一部が空白になっている問題 規則性を見つける 割合と比の問題 物理(電気)電圧V・電流A抵抗Rの関係 地学・地震 生物・遺伝 化学・化学反応式		
12回	損益算①	損益算は普通高校卒業の学生にとっては馴染みが薄く、難しく感じられますが基本からじっくり学習していきます。利益 利益率 割引率 割引額 原価(仕入れ値) 定価 売価などの言葉は、商業高校を卒業した学生には、なじみがあり、難しく感じられません。普通高校を卒業した学生にとっては言葉の意味から理解していかなければなりません。しかしこの分野も超頻出分野です。得意科目になるよう一緒に頑張りましょう。		
13回	損益算②	損益算の応用問題SPI WEBSPI SCOAなどの問題の他鉄道会社の採用試験過去問題を解くことで本試験の傾向を知ることができます。		
14回	推論分野①	推論は中学高校でも学習していない分野です。しかし西日本鉄道始め鉄道会社の採用試験には必ず出題される分野です。問題を見てその場で論理的思考をめぐらして解くので現場的思考を見るのに優れています。得意分野にしましょう。位置 順番		
15回	推論分野②	方向・平均点など推論は実際に解いてみないと問題自体の意味・解法が全く分かりません。ポイントは短時間で解答出来るか、コツを理解しましょう。WEBにのみ、出題されるのは簡単な連立方程式です。		
16回	公務員試験の過去問・復習	1回～15回までの講義内容の復習と 九州地区(福岡市、熊本市、鹿児島市など)自治体交通局の採用試験問題にチャレンジ公務員採用試験では判断推理・数的推理と呼ばれている分野		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	就職試験筆記試験対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	検定あり 鉄道会社の筆記試験に合格することができる学力を修得することができます。JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った内容です。各自治体の交通局(市営地下鉄、市営電車など)の公務員採用試験問題の傾向も知ることが出来ます。国語は二語の関係性、反意語・対義語・四字熟語・文学史など。英語はJR西日本JR九州(みどりの窓口)の採用試験過去問題を学習します。JR九州、JR九州緑の窓口、JR西日本、JR東海、など鉄道各社の採用試験問題に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。			
使用テキスト	なし(JR、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国語分野①	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係①類似語関係(熟語・通読・精読、啓発・啓蒙・開発、歴然・当然・泰然・明白、性急・短慮・緊急・短気)反対語関係(理論・実技・実践・実態、挫折・努力・貫徹・絶望、多弁・能弁・毒舌・寡黙)		
2回	国語分野②	二語の関係② 包含関係(名古屋・日本、化粧品・口紅、塩・調味料、枕・寝具、パレエ・舞踊、暖房器具・ストーブ) 原料製品関係(米・せんべい、コート・毛皮、陶器・粘土、セメント・石灰、ハム・肉、青カビ・ペニシリン、豆腐・大豆)		
3回	国語分野③	プリントA 俳句 和歌 短歌 体の一部・動植物をつかったことわざ 有名な一節で始まる文学作品歴史書(春はあけぼの、いずれの御時にか ゆく川の流れば絶えずして 月は百代の過客にして)		
4回	国語分野④	プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 間違いやすい漢字の意味、読み方、書き方(やぶさかでない ぞっとしない 気が置けない等)		
5回	国語分野⑤	四字熟語完全攻略200問①(合縁奇縁、曖昧模糊、悪逆無道、悪戦苦闘、阿鼻叫喚、曖昧模糊、暗中模索 い・(唯々諾々、意気消沈、意気揚々、異口同音、以心伝心、意気揚々、一日千秋、一汁一菜、一陽来復、一騎当千)		
6回	国語分野⑥	四字熟語完全攻略200問②(右顧左盼、有象無象、紆余曲折) え・(榮枯盛衰、会者定離、遠交近攻、お・(岡目八目、温故知新)か・(偕老同穴、隔靴搔痒、画竜点睛、夏炉冬扇、汗牛充棟、換骨奪胎、閑話休題)		
7回	国語分野⑦	四字熟語完全攻略200問③(氣宇壮大、危機一髪、疑心暗鬼、喜怒哀楽、仰天動地、興味津津、虚々実々、玉石混交、曲学阿世、毀譽褒貶、金科玉条、狂喜乱舞、虚心坦懐、行住坐臥、喜色満面、欣喜雀躍) く・(空前絶後、空即是色、群雄割拠)		
8回	国語分野⑧	四字熟語完全攻略200問④(さんかんしおん さんはいきゅうはい じがじさん しこうさくご じごうじとく しぜんとうた じほうじき しゅうじんかんし しゅちにくりん ほか)		
9回	国語分野⑨	四字熟語完全攻略200問⑤(せいこうさくご せつさくま せんがくひさい せつたいせつめい せんべんいちりつ せんべんぼんか そっせんすいはん そせいらんどう ほか)		
10回	国語分野⑩	JR西日本、南国交通、広島電鉄、JR九州みどりの窓口、英語の採用試験の過去問(鉄道関係で使われる英単語 英語のことわざ)		
11回	国語分野⑪	JR西日本、南国交通、広島電鉄、JR九州みどりの窓口、国語の採用試験の過去問(ことわざ 四字熟語) 公務員試験の過去問 知能分野(文章理解 長文の並び替え 要旨)		
12回	国語分野⑫	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語		
13回	国語分野⑬	SPI SCOA Web(長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語		
14回	国語分野⑭	SPI SCOA (長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語		
15回	英語	鉄道各社の過去の英語の採用試験問題 英単語の反意語・類義語 工事中 駅長 地下鉄 特急 運賃 料金 大人 子供 往復旅行 片道旅行		
16回	公務員試験問題・復習	1回～15回までの講義内容の復習と 九州地区(福岡市、熊本市、鹿児島市など)自治体交通局の採用試験問題にチャレンジ公務員採用試験 長文や中文の要旨・文章並び替え問題がSPIテストセンターと異なります。		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	就職筆記試験対策Ⅲ			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	検定あり 鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。社会分野は政治経済・歴史・地理・倫理・時事社会など広範囲なのでポイントを絞って分かりやすい授業にしています。SCOAはSPIと異なり社会が出题されます。しかし西日本鉄道(西鉄)の試験形式はSCOAですが、近年社会科目からの出題はありません。			
使用テキスト	なし(JR、地下鉄、広電、市営電車、南国交通等の採用試験問題をベース)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	社会 政治経済①	民主主義 直接民主主義と間接(代表)民主主義 議院内閣制と大統領制 日本国憲法の基本原理 国民主権 平和主義 人権尊重 三権分立の意味		
2回	社会 政治経済②	人権の体系 人権の種類 自由権 精神(信教・表現・思想)経済(職業選択・居住移転・財産権)身体(礼状なき家宅捜索押収逮捕の禁止)		
3回	社会 日本地理①	人文地理 自然地理 観光地理 世界遺産 国立公園 国定公園 北海道・東北1(青森・秋田県)の主要都市、河川、山、主要産業、名所旧跡 (三内丸山遺跡 奥入瀬渓流 岩木山 ほか) 日本地理名数		
4回	社会 日本地理②	人文地理 自然地理 観光地理 世界遺産 国立公園 国定公園 北海道・東北2(岩手・山形県)の主要都市、河川、山、主要産業、名所旧跡 (龍泉洞 浄土が浜 盛岡チャグチャグ馬コ) 日本地理名数		
5回	社会 日本史①	縄文 弥生(吉野ヶ里遺跡 板付遺跡)古墳時代 飛鳥時代(聖徳太子の業績 遣隋使派遣 17条憲法 仏教と神道の宗教戦争ほか) 特に各時代の遺跡、建造物、歴史書		
6回	社会 日本史②	奈良時代、平安時代の文化(各文化の特色 歴史書 古事記・日本書紀 風土記 文学作品 枕草子 源氏物語 軍記物語 東大寺 興福寺 法隆寺 薬師寺 歴史的事件		
7回	社会 世界地理①	アジアの、人文地理(首都 政治経済体制 流通通貨 工業生産品 農業生産品 等) 自然地理・観光地理(中国 韓国 台湾 東南アジアの河川 山名所旧跡 特産品)		
8回	社会 世界地理②	ヨーロッパの、人文地理(首都 政治経済体制 流通通貨 工業生産品 農業生産品 等) 自然地理・観光地理(特にフランス・イタリア・イギリス・ドイツ・ベルギー・オランダ・スペイン・スイス等の観光地理、建築物、美術館、教会、2016年6月実施イギリスのEU離脱の国民投票 EU欧州 合衆国の今後		
9回	社会 政治経済③	基本的な人権 社会権(生存権・教育を受ける権利・労働基本権) 平等権(家庭生活の平等・夫婦の平等・社会生活の平等) 選挙区と議員定数の不均衡 議会議員数の定数削減 嫡出子と非嫡出子の相続分の差別問題 女子のみの再婚禁止期間 同性婚など最近の問題		
10回	社会 政治経済④	少子高齢社会と日本の社会保障制度 制度の問題点 少子高齢社会と税制 消費税率 社会福祉に必要な財源確保		
11回	社会 税制度と財政	日本の国家財政(歳入と歳出の内訳) 税の意味と種類 経済学史と経済学者 GNP・NNP・NIの関係		
12回	日本の社会保障	日本の社会保障の仕組みと特色 少子高齢社会と社会保障 高齢化社会・高齢者社会・超高齢社会と担税者と消費税 高齢社会と税 日本の税制 租税の種類 直間比率		
13回	社会 世界地理③	北アメリカの、人文地理(首都 政治経済体制 流通通貨 工業生産品 農業生産品 等) 自然地理・観光地理(アメリカ合衆国、カナダの河川 山名所旧跡 特産品)		
14回	社会 世界史②	世界の気候区はSCOAの社会では頻出分野です。気候区の名称と雨温図から世界各国の各都市名を推理する。逆に都市名から気候区を導く問題も出題されます		
15回	SCOA対策 社会・理科	金融政策と日本銀行のお仕事 日銀のゼロ金利政策 マネーサプライ 理科 遺伝 人体 光度 照度 電圧 抵抗 天体 IPS細胞他		
16回	公務員試験問題・復習	1回～15回までの講義内容の復習と 九州地区(福岡市、熊本市、鹿児島市など)自治体交通局の採用試験問題にチャレンジ 公務員採用試験では教養試験全50問出題されます。そのうち社会分野は日本史世界史 日本地理世界地理 政治経済・倫理社会で13問程度出題されます 理科は生物・化学・地学・物理各1問程度出題で計5問程度		

対象学年	1年	対象クラス	鉄道科	Nクラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			
到達目標	☐ 検定あり ① 接客業で重視される第一印象を整える。(表情 態度 挨拶 身だしなみ 言葉遣い) ② 自己分析する中で業界に通じる適性を発見しアピールする ③ 短時間で自分の良さを理解してもらうための、伝える力を磨く。			
使用テキスト	なし プリントを配布しますのでクリアファイル等を準備して毎回持参すること			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30% ★ 曜日にかかわらず毎回制服着用 ・期末試験 70% ※ 最終回(面接試験当日)予告なく欠席の場合は授業中の行った模擬面接を評価点とする			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	この授業の受け方と注意点 面接 実技:お辞儀		
2回	面接の実際	自己紹介の方法 実技:入退室		
3回	自己分析①	自分の特徴を分析する (長所・短所) ●実技:声の大きさに気を付けて話す (自己紹介)		
4回	自己分析②	自分の特徴を分析する (長所・短所) ●実技:声の大きさに気を付けて話す (自己紹介)		
5回	質疑応答①	今までで一番喜びを感じた事をPRする ●実技:短いPR		
6回	質疑応答②	今までで一番努力したことをPRする ●実技:1分で話す		
7回	面接試験①	自己PR(1分間) ※この日に公欠などわかっていれば事前に申し出ること		
8回	面接試験②	自己PR(1分間) ※この日に公欠などわかっていれば事前に申し出ること		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道概論			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	☐ 検定あり 内燃機関の列車運転に関わる数値で見る鉄道を学ぶ 列車運行に伴う車両性能と運行条件について学ぶ ダイヤグラム概要と作成により列車運行に伴う運用学を学ぶ			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	内燃機関の特性①	1.2サイクル機関と4サイクル機関の違いを学ぶ 2.内燃機関の行程を学びエンジンの仕組みを知る 3.圧縮比と熱効率の説明		
2回	内燃機関の特性②	1.ディーゼル機関の損失について学ぶ(利点、欠点) 2.内燃機関の馬力計算を学ぶ(図示馬力と軸馬力)		
3回	内燃機関の特性③	1.内燃機関の回転力について計算式で学ぶ 2.内燃機関の燃料消費量について学ぶ 3.内燃機関の燃料噴射量と燃料消費量の関係を学ぶ		
4回	運転理論①	1.けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2.車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3.気動車のけん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ		
5回	運転理論②	1.運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ		
6回	運転理論③	1.速度種別の概要を学ぶ 2.速度名称を学び、各車両の特性を知る 3.速度記号による列車の区別方法を知る		
7回	運転理論④	1.列車の運転線図を学ぶ ・計画運転線図・指導運転線図・実際運転線図・簡易運転線図の特徴を学ぶ		
8回	運転理論⑤	1.運転線図の作成方法を学ぶ 2.直接画法・間接画法・コンピューターによる作図を学ぶ 3.習熟度確認		
9回	運転理論⑥	1.運転線図の表し方を学ぶ 2.運転線図作成時に用いる各表記方法を学ぶ 3.運転線図の作成を行い、運転に対する計算を行う		
10回	運転理論⑦	1.運転線図の作成を行う 2.運転線図に対する、個人指導を行い運転に対する知識を身に付ける 3.運転線図に沿った運転計画を学ぶ		
11回	列車運用表	1.ダイヤグラムの概要を説明し、ダイヤグラム作成時の注意点を知る 2.ダイヤグラム用紙の作成		
12回	ダイヤグラム作成①	1.15種類の乗務員行路を用いてダイヤグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイヤグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する		
13回	ダイヤグラム作成②	1.15種類の乗務員行路を用いてダイヤグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイヤグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する		
14回	ダイヤグラム作成③	1.15種類の乗務員行路を用いてダイヤグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイヤグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する		
15回	ダイヤグラム作成④	1.15種類の乗務員行路を用いてダイヤグラムを作成する、 2.個人的にヒヤリングを行い、スムーズにダイヤグラムを作成する 3.各駅ごとの乗務員の作業を説明し、表記方を指導する		
16回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策 2. ダイヤグラム作成途中評価とヒヤリング		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道実務			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			
使 用 テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防犯連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ		
2回	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける		
3回	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う		
4回	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
5回	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
6回	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする		
7回	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う		
8回	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認		
9回	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける		
10回	踏切及び人身事故②	1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施		
11回	異常時対応全般説明	1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める		
12回	異常時発生時の車両運用手配	1. 車両運用の条件を学び運行にあつた車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用手配を行う		
13回	異常時発生時の乗務員運用手配	1. 乗務員運用の条件を学び迅速な運用手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った乗務員運用手配を行う		
14回	運用手配の活用	1. 車両運用と乗務員運用を条件に合わせ手配する 2. 車両運用に沿った乗務員運用の染め込み		
15回	運用手配の活用	1. 車両運用と乗務員運用を条件に合わせ手配する 2. 車両運用に沿った乗務員運用の染め込み 3. 習熟度確認		
16回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道業界研究			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かす。 志望企業の企業理念・財務諸表を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			
使用テキスト	・講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 地方鉄道・第3セクター情報		
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど		
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、 面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など		
4回	鉄道事業者の区分 先輩の声(客室乗務員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究 小テスト1		
5回	先輩の声(車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究、地方鉄道・第3セクター情報		
6回	先輩の声(運転士)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究、地方鉄道・第3セクター情報		
7回	鉄道会社の財務諸表・ IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する 小テスト2		
8回	鉄道会社の企業理念・CSR を学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に 反映させる		
9回	先輩の声(駅員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究		
10回	グループディスカッション 事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする		
11回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取組むことを学ぶ		
12回	中間テスト 夏休み前までのまとめ	中間テストをし業界知識を身に着け、 就職試験に活かす		
13回	鉄道業界の人間としての 基礎知識	12回目までの振り返り 鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて 鉄道業界におけるQC活動		
14回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る		
15回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシミュレーションする		
16回	前期のまとめ 期末テスト対策	これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道車両 I (電車)			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする 鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける			
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ		
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ		
3回	空気ブレーキ方式と 保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.保安ブレーキ装置の意義とブレーキシステムの基礎知識を学ぶ		
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ		
5回	補助電源装置の用途と回路 構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける電 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ		
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)		
7回	鉄道車両に設置すべき設備 ①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)		
8回	鉄道車両に設置すべき設備 ②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認		
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける		
10回	運転理論の基礎知識と 計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける		
11回	電気車の付属装置	1.期末試験のフィードバックを行う 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ		
12回	車両メンテナンス	1.カリキュラムの説明を行う 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ		
13回	車両情報伝送システムと 乗務員支援	1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員(運転士・車掌) への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面 車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ		
14回	主要機器・装置の役割と機 能	1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ (車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置 ・連結装置・附属装置・運転保安装置)		
15回	鉄道電気車の専門用語	1.電気車 主要機器装置の名称・機能・専門用語を学び知識を高める事を目的とする 2.電気車の運転操作、及び乗務員として必要な関連機器用語の知識を高める 3.専門用語を理解し、みんなと共有できるようにレベルに達する知識を身につける		
16回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	JR運賃・料金			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標	☐ 検定あり 国内旅行実務のうち、運賃・料金の知識を習得する 現場におけるJR企画商品の知識を得る			
使用テキスト	国内運賃・料金／JR時刻表／プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験60%+平常点(授業態度・ミニテスト等)40%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	「運賃」「料金」とは・JRの基本	運賃と料金の違い／JR旅客6社／乗車券の種類・発売日・有効期間		
2回	JR運賃計算の基本①	「幹線」「地方交通線」／各種運賃表／運賃計算の手順		
3回	JR運賃計算の基本②	本島3社と3島会社相互の運賃計算		
4回	JR料金の基本①	「5つ」の料金／練習問題		
5回	JR料金の基本②	練習問題		
6回	新幹線①	新幹線の路線網／新幹線の料金計算		
7回	新幹線②	新幹線の特例／練習問題		
8回	乗継割引	乗継割引の条件／練習問題		
9回	JR九州の企画商品	企画商品の知識を得る		
10回	JR西日本の企画商品	企画商品の知識を得る		
11回	JRの企画商品(その他のJR各社)	企画商品の知識を得る		
12回	前期前半のまとめ	前期11回までの復習、苦手項目の確認		
13回	JR運賃の特例①	特定都区市内制度		
14回	JR運賃の特例②	区間外乗車・大都市近郊区間		
15回	JR運賃の特例③	特定区間、新幹線と在来線		
16回	運賃・料金のまとめ	総合練習問題		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	M①クラス
科目名	鉄道駅実務			
担当講師(フルネーム)	西政明			
到達目標	☐ 検定あり 鉄道駅社員としての実務的知識を習得し、社会人・企業人としての基本的な心構えと行動できるノウハウを身につける			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・前期(2016後期)の振り返り ・シラバスの内容、授業等の説明		
2回	業務基礎知識	・鉄道運営に関する法令等(鉄道事業法、鉄道営業法・・・)を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
3回	〃	〃		
4回	〃	・駅社員として働くための基本法令等(憲法、労働法・・・)を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
5回	〃	〃		
6回	〃	・企業人(駅社員)としての規範(CSR、CSV、メンタルヘルス・・・)を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
7回	駅社員の接遇	・オリエンテーション(社会的背景と企業の社会的責任とは、マナーとは) ・コミュニケーションワーク		
8回	〃	・自己分析により自己育成を学ぶ ・マナートレーニングにより体得する ・コミュニケーションワーク		
9回	〃	・プロとしての言葉遣いを学ぶ ・コミュニケーションワーク		
10回	〃	・ビジネスマナートレーニングにより体得する ・コミュニケーションワーク		
11回	〃	・接遇のまとめ、要点整理 ・接遇ロールプレイにより、サービスを体現する		
12回	安全マネジメント	・鉄道会社の安全マネジメントの理念と取組状況を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
13回	環境マネジメント	・鉄道会社の環境マネジメントの理念と取組状況を学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
14回	社会人・企業人	・社内コミュニケーションを意識し、その基本行動と心構えを学ぶ ・鉄道関連トピックス解説		
15回	課題研究	・グループ討議・発表 又は鉄道会社現場見学		
16回	まとめ	・振り返りと要点整理		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	鉄道車両 I (気動車)			
担当講師(フルネーム)	花生義一			
到達目標	☐ 検定あり 気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ) 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ 電気配線に対する理解力を向上させる			
使 用 テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ		
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ		
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ		
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位置を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ		
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N～5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進) 2.逆転気機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る		
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(後進) 2.習熟度確認(結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する)		
10回	変速回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ		
11回	変速回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「変」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する		
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ		
13回	直結回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「直」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う		
14回	戸ジメ回路	1. 戸ジメ回路を学びドア閉扉・開扉時の電気の流れを学ぶ 2. 戸ジメ回路と力行回路のつながりを学び安全に対する回路構成を知る 3. 戸ジメ機器と各付属品とのつながりを学ぶ		
15回	その他回路(異常時)	1.習熟度確認を行い個人指導によりレヴェルアップを図る 2.温度ヒューズ溶断時のエンジンの状態と電気の流れを学び、対処方法を知る 3.各種温度計高温度時の動作内容とエンジンの状態を学び、対処方法を知る		
16回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記対策			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	☐ 検定あり 西日本鉄道、広島電鉄、関東圏の私鉄、地下鉄、JR九州みどりの窓口、JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の筆記試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来るようになります。 各社の出題傾向に沿った、SPI対策 SCOA対策、玉手箱対策 GAB・CAB対策を実施 各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も適宜実施します。国語・英語分野は反意語・対義語・四字熟語・文学史や長文対策 社会分野は公務員試験の過去問と政治経済地理歴史と最新時事問題			
使用テキスト	なし(レジュメの他 鉄道各社の採用試験問題や各自治体の市電・地下鉄職員の採用試験過去問を適宜採用)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験+平常点			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	SPIテストセンター 言語	SPIテストセンター SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 設問から断定できないもの 設問の文章を並び替えた場合最初から2番目にくるものなど)		
2回	SPIテストセンター 言語	SPIテストセンター SCOA GAB CABの長文問題 説問の要旨と異なるもの 設問から断定できないもの 設問の文章を並び替えた場合最初から2番目にくるものなど)		
3回	国語 直前対策	総合問題(四字熟語 暗中模索・軽率妄動・南船北馬・朝三暮四・夏炉冬扇 ことわざ)SPI・SCOA対策長文の要旨と接続詞 文章の並び替え 難解な漢字の読み方(素性・権化・欠伸・雪崩・時雨・稀有・彷彿・健気など)		
4回	国語 直前対策	総合問題 JR西日本JR九州採用試験問題頻出漢字(胡散臭い・面子・頒布・更迭賦課・鳴咽 英語のことわざ(覆水盆にかえらず・百聞は一見にしかず・郷に入れば郷に従え・光陰矢のごとし・二兎追うものは一兎も得ず、など		
5回	国語 直前対策	日本文学・歴史書の復習 奈良時代(古事記・日本書記・風土記・万葉集) 平安時代(古今和歌集 枕草子 源氏物語 土佐日記 更級日記 蜻蛉日記) 鎌倉時代(方丈記 新古今和歌集 徒然草 愚管抄 明月記など)		
6回	国語 直前対策	総合問題 間違いやすい漢字表記 厚生構成校正後世 快方解放介抱 移動異動 保障保証補償 清算生産精算凄惨 対象対照対称 年齢の漢字表記20歳40歳50歳60歳61歳70歳77歳88歳99歳・四字熟語など		
7回	国語 直前対策	地下鉄職員など自治体の公務員採用試験(文章理解国語分野)の過去問演習 長文の要旨 文章の並び替え問題		
8回	社会 直前対策	演習問題 SCOA対策 日本史分野(明治 大正 昭和 特に日清戦争 日露戦争 第一次世界大戦の原因と終結のための講和条約名と締結者名 下関条約 ポーツマス条約 ベルサイユ条約		
9回	社会 直前対策	地下鉄職員など自治体の公務員採用試験 経済分野の総合問題 日本国の財政 地方自治体の財政 経済学史(経済学者とその主要著書)社会保障制度 景気変動 通貨制度・管理通貨制度)日本銀行の金利政策(公定歩合・預金準備率操作・オープンマーケットオペレーション) 日本の少子化と超高齢社会の問題点(消費の低迷・税収不足など)		
10回	社会 直前対策	日本文学史(斜陽 小説神髓 浮雲 にごりえ たけくらべ 一握の砂 夜明け前 雪国 金閣寺 芥川賞・直木賞受賞作品 歴史分野の総合問題 世界文学史(アメリカ フランス イギリス イタリアの作家たちとその作品 西洋の音楽美術史(絵画の作品名と作者 楽曲と作曲家) 公務員採用試験過去問		
11回	社会 直前対策	公務員採用試験 社会分野総合問題(政治経済 歴史地理の採用試験過去問題演習) 地方自治 憲法改正の手続き 時事問題 ベルソナ ノン グラート ほか		
12回	国語社会分野の総復習	1年前期後期の国語分野(二語の関係性 格助詞の問題(は、で、に、の、意味の違いの問題 四字熟語ほか) 1年前期後期の社会分野(公務員採用試験の 政治経済 歴史地理分野の過去問題ほか)		
13回	SPIテストセンター推論	最新SPIテストセンター試験問題 推論分野 最新の出題形式 必ずしも誤りと言えないもの選択肢の個数 断定できないものの選択肢		
14回	SPIテストセンター推論	最新SPIテストセンター試験問題 推論分野 最新の出題形式 必ずしも誤りと言えないもの選択肢の個数 断定できないものの選択肢		
15回	SPIテストセンター推論	比例と反比例の基本問題(座標の基本的考え 右上がりの直線と右下がりの直線) 関数の公式($y=ax+b$ 傾きと切片の意味とその値を求める問題) 統計表の解釈①(桁数の多い数字を概算し伸び率、減少率を求める 因数分解と展開 $(x+a)(x+b)$ $(x+a)(x+a)$ 解法と公式		
16回	SPIテストセンター推論	統計資料②(日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職筆記対策			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標 □ 検定あり 鉄道会社の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。JR九州、JR九州みどりの窓口JR西日本、JR東海などなど鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義なので出題傾向とレベルを知ることができます。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も解いていきます。鉄道会社はが採用している試験形式は、SPIのほか、SCOA・玉手箱GAB・CABもあります。授業ではSCOAの問題にも挑戦します。各自治体の交通局(地下鉄、電車など)の公務員採用試験問題も適宜実施します。				
使 用 テキスト なし レジュメの他、鉄道各社の採用試験問題や各自治体の市電地下鉄職員採用試験問題を適宜実施				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	SPIテストセンター 推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) √計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6 などと分数計算 √と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題		
2回	SCOA玉手箱	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄JRには最重要問題)速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかけるの公式など 表を短時間に読み取ることがポイント		
3回	SCOA玉手箱	推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。 最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも＝余事象の問題がポイント) 順列と組合せ		
4回	SCOA玉手箱	推論 位置関係(3階建のアパート101号～103号・201号～203号・301号～303号にABCDEFGHIの9人が住んでいる。Aの二つ上の階はE,Bの二つ上の階はI、Cは202号室ではない、Gの二つ下の階にはF、Hの二つ左の部屋はG。各自の部屋を確定しなさい)		
5回	SCOA玉手箱	推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメが一番安い?カモメは何番目に高い)		
6回	SCOA玉手箱	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)		
7回	GAB・CAB玉手箱対策	進数計算 進数計算の公式 $n(10進数以外)進数を10進数に。10進数をn(10進数以外)に。(3進数の11010を10進数にすると?10進数の52を2進数にすると?5進数の42343を10進数にすると? 小数、分数の混ざった加減乗除$		
8回	1年前期と後期・2年前期の総まとめ	食塩水の濃度(異なる濃度の食塩水を混ぜ合わせた時に出来る食塩水の濃度がポイント) つるかめ算(連立方程式を使わない 異なるものが三つある場合がハイレベル)仕事算(仕事量＝1時間・1日あたりの仕事量×時間・日) 確率 順列 組み合わせ 集合		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	面接対策			
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			
到達目標 □ 検定あり 1.好印象の自分をプレゼンテーションする。 2.鉄道業界に求められる人材であることを言葉と行動で表現する。				
使 用 テキスト	テキストなし プリントあり *曜日にかかわらず制服着用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 30%(出席率、授業態度、提出物) ・期中評価 実技試験70%(個人面接、集団面接、グループディスカッション)			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	就職試験にむけて	振り返りと就職試験にむけての心構え 実技 個人面接/内定を勝ち取るための個人指導とアドバイス		
2回	集団面接1	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
3回	集団面接2	過去の試験に使用された質問内容による 実技 集団面接4～5名		
4回	集団討議1	実技 グループディスカッション		
5回	集団討議2	過去の試験に使用された質問内容による 実技 グループディスカッション		
6回	集団討議3	実技 グループワーク		
7回	期中評価①	実技試験		
8回	集団面接4	実技 集団面接4～5名		
9回	集団面接5	実技 集団面接4～5名		
10回	集団討議	実技 グループディスカッションかグループワーク		
11回	期中評価②	実技試験		
12回	まとめ	振り返り 社会人としての心構え		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	プレゼンテーション			
担当講師(フルネーム)	小川智子			
到達目標	☐ 検定あり 一定の時間に、限られた内容について効果的に伝え、聞き手に望む行動を起こしてもらえるようなプレゼンテーション能力を身に付け、就職活動や社会生活に活かすことが出来る。			
使用テキスト	説明・提案・説得のワーク：プレゼンテーションの基礎			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 発表の内容と授業態度 … 50% 提出物による評価 … 50% ※テキストチェックを含む			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施…○ 授業中に実施…△ 期末試験なし…× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	プレゼンテーションとは何か	・授業オリエンテーション ・印象に残る自己紹介 ・プレゼンテーションとは何か		
2回	プレゼンテーションの特性①	・社会人としての話し方、聞き方 ・時間管理		
3回	プレゼンテーションの特性②	・「相手」との対話性 (話の所要時間と理解の関係) ・30秒自己紹介原稿を作成する		
4回	「自分」と「相手」を知る①	・「緊張すること」とは (緊張克服法とは)		
5回	「自分」と「相手」を知る②	・「自分」を明確にする ・意識を「自分」ではなく「相手」に向ける ・「相手」を分析する		
6回	「自分」と「相手」を知る③	・相手による伝え方の違い (様々な「相手」に鉄道の魅力を伝える)		
7回	目的(テーマ)を明確にする①	・何を伝え、何を理解してほしいのか ・目的にはどのようなものがあるかー目的達成までのプロセス		
8回	目的(テーマ)を明確にする②	・グループワークと発表 (学科の特徴を高校生に伝えることを目的としたプレゼンテーション)		
9回	目的(テーマ)を明確にする③	・発表と振り返り		
10回	プレゼンテーションのための情報収集①	・なぜ情報が大切か ・信頼性の高い事実や具体例を集める		
11回	プレゼンテーションのための情報収集②	・情報収集のワークと発表準備		
12回	プレゼンテーションのための情報収集③	・発表と振り返り		
13回	シナリオを作成する①	・プレゼンテーションのシナリオとは何か ・シナリオ作成で押さえておきたいポイント ・シナリオを作成する方法		
14回	シナリオを作成する②	・プレゼンテーションの時間配分 ・シナリオ作成のワークと発表準備		
15回	シナリオを作成する③	・発表と振り返り		
16回	前期のまとめ	まとめと振り返り		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	三石佳代子			
到達目標	☐ 検定あり 専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。 鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から内定を得ることを目標とする。			
使用テキスト	・「SUCCES 勝つための就職ガイド」・就職ノート			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り、前期説明 前期説明、求人情報 一般常識、就活マナーテスト		
2回	受験対策	実習経験を活かした志望動機や自己PRの作り方 文章作成の基本(三段構成法、PREP法など)		
3回	受験対策	最終模擬面接の振り返り 適性検査、一般常識、小論文とは		
4回	受験対策	就活方法の再確認及び反省 PDCAサイクル		
5回	受験対策	座右の銘を知り、自身の価値観を分析する		
6回	受験対策	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する		
7回	受験対策	全就活生の就活進行状態を知る 若年者の就職率 就活で落ち込んだ時のためのセルフコーチング		
8回	受験対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする		
9回	受験対策	他己分析を行い、組織・グループ内での立場を認識する		
10回	受験対策	先輩の声を活かした志望動機の作成		
11回	受験対策	鉄道業界最新事情を知り、小論文を作成する		
12回	これまでの就職活動講座のまとめ	未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 小テスト		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	手話			
担当講師(フルネーム)	鶴田由香			
到達目標 ☐ 検定あり ・聴覚障害者に対する理解を深めながら、手話を使って日常会話ができる ・聴覚障害者のお客様への配慮とサービスを理解する				
使 用 テキスト 手話を学ぼう手話を話そう 参考資料としてプリント(接客手話、聴覚障害者、手話に関する資料)				
※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(小テスト・提出物等) ・期末試験 80% 授業中は手を動かす(表現する努力)				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	手話って何？ 伝え合ってみましょう	・聴覚障害者に対する理解を深め、手話の必要性を学ぶ ・身振り、手振りで手話に慣れる サイレント伝言ゲーム		
2回	第1.2講座 伝え合ってみましょう	・コミュニケーションを豊かに ・物の形、特徴をとらえて表す		
3回	第3講座 自己紹介をしましょう	・名前の紹介 ・挨拶 ・DVD		
4回	第4講座 家族を紹介しましょう	・人物の基礎となる表現 ・疑問詞「誰」		
5回	第5講座 数を使って話しましょう	・数の表し方 ・駅や案内所での手話		
6回	第6講座 趣味について話しましょう	・趣味をテーマに自己紹介 ・ジェスチャーを含めた手話 ・DVD		
7回	第7講座 仕事のついて話しましょう	・仕事の表し方 ・ろうあ者の仕事について ・鉄道関係の仕事で使う手話		
8回	第8講座 住所を表しましょう	・地名の手話 ・住所の表し方 ・道案内をしてみよう		
9回	第9講座 まとめ	・自己紹介のまとめ ・手話の読み取り		
10回	第10講座 一日のことを話しましょう	・時の表し方 ・生活の中での動詞		
11回	第11講座 一か月のことを話しまし う	・時の表し方2 ・過去・現在・未来の表現		
12回	第12講座 一年のことを話しましょう	・時の表し方3 ・季節、月、年に関する手話		
13回	第13講座 話してみましょう	・いろいろな疑問詞を使つての会話 ・企画して手話で案内してみましょう		
14回	第14講座 旅行について話しましょう	・旅行をテーマに手話で話す ・ロールプレイング		
15回	自己PRをしてみよう	・面接対策と自己PRを作成してみる		
16回	まとめ	・前期の復習と補足		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	国内管理者Ⅰ（国内実務）			
担当講師（フルネーム）	島崎明			
到達目標 □ 検定あり 目標は単純明快。多くの学生が国内管理者試験に合格すること 国内旅行業「地理」の正答率70％目標。学生が限られた時間を有効利用できるような自習教材を授業を通して提供する 国内旅行業「運賃料金」の正答率100％。当落線上の学生を意識した授業展開をする				
使 用 テキスト 旅行業務入門、国内旅行業務取扱管理者試験				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。				
・授業中に試験 100％				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国内地理①	世界遺産 国立公園		
2回	国内地理②	観光ポイント		
3回	国内地理③	温泉		
4回	国内地理④+試験	祭り・伝統行事 郷土料理		
5回	運賃料金①	JR運賃・料金		
6回	運賃料金②	JR運賃・料金		
7回	運賃料金③	航空運賃・料金 バス運賃・料金		
8回	運賃料金④+試験	宿泊料金		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標 ☐ 検定あり				
1.硬筆書写検定3級をテーマとして文字と書式の基本を学び、検定を生かす				
2.実用的課題をテーマにして社会人としてのマナーを学ぶ(硬筆・筆ペン)				
使 用 テキスト				
硬筆書写技能検定3級合格のポイント、オリジナルテキスト(実用編)				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
提出物 小テスト 授業態度				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	書写検定硬筆3級をテーマに書式と文字の基本を学ぶ①	横書き 横書きの特徴(問1.4)		
2回	②	横書き(問4)、はがきの表書き(問5)		
3回	③	縦書き 縦書きの特徴・行書の特徴 自分の名前(行書)		
4回	④	縦書き 「マス」「行」の余白とバランス(問2・3)		
5回	⑤	ポスター(掲示板)を書く(問6)		
6回	⑥	ポスター(掲示板)を書く(問6) 問1～6まとめ		
7回	⑦	小テスト 検定過去問題より出題(評価)		
8回	実用書(硬筆)①	はがきの表書き、はがきの裏書き(手紙文) 返信用のはがきの記入の仕方		
9回	②	長封筒の表裏の書き方(個人、企業宛)(評価)		
10回	③	A4サイズの封筒の表裏の書き方(個人、企業宛)		
11回	④	縦書きの書き方 手紙の書き方 書き取り練習		
12回	⑤	お礼状を書く(評価) ワンポイント 美文字 鉄道用語書き取り練習		
13回	実用書(筆ペン)①	筆ペンの特徴と基本 芳名帳 自分の名前を書く		
14回	②	慶弔の表書き(1) お祝い事の熨斗と水引 由来とマナー		
15回	③	慶弔の表書き(2) お悔やみ事の熨斗と水引 由来とマナー		
16回	④	慶弔の表書き(3) 由来とマナー(小テスト) まとめ(評価)		

対象学年	2年	対象クラス	鉄道科	Mクラス
科目名	国内管理者Ⅰ（業法・約款）			
担当講師（フルネーム）	中牟田哲也			
到達目標	☒ 検定あり 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す			
使 用 テキスト	1.旅行業法・旅行業約款 2.運送・宿泊約款 3.科目別速習問題集			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 *「国内実務」50%+「業法・約款」50%で評価。 ・「業法・約款」は、小テスト80%+平常点（提出物等）20%で評価			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	旅行業法	H27年度国家試験問題の分析・解説		
2回	旅行業法	演習問題、解答・解説		
3回	旅行業法	演習問題、解答・解説		
4回	旅行業法	小テスト		
5回	旅行業約款	H27年度国家試験問題の分析・解説		
6回	旅行業約款	演習問題、解答・解説		
7回	旅行業約款	演習問題、解答・解説		
8回	旅行業約款	小テスト		
9回	宿泊・運送約款	H27年度国家試験問題の分析・解説		
10回	宿泊・運送約款	演習問題、解答・解説		
11回	宿泊・運送約款	演習問題、解答・解説		
12回	宿泊・運送約款	小テスト		
13回				
14回				
15回				
16回				

エアライン エアポート

* 共通する科目はエアポートにあります

対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	R・Wクラス
科目名	航空業界研究			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 空港ではどのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。 エアポートビジネスが支える航空運送事業について、多くの観点から学習し理解する。			
使用テキスト	エアポート ビジネス入門 ・ 必要に応じプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%) 期末試験 70%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容、進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う		
2回	エアポートビジネスとは	航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ		
3回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空業界の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ		
4回	航空の歴史	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入その後の影響について学ぶ		
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について理解する 空港の基本的な機能及び空港施設・設備及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ		
7回	航空機の特性	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ		
8回	航空業界の仕事	JALグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ		
9回	航空業界の仕事	日本における中堅航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している格安航空会社について学ぶ		
10回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントについて学ぶ		
11回	航空業界の仕事	運航管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
12回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務の要点について理解する		
13回	航空貨物業界の仕事	航空貨物業界の実績推移を把握し航空貨物輸送の特徴を学ぶ 航空貨物の業務について航空貨物業者と航空会社の分担、一般的な流れを学ぶ 航空貨物の搭載方式と荷役機器について、その概要を学ぶ		
14回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ		
15回	航空業界の動向	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
16回	まとめ	前期を振り返り復習を行う		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	空港実務			
担当講師(フルネーム)	原田 歩			
到達目標	☐ 検定あり ・国内の空港や航空会社の特徴、専門用語を理解する ・国内線におけるお客様の流れを理解する ・国内線の基本的なルールを理解する			
使 用 テキスト	『ANAグランドスタッフ入門』イカロス出版、時刻表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20%(小テスト10%、授業態度10%) ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・空の安全について考える		
2回	日本の空港①	・日本の地図をもとに空港の位置を学ぶ ・空港の基礎知識を習得する ・空港の3レターを覚える		
3回	日本の空港②	・日本の地図をもとに空港の位置を学ぶ ・各空港の特徴を学ぶ ・空港の3レターを覚える		
4回	日本の航空会社	・日本の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・航空会社の3レター・2レターを学ぶ		
5回	GSの業務内容と役割①	・GSの業務内容を学ぶ ・GSの業務の一部を体験する ・GSの役割を理解する		
6回	GSの業務内容と役割②	・旅客ハンドリング企業を知る ・GSの勤務形態を知る ・GSに求められる人材について考える		
7回	航空業界用語①	・専門用語や略語を覚える ・意味を理解する ・使用する場面を理解する		
8回	航空業界用語②	・専門用語や略語を覚える ・意味を理解する ・使用する場面を理解する		
9回	国内線航空券	・航空券の見方とルールを学ぶ ・様々な搭乗媒体を知る ・スキップサービスについて理解する		
10回	国内線運賃	・様々な運賃とルールを学ぶ ・各社運賃を比較する ・ホームページにて空席照会をする		
11回	マイレージサービス	・マイレージプログラムについて理解する ・様々な特典を知る ・専用カウンターや専用ラウンジについて学ぶ		
12回	海外の空港と航空会社	・海外の空港・都市の3レターを覚える ・海外の航空会社の2レターを覚える ・各航空会社の特徴を学ぶ		
13回	復習テスト	・12回までの復習をする ・夏休みの課題を共有する		
14回	手荷物①	・機内持ち込み手荷物のルールを学ぶ ・受託手荷物のルールを学ぶ ・危険物について学ぶ		
15回	手荷物②	・手荷物タグの取扱い方法を学ぶ ・様々な種類の手荷物タグについて学ぶ ・様々な種類の収納ケースについて学ぶ		
16回	まとめ	・前期の復習、および補足		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	R・W クラス
科目名	アクセス			
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子			
到達目標	☒ 検定あり 国内線の空席照会～予約や変更、機内座席指定さらには個人割引運賃全般まで、幅広く習得する。 以上、練習問題を多くこなすことにより、処理能力を高める。また、実務に役立つ専門用語も学ぶ。 アクセス検定国内3級(7月実施)の全員合格を目指す。			
使用テキスト	AXESS国内予約発券業務の基礎・国内早見表 その他、検定対策用過去問題			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点30%(授業態度10% 小テスト10% 提出物10%) 期末テスト70%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	基礎知識	アクセス端末の各名称(キーボードの場所や基本操作)や入力時の注意点を学ぶ 基本的な専門用語(空港コード/都市コード/航空会社の正式名称など)を学ぶ その他、CRS(予約端末機)についての概要を学ぶ		
2回	空席照会と予約	予備知識(予約受付期限/発券期限/国内年齢区分など)を学ぶ 航空便の空席照会入力方法を学ぶ、直行便や乗継便の予約を行う ※2レター/航空会社名 小テスト実施		
3回	旅客データの入力と訂正	旅客名の入力を学ぶ(国内へボン式ローマ字/家族や外国人入力/インファント入力) 旅客の連絡先や申込者の入力を学ぶ 旅客データの訂正/追加/削除を学ぶ		
4回	PNRの完了と中断	PNR構成と作成までの流れを学ぶ PNR完了と中断方法を学ぶ 予約コードの流れを学ぶ		
5回	その他の予約方法	キャンセル待ち/便指予約/オープンセグメントの入力を学ぶ PNRの抽出方法を学ぶ		
6回	予約変更と取消	予約便の取消と変更手順を学ぶ 事前座席指定へ進む(国内シートマップについて学ぶ)		
7回	事前座席指定	シートマップからの座席予約(機内通路や窓側を選択し予約する)を学ぶ 予約変更による座席変更を行う		
8回	割引運賃の予約Ⅰ(AW入力)	国内線割引運賃全般(予約クラス・規則を学ぶ) AW画面からの予約を行う		
9回	割引運賃の予約Ⅱ(AW入力)	AW画面からにの最安値運賃の予約を行う 割引運賃の予約変更手順を学ぶ		
10回	検定対策Ⅰ	アクセス検定国内3級に向けて、入力のポイントを学ぶ アクセス検定国内3級・過去問題に取り組む(課題あり)		
11回	検定対策Ⅱ	アクセス検定国内3級・過去問題に取り組む(課題あり) 添削と返却		
12回	国内線総復習/期末テスト	国内線総復習(空席照会～予約・変更・座席指定まで) ※期末テスト		
13回	復習/分割	国内予約の流れを復習(空席～予約～座席指定～割引運賃まで) PNR作成とロールプレイ(新規予約) PNR分割(旅客人数の変更)		
14回	新システムについて	2017年10月～アクセス国内線新システムについて学ぶ (新システム概要説明)		
15回	新システムについて	アクセス国内新システムについて、PNR作成の流れを確認する		
16回	新システムについて	アクセス国内線新システム・簡単なPNRを作成する		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	空港英語			
担当講師(フルネーム)	高木美希			
到達目標 ☐ 検定あり 英語での接客、アナウンスが出来るようになる。 空港で使われる英会話や語彙を理解し、入社試験や英語の検定試験に備える。				
使 用 テキスト プリント配布				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験 80% 平常点(小テスト)20%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	シラバスを使い、講義概要、到達目標、成績評価方法の説明 講師自己紹介と学生自己紹介		
2回	チェックイン業務	飛行機が発するまでの流れを把握する。 搭乗手続き(チェックイン)とは何かを理解する。		
3回	チェックイン業務	国内線での搭乗手続きの手順・注意事項を理解する。 お手伝いの必要なお客様への接客を理解する。 【小テスト 第1回】		
4回	チェックイン業務	手荷物の種類と取り扱う際の注意事項を理解する。 持込に制限のある荷物について理解する。超過手荷物料金について理解する。 【小テスト 第2回】		
5回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを通じて、接客に慣れる。 ロールプレイは、クラス全員実施する。 【小テスト 第3回】		
6回	チェックイン業務	搭乗手続きのロールプレイを通じて、接客に慣れる。 ロールプレイ体験の反省、振り返りを行う。 【小テスト 第4回】		
7回	ゲート業務	搭乗口(ゲート)での業務について学ぶ。 英語アナウンスの種類とアナウンス実施時の注意点について学ぶ。 【小テスト 第5回】		
8回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、一人ずつ練習する。 アナウンス練習を待っている学生、終了した学生は振り返りを行う。 【小テスト 第6回】		
9回	ゲート業務	英語アナウンスをマイクを使い、一人ずつ練習する。 英語アナウンス練習の振り返り、反省を行う。 【小テスト 第7回】		
10回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航とは何か、どのような種類があるのかについて学ぶ。 接客をする際の注意点(通常運航時との接客の違い)を把握する。 【小テスト 第8回】		
11回	イレギュラー運航 (遅延・欠航等)	イレギュラー運航時、よく使う英単語、フレーズを学ぶ。 遅延・欠航時等の英語での接客、アナウンスを練習する。 【小テスト 第9回】		
12回	到着業務	国内線で、飛行機が到着した後の流れについて理解する。 到着手荷物の受け渡し、未着、破損時の対応について学ぶ。 【小テスト 第10回】		
13回	エアライン・都市	日本に就航している、代表的な外資系航空会社について学ぶ。 世界の主要都市について学ぶ。 【小テスト 第11回】		
14回	機内サービス	機内でのサービスの種類と流れを理解する。 機内でよく使われる英単語を学ぶ。 【小テスト 第12回】		
15回	機内アナウンス	機内での英語アナウンス原稿を見ながら、音読練習をする。 アナウンスの機械を利用し、実際にアナウンスを体験する。 【小テスト 第13回】		
16回	まとめ	前期に学習した内容の復習 【小テスト 第14回】		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	R/W クラス
科目名	日本語表現			
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			
到達目標 ☒ 検定あり	日本語を見直し、美しい日本語を理解する 基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする 日本語検定3級合格レベルに達する			
使 用 テキスト	『ステップアップ 日本語講座 ― 上級』 東京書籍			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
・平常点 20%				
・期末試験 80%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える		
2回	敬語①	敬語について／敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する		
3回	敬語②	敬語の使い分け 練習問題		
4回	敬語③	注意すべき敬語 謝った敬語の使い方		
5回	敬語④	状況に合わせた敬語の使い分け さまざまな敬意表現		
6回	敬語⑤	敬語のまとめ 練習問題		
7回	文法①	品詞・活用の種類		
8回	文法②	主語と述語 連体修飾と連用修飾		
9回	文法③	動詞の分類／練習問題 可能表現、受け身と使役の表現		
10回	文法④	文法のまとめ 練習問題		
11回	語彙・言葉の意味	語種／二語の関係 練習問題		
12回	日本語検定過去問題①	過去問題(平成23年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す		
13回	日本語検定過去問題②	過去問題(平成24年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す		
14回	日本語検定過去問題③	過去問題(平成25年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す		
15回	日本語検定過去問題④	過去問題(平成26年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す		
16回	日本語検定過去問題⑤ 前期まとめ	過去問題(平成27年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RWクラス
科目名	ユニバーサルサービス			
担当講師(フルネーム)	原田 歩			
到達目標	☐ 検定あり ・障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める ・基本的な介護知識を身につける ・仕事だけではなく、日常生活でも気づき、実践できるようになる			
使 用 テキスト	『接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト』日本能率協会マネジメントセンター			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・ユニバーサルサービスについて考える ・身近なユニバーサルデザインを知る		
2回	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害についての基本知識を習得する ・色覚障害について学ぶ ・弱視について学ぶ		
3回	視覚障害者へのサービス②	・介助犬について学ぶ ・盲導犬について理解を深める ・DVDを鑑賞し、感じたことを共有する		
4回	視覚障害者へのサービス③	・視覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲の体験をする ・体験から学んだことを共有する		
5回	視覚障害者へのサービス④	・視覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し、ご案内する		
6回	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害についての基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・手話で自己紹介をする		
7回	聴覚障害者へのサービス②	・聴覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・伝える難しさ、伝わらない不自由さを体験する ・体験から学んだことを共有する		
8回	聴覚障害者へのサービス③	・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点に気づく ・様々なコミュニケーション方法でチェックインを行う		
9回	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害や麻痺についての基本知識を習得する ・麻痺のある方への接客を学ぶ ・衣服の着脱をお手伝いする		
10回	肢体障害者へのサービス②	・車椅子の種類を知る ・車椅子の基本操作を学ぶ ・校内を自走する		
11回	肢体障害者へのサービス③	・車椅子での案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し、ご案内する		
12回	肢体障害者へのサービス④	・車椅子での案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・階段での案内方法を学ぶ		
13回	復習テスト	・12回までの復習をする ・夏休みの課題を共有する		
14回	妊娠中のお客さま	・妊娠中のお客さまについての基本知識を学ぶ ・妊娠中のお客さまが不便に感じていることを学ぶ ・妊娠中のお客さまを接客する際、注意する点を共有する		
15回	小さなお子さま連れのお客さま	・小さなお子さま連れのお客さまが不便に感じていることを学ぶ ・店舗や施設でのサービスを考える ・グループワークをし、共有する		
16回	まとめ	・前期の復習、および補足		

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科 エアポート科	RWクラス
科目名	コミュニケーション学			
担当講師(フルネーム)	森田房子			
到達目標 ☐ 日常のコミュニケーションの大切さに気付く 上手く人と関わっていくにはどのようなことに注意したら良いかを学ぶ 人の話を聞くことの大切さを学ぶ 授業に積極的に参加する態度を身につける				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験 80% 平常点（授業態度・出席率） 20%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コミュニケーションの必要性	授業内容 評価方法の説明 何故コミュニケーションが必要か 全員自己紹介		
2回	コミュニケーションの手段	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションの違いについてゲームから学ぶ		
3回	正しい日本語で話す	尊敬語、謙譲語、丁寧語をマスターする 演習問題 間違った現代の言葉遣いに気付く		
4回	効果的な話し方	整理して工夫を加えてより効果的に伝える話し方のポイントを知る 話し方の構成技術を学ぶ		
5回	一分間スピーチ	スピーチのビデオ撮り VTRを再生し自分自身を見た感想を書く		
6回	聞くことの重要性	人の話を聞くことは、コミュニケーション上、最も大切であることを理解させる 良い聞き方と悪い聞き方を理解させる 良い聞き方と悪い聞き方の実習訓練		
7回	聞くことの重要性	同上		
8回	試験 まとめ	試験 全体の復習		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	ビューティーレッスン			
担当講師(フルネーム)	金礪 暁子			
到達目標	☐ 検定あり 自分の個性を活かし、好印象を持たれるビジネスメイク技術の取得 女性らしい品格のあるマナーや知識、トータルコーディネート基礎知識の習得			
使 用 テキスト	プリント配布 鏡(立てられるもの)、タオル、ダッカール(髪留め)、メイク道具			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業内容の確認 基本的のスキンケア 肌の仕組みと正しいお手入れ方法の習得		
2回	ベースメイク	美しく仕上がるメイクアップベースの道具や名称 デモンストレーションとファンデーション		
3回	基本のアイメイク	前回の復習とアイメイク、アイブロウの目的と効果 基本的な描き方のデモンストレーションと実習 個性に合わせた色や形選びとアドバイス		
4回	基本のチーク/リップ	前回の復習とリップ、チーク、ハイライトの目的と効果 基本的な描き方のデモンストレーションと実習		
5回	応用メイク	TPOに合わせたメイクアップ方法 それぞれの場面に合わせたメイクの習得		
6回	トータルメイクアップ	これまでの授業で学んだことを活かして課題とするテーマに合わせたトータルコーディネートを実践		
7回	コミュニケーション	相手に好印象を与えるための話し方や伝え方の習得		
8回	ビジネスマナー	美しく見える立ち姿や歩き方の基本		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	実習前教育			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	☐ 検定あり 社会人として働くための準備をし、企業実習に役立てる。 実習に必要な書類、手続き方法等を理解し、実習開始前までに基本マナーを身につける。			
使 用 テキスト	プリント 就職ノート エアポートビジネス入門			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	実習先企業紹介①	実習制度の説明 実習先企業および実習内容を紹介		
2回	実習先企業紹介②	実習先企業の希望アンケート用紙記入方 希望実習先を発表する ※4月24日(月)1限目提出		
3回	実習関連書類の書き方①	企業に提出する書類(履歴書等)の書き方 ※「就職ノート」持参		
4回	実習関連書類の書き方②	学内で必要な書類(入退室届、シフトリクエスト等)の書き方		
5回	報告・連絡・相談 話し方・言葉づかい	報告・連絡・相談のしかたを学ぶ 話し方・言葉遣いのポイントをつかむ ※「エアポートビジネス入門」持参		
6回	実習の目的・意義 心構え	企業実習の目的・意義を理解する 基本的な心構えを身につける ※「エアポートビジネス入門」持参		
7回	実習前注意事項	実習中の禁止事項・注意事項を考える コンプライアンスの意味を理解し、行動に移す		
8回	期末試験 まとめ	業務に対する取り組み方を考える		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	実習前教育(実務)			
担当講師(フルネーム)	原田 歩			
到達目標	☐ 検定あり ・各空港の特徴を理解する ・各持ち場におけるグランドスタッフの役割を理解し、相応しい接客ができるようになる ・様々なイレギュラーについて理解を深め、初期対応ができるようになる			
使 用 テキスト	プリント、パワーポイント、時刻表			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・コンプライアンスについて考える		
2回	空港施設	・福岡空港について学ぶ ・お客様の質問を予測する ・時刻表にて就航路線を学ぶ		
3回	出発ロビー	・手荷物カウンターやロビーでの接客を学ぶ ・第一印象の重要性を学ぶ ・空港ロビーを想定して実践する		
4回	ゲート	・ゲートにおける出発便・到着便に合わせた接客を学ぶ ・時間管理の重要性を学ぶ ・ゲートを想定して実践する		
5回	到着ロビー	・到着ロビーにおける様々な「BAGトラブル」を学ぶ ・「BAGトラブル」における初期対応を学ぶ ・到着ロビーを想定して実践する		
6回	ラウンジ	・ラウンジを利用されるお客さまについて理解する ・相応しい立ち居振舞いを学ぶ ・ラウンジを想定して実践する		
7回	イレギュラー	・欠航や遅延の理由を学ぶ ・会社都合・不可抗力について学ぶ ・イレギュラー時の基本的な対応方法を学ぶ		
8回	まとめ	・期末テスト ・復習・補足		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	キャビンサービス			
担当講師(フルネーム)	森田房子			
到達目標 □ 1. 客室乗務員になるための能力、知識を身につける 2. モックアップを使用し、緊急脱出訓練、サービス訓練、アナウンス訓練他を体験する				
使 用 テキスト プリント ビデオ				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 小テスト4回・実技内容 80% 平常点20%				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	CAの業務内容	授業内容、評価方法について説明 CAの業務内容について説明 CAの合格率と現状について		
2回	緊急脱出訓練	着陸失敗時、旅客を機外に脱出させる訓練 パニックコントロール、「JUMP & SIT」で脱出させる		
3回	機内業務	搭乗案内、優先搭乗者の援助訓練、飲み物サービス、旅客の要望に対応する訓練		
4回	機内業務	アナウンス訓練(離陸時アナウンス、タービュランス時のアナウンス、着陸前10分アナウンス)		
5回	機内業務	機内販売について スポットカンパセーションについて		
6回	ホテル宿泊時について	シップを離れても仕事の延長線上にあることを理解する。 派手な服装や大きな声での会話は慎むこと 常に会社を代表している意識を持つこと		
7回	CAの健康管理について	時差・温度差の激しい環境であることを認識する 女性世界の人間関係について理解する バランスの良い食事・適度な運動・ストレス解消法について学ぶ		
8回	まとめ	8週のまとめ		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科	Rクラス
科目名	グラハン業務入門			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり グランドハンドリングの役割とその業務内容を理解し、航空輸送全般の基礎知識の習得を目的とする。 航空業界就業後、接点業務に活用できる知識の習得を目的とする。			
使 用 テキスト	エアライン オペレーション入門 ・ プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%) 期末試験 70%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容、進め方、成績評価方法について説明する グランドハンドリング業務を専門に行う企業について説明する		
2回	グラウンドハンドリングの概要	グランドハンドリングの歴史と意義について説明し学ぶ 「グラウンドハンドリングとは」(IATA)について学ぶ グランドハンドリング作業の概念について学ぶ		
3回	グラウンドハンドリング業務	グランドハンドリングの事業形態、業務内容について説明し学ぶ グランドハンドリング作業を東京国際空港のFLT例で説明し学ぶ 航空機地上支援機材の動きについて映像を見ながら説明し学ぶ		
4回	航空機誘導業務	マーシャリング・マーシャラの心得、地上誘導信号について学ぶ トーイング(仕事の内容・操作)、プッシュバックについて説明する ブレーキマン(主要作業・作業上の注意・資格要件)について説明する		
5回	ランプ・イン/アウト	ウォッチ作業(監視作業)・ウォッチマン(監視員)の心得・ウォッチマンの位置について学ぶ 安全知識(航空機からの視界・クリアランス・エンジンへの注意)について学ぶ グランドハンドラーの危険地帯・エンジンへの注意・航空機優先について学ぶ(小テスト実施)		
6回	地上支援業務	地上支援業務とGSE(地上支援機材)について説明し学ぶ 地上支援業務(到着作業・出発作業)について学ぶ 旅客の降機・搭乗の準備、貨物・郵便物・手荷物のハンドリングについて学ぶ		
7回	搭降載関連業務	航空機の重量・機体の重心位置について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引渡し作業と運搬作業について説明する 各輸送モードのコンテナの種類について学ぶ		
8回	搭降載業務	概要、作業の基本的考え方、搭載物件の取り扱い、航空機における作業上の注意について説明する 搬出作業一般、ロードシートの見方、ボーイング777への搭載について学ぶ 前期を振り返り復習する		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン・エアポート科	RWクラス
科目名	ペン字			
担当講師(フルネーム)	安藤清子			
到達目標	☐ 検定あり 美しく読みやすい履歴書の配字とバランスを学ぶ			
使 用 テキスト	オリジナルテキスト			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・小テスト(まとめ)・授業態度			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	履歴書を書く ①	履歴書とは・・・ ・筆記具の種類・姿勢、執筆(持ち方)(1) ・平仮名の特徴	偏と旁① (漢字の部分の名称)	
2回	履歴書を書く ②	・姿勢、執筆(持ち方)(2) ・平仮名(あ～ん)の書き方と特徴 平仮名での書き取り練習	偏と旁② (漢字の部分の名称)	
3回	履歴書を書く ③	・片仮名(ア～ン)の書き方と特徴 ・片仮名の書き取り練習	偏と旁③ (漢字の部分の名称)	
4回	履歴書を書く ④	・平仮名、片仮名のまとめ 数字の書き方	偏と旁④ まとめ	
5回	履歴書を書く ⑤	・楷書の特徴(自分の名前) ・名前の字の組み合わせ方(配字とバランス)	筆順①	
6回	履歴書を書く ⑥	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー1	筆順②	
7回	履歴書を書く ⑦	・横書きの特徴とポイント ～漢字仮名まじり文～の書き方ー2	筆順③	
8回	履歴書を書く ⑧	・履歴書のレイアウトを考える ・文字の大小、余白を考える		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	R/Wクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			
到達目標	☐ 検定あり 就職にいたるまでの基本的流れを理解するとともに、就職活動の重要性を認識する。 自己分析し、長所の中からPRできる部分を抜き出す。 自己PRを文章にする力を身につける。			
使 用 テキスト	『勝つための就職ガイドSUCCESS』 『就職ノート』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	前期授業内容の説明(授業の進め方・成績評価方法等) 就職活動とは 就職とは何か、なぜ働くのか		
2回	就職活動の心構えと準備	就職について(学生と社会人の違い) 身だしなみについて 業界について		
3回	就職活動の流れ①	就職の流れについて 将来の目標について(思考・まとめ) 将来の目標について(発表・1分間)		
4回	就職活動の流れ②	就職活動のルール 就職室について		
5回	自分自身を知る①	自己分析の仕方について 過去・現在の自分の振り返り 自分のライフスタイル		
6回	自分自身を知る②	自分が考える自分自身の性格 長所と短所を理解する(短所を長所に変えて表現する) 自分の能力や適性を把握する 他者から見た自分自身とは		
7回	自己分析	自己分析のまとめ 自分自身について文章で表現する(文字数制限なし)		
8回	業界と自分	業界が求める人材 業界と自分の接点 入社して自分が業界に貢献できること		
9回	自己PR作成	自己分析の結果から自己PRできるものを抜き出す 再度自分自身を文章で表現する		
10回	自己PR作成	自己PRについて文章にする(600字＝志望業界に対応した内容) 原稿用紙の使い方		
11回	自己PR作成	自己PRについて文章にする(300字＝エントリーシート記入に対応) 文章の書き方(結論・総括等)		
12回	振り返りと補足	自分自身をどの程度分析できたか再確認 自分の良いところ、不足するところはどこか 夏休みを迎えるにあたって(目標を持って過ごす)		
13回	志望動機・自己PRと エントリーシート・履歴書	基本的な志望動機・自己PRの書き方 エントリーシート・履歴書の書き方 企業の実際のエントリーシートフォームについての説明		
14回	情報収集と企業研究	求人環境・航空業界企業リスト・情報収集の方法と活用の仕方 企業研究ノート作成方法 就職閲覧室・就職情報誌・企業のホームページの利用		
15回	情報収集と企業研究	志望企業のリストアップ(職種・業務内容・地区・雇用条件等を考えて) 求人票の見方		
16回	情報収集と企業研究 まとめ	業界が求める人材・業界と自分の接点 企業訪問・OB & OG訪問準備・アポイントメントの取り方 御礼状の書き方		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス
科目名	観光地理			
担当講師(フルネーム)	金森和彦			
到達目標	☐ 検定あり 海外の空港情報、文化風習について学ぶ			
使 用 テキスト	旅に出たくなる地図(世界) 帝国書院			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	イギリス	大英帝国の繁栄と文化 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
2回	フランス	フランス革命と芸術の世界 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
3回	イタリア	イタリアの文化遺産とローマ帝国の繁栄について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
4回	ドイツ	ゲルマン民族の文化風習について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
5回	ギリシャ	クレタ文明とエーゲ海の観光について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
6回	スイス	アルプスの山岳地域の文化について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
7回	フィンランド	北極圏のサンタクロース文化とムーミンについて 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
8回	スウェーデン	スカンジナビア地域の伝統と産業について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
9回	デンマーク	バイキングの歴史とグリーンランドの観光資源について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
10回	エジプト	古代エジプト文化とファラオについて 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
11回	南アフリカ	人類発祥の地南アフリカの歴史について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
12回	フィリピン	東南アジアリゾート観光について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
13回	シンガポール	自由貿易港の産業と文化について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
14回	インドネシア	バリリゾートとコモドドラゴンについて 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
15回	中華民国	台湾の原住民文化について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		
16回	中華人民共和国	中国の歴代王朝について 海外の主要観光地、世界遺産、主要空港の情報について学ぶ		

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	フライトオペレーション			
担当講師(フルネーム)	樽見俊六			
到達目標	☐ 検定あり 到着から出発までの航空機運航の流れ及び運航業務の目的・役割を理解し航空会社の社会的使命である安全運航・定時運航に寄与することを目標とする。			
使用テキスト	プリント教材配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%+期末試験80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コース紹介	前期カリキュラムの確認・成績評価方法について。 航空業界の現況と動向について。		
2回	空港施設	空港の種類(空港と飛行場の違い)・役割及びターミナル施設について学ぶ。		
3回	空港施設	滑走路付帯施設・電波施設・照明施設の種類とその役割について学ぶ。		
4回	飛行方式	航空法で定める航空機概念及び飛行方式・飛行条件を学ぶ。		
5回	航空交通管制業務	出発から到着までの航空交通の流れを学習し管制業務の目的及び航空路管制・飛行場管制について学ぶ。		
6回	航空交通管制業務	航空路はどのように区画化されているかを学習し管制空域・制限空域及び飛行情報区と防空識別圏の違いを理解する。		
7回	運航管理	運航管理者の業務・役割を学び飛行計画書の記載内容を確認・理解する。		
8回	前期総復習	前期授業内容全般につき復習する。(Q & A)		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	0/Vクラス
科目名	航空業界試験対策(筆記)			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	☐ 検定あり 入社試験における筆記試験を突破する 基礎学力の向上を目指す			
使 用 テキスト	プリント対応★予習必須★			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点(小テストおよび授業態度) 100%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 総合問題Ⅰ	・授業の進め方、成績評価方法 ・国語① 小テスト		
2回	総合問題Ⅱ	時事問題① 小テスト		
3回	総合問題Ⅲ	社会① 小テスト		
4回	総合問題Ⅳ	理数① 小テスト		
5回	総合問題Ⅴ	国語② 小テスト		
6回	総合問題Ⅵ	時事問題② 小テスト		
7回	総合問題Ⅶ	社会② 小テスト		
8回	総合問題Ⅷ	理数② 小テスト		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科	0クラス
科目名	GS受験対策			
担当講師(フルネーム)	原田 歩			
到達目標	☐ 検定あり ・今までの経験から得たことを最大限に活かし、内定を目指す ・グランドスタッフとして求められる要素を再認識し、努力する ・内定後、入社まで必要なスキルを身につける			
使用テキスト	『CAメイクと面接の本』イカロス出版			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・復習テスト 50% ・平常点 50% (授業態度40%、課題10%)			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・各々の受験状況を確認 ・自己分析シートを作成する		
2回	自己分析①	・過去を振り返り、経験から学んだことを共有する ・学校生活、部活動、習い事で得たことで現在に活かされていることを共有する ・面接練習		
3回	自己分析②	・長所、短所など再確認する ・他人から見た自分の印象を知る ・復習テスト		
4回	実習の振り返り	・実習を振り返り、実習生ならではの気づきを共有する ・イレギュラーやクレームなど印象に残った事例を共有する ・面接練習		
5回	GSとして求められる人物像	・GSの業務、役割を復習する ・GSとして求められる人物像について考える ・面接練習		
6回	目指すGS像と女性像	・GSの3年後、5年後、10年後の業務、役割を復習する ・目指すGS像と女性像について考える ・復習テスト		
7回	志望動機①	・志望動機を見直す ・相手に伝わっているか確認する ・面接練習		
8回	志望動機②	・志望動機を相手に伝える ・具体的に自分の言葉で伝える ・面接練習		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン・エアポート科	OVクラス
科目名	航空機概論			
担当講師(フルネーム)	樽見俊六			
到達目標	☐ 検定あり 航空機の機体構造・システムを理解し実務において効率的なハンドリングに寄与することを目標とする。			
使 用 テキスト	プリント教材配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点20%+期末試験80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コース紹介	前期カリキュラムの確認・成績評価方法について航空法で定める航空機について学ぶ。		
2回	機体構造	航空機の機体構造及び各部の名称について学ぶ。 フェイルセーフ設計・枠組み(骨組み)・胴体の役割について学ぶ。		
3回	機体構造	エルロン(補助翼)・水平尾翼・垂直尾翼・昇降舵・方向舵・水平安定板の役割について学ぶ。		
4回	機体構造	フラップ・グラント／フライトスポイラー・着陸装置・ブレーキシステムの構造及び役割について学ぶ。		
5回	機体構造	アンテナシステム・いろいろな航空灯・座席・ドアの種類と役割について学ぶ。		
6回	飛行高度・速度	気圧高度(巡行高度)・計器速度 / 真速度 / 対地速度の違いについて学ぶ。		
7回	警報システム	いろいろな警報システムの機能について学ぶ。		
8回	前期総復習	前期授業内容につき総復習 (Q & A)		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科 エアポート科	OVクラス
科目名	コミュニケーション学			
担当講師(フルネーム)	森田房子			
到達目標	☐ 1. 自分の意見をしっかり言えること 2. 就職面接に活かせること 3. 人の話が聞ける社会人になること			
使用テキスト	教科書 ビデオ			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 小テスト4回 実技内容 80% 平常点 20%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	2年生になったの心構え	授業内容、評価方法の説明 各自に話してもらう		
2回	話すこと	一年次で学んだコミュニケーション学をいかし、一分間スピーチ実施		
3回	聞くこと	良い聞き方／悪い聞き方実習		
4回	聞くこと	良い聞き方／悪い聞き方実習		
5回	きれいな発声 発音	聞き取りやすい話し方について学ぶ 腹式呼吸の練習 母音・活舌の練習		
6回	仕事上のコミュニケーション	事例研究		
7回	プレゼンテーション	言葉だけでは無く、発表資料など視覚的に魅せるツールを使って効果的に行なう 実習		
8回	まとめ	8週のまとめ		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアライン科・エアポート科	O/Vクラス
科目名	就職対策講座			
担当講師(フルネーム)	久保田博子			
到達目標	☐ 検定あり 未内定者は内定を得る。 内定学生は就業までに自己研鑽を行い、社会人として自覚を持つ。			
使用テキスト	『勝つための就職ガイドSUCCESS』 『就職ノート』			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・出席率・身だしなみにより評価			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法について 就職活動について①(学校の規則・手続き等確認) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
2回	受験準備	最終模擬面接に向けて準備 自己PR・志望動機の練り直し 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
3回	受験対策	最終模擬面接の振り返り 就職活動について②(情報収集・航空業界の現状・求人状況・受験直前対策等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
4回	受験対策	就職活動について③(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
5回	受験対策	就職活動について④(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
6回	受験対策	就職活動について⑤(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
7回	受験対策	就職活動について⑥(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
8回	受験対策	就職活動について⑦(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
9回	受験対策	就職活動について⑧(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
10回	受験対策	就職活動について⑨(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
11回	受験対策	就職活動について⑩(自己PR&志望動機・航空業界の現状・企業研究・求人状況・受験直前対策・振り返り等) 内定者は就業に向け、業界研究・企業研究等、準備		
12回	まとめ	まとめ 就職活動振り返り		
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	W クラス
科目名	グランドハンドリング搭載 I			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 航空機も高速化・大型化そしてハイテク化に伴う航空輸送時代に対応するため、空港には多くの地上スタッフが活躍している。 今後も発展し続ける航空業界ではグランドハンドリング業務(地上支援業務)の重要性がますます認識される。 このグランドハンドリング業務に関わる概要を理解することを目的とする。			
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
平常点	30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%)			
期末試験	70%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	グランドハンドリングの概要	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する		
2回	ランプ・イン/アウト	誘導作業、仕事の内容、要領、訓練方法、資格など概略を説明する マーシャリングの概要、マーシャラの心得について学ぶ 安全知識を習得させ、地上誘導(合図)の種類と方法について学ぶ		
3回	トーイング	航空機トーイング操作、通常トーイング・ハンガー・イン/アウトについて説明する コンパス・スイング・トーイング、アンダー・ベリー・トーイング方法について説明する トーイング資格取得要件、プッシュ・バック要領について学ぶ		
4回	ブレーキマン	ブレーキマン業務、作業手順について学ぶ 作業上の注意(緊急時に即応できる態勢)について学ぶ ブレーキマン業務、資格取得方法について説明する		
5回	ウォッチ作業(監視作業)	ウォッチマン(監視員)の心得(適切な合図・危険への認識・責任)について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、航空機の地上移動の安全確保について学ぶ ウォッチマンの位置(到着時、出発時、トーイング時)について学ぶ		
6回	搭降載関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について説明する ウェイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し、運搬作業に就いて学ぶ		
7回	搭降載作業	作業の基本的な考え方(迅速・確実・丁寧・顧客の信頼・高品質)について学ぶ 作業態度・搭載物件の取扱い・車両機材使用上の注意について学ぶ 航空機における作業上(カーゴ・ドア取り扱い、貨物室内)の注意について学ぶ		
8回	出発作業・搬出作業一般	機種、機番、スポット、出発時刻の確認について学ぶ 貨物搬出回数・郵便物搬出回数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報・貨物、郵便物の搬出時連結台数について学ぶ		
9回	航空機へのULD搭載	航空機に機材装着、ULDの搭載およびULDの種類とタイプについて学ぶ パレットの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ コンテナの搭載(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ		
10回	バルク搭載手順	バルク貨物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク郵便物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ バルク手荷物の搭載手順(作業手順・注意点)について学ぶ		
11回	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載/取り卸し作業GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ)について学ぶ 搭載/取り卸し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ)について学ぶ		
12回	搭載監督者業務	搭載監督者業務の一般および搭載監督者1級と2級の違いについて説明する 出発便の搭載監督者業務(情報の収集・搭載作業指示および確認)について学ぶ 到着便の搭載監督者業務(情報の収集・取り卸し指示/確認)について学ぶ		
13回	旅客乗降ドアの開閉	航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 航空機、機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード切り替え機能について学ぶ 航空機、旅客乗降ドアPOSの機構の違いについて説明する		
14回	カーゴ・ドアの開閉機能	航空機(旅客機)、機種ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機、貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの機能について映像を観ながら説明する		
15回	パッセンジャ・ボーディングブリッジ パッセンジャ・ステップ	パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ステップの種類、機能、操作方法について学ぶ パッセンジャ・ボーディング・ブリッジの機能等について映像を観ながら説明する		
16回	機体サービス作業	航空機、機体外部クリーニングの種類、作業域、作業方法について学ぶ 機種ごとのラバトリ数、タンクの大きさ、サービスパネルの位置について学ぶ 機種ごとのウォータータンクの大きさ、サービスパネルの位置について学ぶ		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	グランドハンドリング搭載Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 航空関連業務に興味を持たせ、航空業界就業後に活用できる基礎的知識の習得を目的とする。 また就業分野の範囲を空港に限らず、航空に携わる幅広い分野も理解することを目的とする。			
使用テキスト	プリント・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%) 期末試験 70%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	航空機のパイオニア	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)授業内容を具体的に説明する グランドハンドリングスタッフに求められる人材像について学ぶ 航空業界の歩み、歴史と航空産業について学ぶ		
2回	飛行の原理と重心・重量管理	飛行の原理(揚力と推力)について説明し理解する 重心・重量管理とウエイト・アンド・バランスについて説明し理解する 飛行機に働く基本的な4つの力、飛行の原理について学ぶ		
3回	航空機の離陸から着陸まで	航空機の離陸から着陸まで(標準作業工程)一連の動きについて学ぶ 離陸速度・離陸推力・離陸出力について説明し理解する 必要離陸滑走路長・横風離陸・関連用語について説明し理解する		
4回	主要航空機製造メーカー	主要航空機製造メーカーの種類・機種について学ぶ 航空機取扱い上の基本、各部の名称について説明し理解する 航空機の値段(HOW MUCH?)・飛行機は船(SHIP)について学ぶ		
5回	航空機の運行	航空機の性能・速度・機体の大きさ・航続距離について説明し理解する 運航関連用語・航空機運航・航空情報について学ぶ 業界用語(運航・整備・航空機・空港施設・取扱い・人員)について学ぶ		
6回	航空機整備作業	整備の種類(ライン整備・ドック整備・C整備・M整備・重整備)について学ぶ 整備の実施体制について説明し理解する 整備の技法・検査について説明し理解する		
7回	航空業界の仕事	航空機に携わる仕事、パイロット(運航乗務員)、客室乗務員について学ぶ グランドハンドリングスタッフ(地上業務)、グランドスタッフ(旅客業務)の業務について学ぶ 航空整備士と運航管理者について学ぶ		
8回	航空業界の仕事	空港運営会社について説明し理解する 航空管制官について説明し理解する 出入国審査・税関・検疫について説明し理解する		
9回	空港の種類・滑走路	日本の空港の種類について学ぶ 空港一覧・IATAによる地域区分図(TC1 TC2 TC3とは)について学ぶ 滑走路の長さや向きはどのように決められるか説明し理解する		
10回	日本の主要空港	空港で働く人々について学ぶ 日本の空港の概要について学ぶ (成田国際空港・東京国際空港・関西国際空港・中部国際空港・福岡空港)		
11回	航空保安体制の現状	保安対策基準の脅威レベル、航空機、関連施設に対する不法行為について学ぶ 航空関連に関する社会情勢(テロやコンプライアンス違反)について学ぶ 過去のハイジャック事象について学ぶ		
12回	セキュリティ最前線	航空機事故が集中する「魔の11分」について学ぶ 空港のセキュリティ対策について学ぶ 航空機に影響を及ぼす電子機器について学ぶ		
13回	航空保安対策	航空法・航空法施行規則・空港管理規定について説明する 空港における警戒態勢の強化について学ぶ 空港セキュリティの現状を理解する		
14回	空港管理規則	空港規則(制限区域内の車両安全)と用語の定義について学ぶ 空港制限区域立入承認証、制限区域の範囲、立入区域について学ぶ 空港制限区域安全管理規定について説明する		
15回	IATA危険物	危険物の定義・危険物の取扱体制について学ぶ 法令及び諸規則の概要を理解する 危険物の分類について学ぶ		
16回	IATA危険物	航空輸送禁止の危険物について学ぶ 放射性物質のマーキング及びラベリングについて学ぶ 旅客機で輸送される危険物貨物、貨物専用機で輸送される危険物貨物について学ぶ		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング(運輸サービス)			
担当講師(フルネーム)	宮下郷史			
到達目標	☐ 検定あり グランドハンドリング業務の知識を習得し、航空業界の視野を広げさせる。 グランドハンドリング業務全般に精通したマルチな人材になることを目的とする。			
使 用 テキスト	プリント教材 POWER POINT			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	前期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する。 企業が求めるもの(礼儀・規律・コンプライアンス)とは		
2回	グランドハンドリング	空港の仕事 グランドハンドリング(運送系)概要 グランドハンドリングの近代化		
3回	航空専門用語 (運送系)	業務を円滑に行うための専門用語・略語		
4回	航空専門用語 (運送系)	業務を円滑に行うための専門用語・略語 アライアンス(航空連合)とは 小テスト		
5回	安全と品質1	航空業界における安全と品質 ヒューマンエラー 報告・連絡・相談(ホウレンソウ) 身だしなみ・言葉使い		
6回	安全と品質2	航空業界における安全と品質 ヒューマンエラー 報告・連絡・相談(ホウレンソウ) グループワーク・事故対策		
7回	航空保安	空港の安全について 空港に従事する全ての作業者の義務 IATA(国際航空運送協会)とICAO(国際民間航空機関)		
8回	運送系危険物1	旅客危険物とは 危険物規則の概要について 危険物の取扱い		
9回	運送系危険物2	危険物について振り返り 危険物小テスト		
10回	旅客ハンドリング	国内線(出発業務・到着業務) 国内線作業に関わる業務を知る (センディング業務・保安)		
11回	旅客ハンドリング	国内線(出発業務・到着業務) 国内線作業に関わる業務を知る (センディング業務・保安)		
12回	旅客ハンドリング	国際線(出発業務・到着業務) 国際線作業に関わる業務を知る (センディング業務・保安)		
13回	旅客ハンドリング	国際線(出発業務・到着業務) 国際線作業に関わる業務を知る (センディング業務・保安)		
14回	旅客ハンドリング	VIP 航空機 作業について 特別な手荷物の取扱いについて		
15回	旅客ハンドリング	国内線・国際線作業 特別作業 振り返り 小テスト		
16回	前期のまとめ	事前復習および試験対策 前期内容における質疑応答		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	フライトオペレーション			
担当講師(フルネーム)	樽見俊六			
到達目標	☐ 検定あり 到着から出発までの航空機運航の流れ及び運航業務の目的・役割を理解し航空会社の社会的使命である安全運航・定時運航に寄与することを目標とする。			
使 用 テキスト	プリント教材配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
平常点20% + 期末試験80%				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	コース紹介	前期カリキュラムの確認及び成績評価方法について 航空業界の現況と動向について。		
2回	航空局の業務概要	航空局の歴史と役割を学び航空会社との関連業務について理解する。		
3回	空港施設	空港の種類(空港と飛行場の違い)・役割及びターミナル施設について学ぶ。		
4回	空港施設	滑走路付帯施設・電波施設・照明施設などの種類とその役割を理解する。		
5回	飛行方式	航空法で定めている航空機概念及び飛行方式・飛行条件について学ぶ。		
6回	航行援助施設	いろいろな対空・対地無線航行援助施設とその役割について学ぶ。 (VOR/DME/ADF/NDB/TACAN etc.)		
7回	航空交通管制業務	出発から到着までの航空交通の流れを学習し管制業務の目的・航空路管制・飛行場管制業務について学ぶ。		
8回	航空交通管制業務	航空路はどのように区画割されているのかを理解し管制空域・制限空域及び飛行情報区と防空識別圏の違いを学ぶ。		
9回	運航管理	運航管理者の業務概要を学び飛行計画書の記載内容を確認・理解する。 (ATS Flight Plan / Company Flight Plan の違いを理解する。)		
10回	業務用語	いろいろなオペレーション用語・管制用語を学ぶ。		
11回	運航管理	運航管理に関する用語とその意味について理解する。		
12回	離着陸速度	離陸速度と離陸距離 / 着陸速度と加速停止距離について学ぶ。		
13回	搭載燃料	航空機の運航に必要な燃料と滞空時間の計算の仕方を学ぶ。		
14回	計算の単位	距離・速さ・重さ・量・高さの計算について学ぶ。		
15回	飛行高度・速度	飛行高度(巡行高度) / 計器速度・真速度・対地速度について学ぶ		
16回	前期総復習	前期授業内容全般につき総復習する。(Q & A)		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	危険物取扱者試験対策			
担当講師(フルネーム)	金森和彦			
到達目標	☒ 検定あり 国家試験 危険物取扱者合格と航空業界における危険物の取扱について			
使 用 テキスト	これだけ！乙種4級 危険物試験合格大作戦			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国家資格内容	国家資格取得レベルや試験までのスケジュールについて説明する 過去の国内空港の事故と危険物の関連について説明する 危険物の種類について説明する		
2回	危険物に関する法令	危険物の定義・分類(6つの性質)について学ぶ 指定数量(危険物の規制に関する政令別表第3)について学ぶ 製造所等の区分、申請・認可・許可等の手続きについて学ぶ		
3回	危険物に関する法令	危険物取扱者の責任内容について理解させる 危険物保安監督者の責任内容について理解させる 危険物保安統括管理者の責任内容について理解させる		
4回	過去問題	前年度の出題傾向を紹介し理解させる 過去の問題を活用し出題パターンを理解させる 配点の合格ライン到達のコツについて説明する		
5回	危険物に関する法令	危険物施設保安員の意義・業務内容について理解させる 予防規定に定めるべき事項、製造所の位置・構造・設備の基準について学ぶ		
6回	危険物に関する法令	製造所の位置・構造・設備の基準、貯蔵・取り扱いの基準について学ぶ 製造所等において危険物を貯蔵する場合の法令に定められた技術上の基準について学ぶ 各類型ごとの危険性について共通基準を学ぶ		
7回	危険物に関する法令	<運搬・移送の基準> 危険物の運搬と移送の違いについて学ぶ タンクローリー(移送タンク貯蔵所)との取り扱いの違いについて理解する。		
8回	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について理解する 燃焼の仕方、危険物の物性、自然発火、水分との接触による発火、混合による危険について学ぶ 消化法、消化設備について学ぶ		
9回	危険物の性質	危険物一覧、危険物の類ごとに共通する性質について学ぶ 第1. 2. 3類の危険物について理解する 第4. 5. 6類の危険物について理解する		
10回	模擬問題	危険物に関する法令の問題について小テストを行い理解させる 基礎的な物理学・基礎的な化学について小テストを行い理解させる 危険物の性質・火災予防・消化方法について小テストを行い理解させる		
11回	危険物の航空輸送	荷送人の責任、出荷時の注意事項、危険物の種類について学ぶ 危険物のダメージ等の事故の際、作業者の取るべき緊急時の3原則について学ぶ 取り扱い及び搭載方法、放射性物質、隔離基準について学ぶ		
12回	過去問題	過去問題をひたすら解く 問題解説		
13回	過去問題	過去問題をひたすら解く 問題解説		
14回	過去問題	過去問題をひたすら解く 問題解説		
15回	過去問題	過去問題をひたすら解く 問題解説		
16回	まとめ	危険物の定義「IATA DGR」、危険物輸送について理解する 期末試験の内容について解説する 後期全体を振り返って復習する		

対象学年	1年	対象クラス	エアポート科	Wクラス
科目名	エアカーゴ概論			
担当講師(フルネーム)	松下良朗			
到達目標	☐ 検定あり グローバル化する世界貿易の中で物流の軸となる航空貨物輸送を様々な角度から分析する。グランドハンドリングの基になる航空貨物について受託・仕分け・梱包・積み付け・計量・搭載・取り卸し・引き渡しまでを体系的に学び航空貨物輸送の流れを理解する。			
使用テキスト	適宜 プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	コース概要説明・授業の進め方		
2回	航空機について学ぶ	航空機の種類・飛行機の原理 貨物室の耐空性 貨物専用機等 機種別搭載諸元を理解する。 ULD Unit Load Devicesの種類を学び貨物搭載の基礎を学ぶ 貨物室のSIZE(容積)と安全基準・積み付け基準を学ぶ		
3回		BULK LOADING方式とULD LOADING 方式 WIDE BODY機/NALLOW BODY機 ULD輪郭 適合性 ID コードを知る		
4回	航空貨物とは	日本の空港について(路線・貨物需要)陸上輸送との違い 航空貨物で運ぶ意味を学ぶ 航空輸送の基本を知る トラフィックライト カボタージュ エンバーゴ 航空貨物輸送の価格 スピード 貨物品目について学ぶ ※小テスト		
5回	航空貨物基礎	貨物受託 (受託の可否 AVI DG DIP HUM PER WET)を学ぶ 3コード代理店コード AL コード 便名 航空貨物用語について 積み付け基準 搭載積み付け運送用具		
6回		運送 航空運送状 運賃算出 割引運賃 重量通減制混載運賃 を理解する		
7回	危険物について	危険物規則(IATA DGR)を学ぶ 特殊貨物 動物 危険物 貴重品の受託		
8回		危険物規則(IATA DGR)を学ぶ 特殊貨物 動物 危険物 貴重品の受託		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	グランドハンドリング(搭載)			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 空港におけるグランドハンドリングスタッフの役割と業務内容を深く理解させ、航空業界に就職した際、必要な知識の習得を目的とする。			
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・必要に応じプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%) 期末試験 70%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	グランドハンドリング 関連業務	オリエンテーション(授業の進め方、評価方法)前期授業内容を具体的に説明する グランドハンドリング関連業務について学ぶ JAL・ANA系グランドハンドリング企業の紹介と業務内容について学ぶ		
2回	安全管理	安全管理一般・航空機優先について学ぶ 機体付近の安全(グランドハンドラーの危険地帯)について学ぶ 高所作業の安全・事故事例・消火器・防具について学ぶ		
3回	品質管理	品質管理とはについて学ぶ 航空輸送の品質について学ぶ サービスの品質・物的サービスと人的サービス・社内サービスについて学ぶ		
4回	業務の安全と品質	品質管理の効用とコストについて学ぶ 不具合対策の先取り(ヒューマン・エラーの防止対策)について学ぶ 品質管理の実施について説明し理解する		
5回	グランドハンドリング 関連情報	グランドハンドリング・サービス・ポイントの寸法および位置について学ぶ 運行スケジュールの見方、日本の航空会社運行機材について学ぶ 小テスト(採点と解説)		
6回	グランドハンドリング 関連情報	ULDの種類とタイプ及びIATA IDコードについて更に学ぶ 地上支援業務とGSEについて再度、学ぶ 地上支援業務について具体的に説明し理解させる		
7回	空港・航空会社コード	空港のスリーレター・コードを再確認し理解する IATA・ICAO空港コード(地理的空港の位置)について学ぶ エアライン・コード(2レター・3レター)について学ぶ		
8回	搭載監督者業務	出発便の搭載監督者業務・到着便の搭載監督者業務について学ぶ 搭載監督者の資格と責任について学ぶ		
9回	所有器材一覧 GROUND SUPPORT EQUIPMENT	自走車両の名称、主用途、特徴について学ぶ 非自走車両の名称、主要途、特徴について学ぶ 各社所有器材の名称、主用途、特徴について学ぶ		
10回	安全と危険 航空保安体制の現状	航空機の安全と危険、作業者の安全確保(3つの防止体制)について学ぶ 航空における保安対策について学ぶ 小テスト(採点と解説)		
11回	空港内の特殊法令 空港管理規則	安全教本パワーポイントから説明し理解する 福岡空港制限区域内における人の立入り、車両の使用法について学ぶ 交通規則を定め、同区域内の円滑な運用について説明し理解する		
12回	危険物輸送	危険物の航空輸送に関する法規について学ぶ 航空危険物について具体的に説明し理解する 輸送禁止品目について学ぶ		
13回	危険物輸送	搭載(運航者の責任)における問題点について学ぶ 情報伝達(運航者の責任)方法について学ぶ 荷送人の責任・緊急時の処置について学ぶ		
14回	運行の安全	ウインドシアーについて具体的に説明し理解する 冬季運航(氷結)について学ぶ 鳥の衝突(バード ストライク)について説明し理解する		
15回	定時性・安全性向上への 取り組み	定時性の向上への取り組みについて学ぶ 安全性の向上への取り組みについて学ぶ 環境対策の背景、目的について説明し理解する		
16回	まとめ	グランドハンドリング業務の役割について学ぶ グランドハンドリング業務のまとめ		

対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	エアカーゴ概論			
担当講師(フルネーム)	松下良朗			
到達目標	☐ 検定あり グローバル化する世界貿易の中で物流の軸となる航空貨物輸送を様々な角度から分析する。グランドハンドリングの基になる航空貨物について受託・仕分け・梱包・積み付け・計量・搭載・取り卸し・引き渡しまでを体系的に学び航空貨物輸送の流れを理解する。			
使 用 テキスト	適宜 プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 40% ・小テスト(理解度テスト)60%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	国際航空貨物の動向	・航空貨物の国別/地域別/航空会社別の統計を理解することを目標とし、航空貨物の市場動向と経済に与える影響を学ぶ。		
2回	国際貨物の受託から発送	・直送貨物と混載貨物の違いを知る、輸送経路および受託方法を理解する。 ・代理店と混載業者、貨物利用運送事業者について詳しく学ぶ。		
3回	税関について	・税関の役割について学び、航空貨物輸送との関わりについて理解することを目標とする。 ・保税制度について学び、理解する。(国際空港の機能)(税関空港等)		
4回	国際貨物と関係法令について	・他法令関係について学び航空貨物を送る上での貨物の取り扱いの影響を理解することを目標とする。 ・外国為替・貿易管理法・文化財保護法・植物防疫法・覚せい剤取締法 ETC ※小テスト(理解度テスト)		
5回	輸出入通関の流れ	・航空貨物の流れを知る。外国貨物/内国貨物の違い・輸出/輸入を知る ・輸出入申告の流れと貨物の流れを理解する。 ・貨物の品名/種類/数量/価格と書類(インボイス・パッキングリスト) NACCSの仕組みを理解することを目標とする。		
6回	国際貨物運送状	・国際航空貨物運送状について学び、理解する。(マスター(MAWB)ハウス(HAWB)について理解する。 ・貨物運送状番号の取り扱いと航空会社を理解する。貨物運賃 料金体系 IATAを調べる。(TAFIC CONFERENCE AREA)を知る ※小テスト(理解度テスト)		
7回	国際郵便の取り扱い	・郵便物の国際航空輸送を学び理解する。(万国郵便連合とは) ・CN38/CN41/CN37 郵便の種類を理解し 航空輸送との関わりを理解する ・書状/はがき/小型包装物/小包/EMS/SALを理解する		
8回	授業のまとめ	・国際航空貨物の現状と航空輸送 変わる空港 変わる物流について ディスカッションし自分の考えを確立する。 ・社会人として求められるもの 空港で働くということ 会社でのマナー 健康(メンタル) 心構えについて ・空港で働くということ		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	エアポート科	Vクラス
科目名	航空業界受験対策(GS)			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 業界の就業先企業の絞り込みと企業研究を充実させ、求人スケジュールに沿った授業を推進する。 採用試験に向けて具体的な方法を習得させ合格を目指す。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組み、社会人としての自覚をもたせる。			
使用テキスト	SUCCESS 勝つための就職ガイド・就職ノート・プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度を基に評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 最終模擬面接に向けての準備を行う		
2回	受験準備	就職活動(情報収集・企業研究)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接に向けての準備を行う		
3回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 最終模擬面接を振り返り反省点を補う		
4回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
5回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
6回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
7回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について説明する 内定者は就職に向けての準備を行う		
8回	社会人として	企業別、雇用体系の違いについて学ぶ 企業組織の役割について学ぶ 社会人としての自覚を持たせる		
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

夜間総合観光

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	ホテル業界研究			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり ホテルを体系的に理解し、業務として興味と関心を高める。 ホテルにおける専門知識とサービス実務を学び、就職に活かす能力を高める。			
使用テキスト	ホテル概論			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	接客の基本	グルーミング・基本動作(お辞儀・笑顔・立ち姿・待機姿勢・案内) 接客用語と挨拶・言葉遣い ホテルで求められるサービスと働く魅力について		
2回	ホテルの基本	ホテルの歴史・職種・組織紹介 ホテルの形態と種類		
3回	ホテル紹介	ホテルの形態と種類 世界のホテルブランド		
4回	ホテル紹介	日本のホテル紹介		
5回	研究発表	企業研究発表 (この日までに市内ホテル見学を実際に各自で行う。)		
6回	宿泊知識	宿泊部門の組織について(各課の役割と業務内容)		
7回	宿泊知識	客室の快適性・居住性 客室の種類(ルームタイプ)と設備・寝具の基本知識		
8回	宴会知識	宴会課の組織について(各課の役割) 宴会の種類		
9回	宴会知識	宴会業務の流れと基本		
10回	料飲部の基礎知識	レストランメニュー・レストランの種類 レストラン業務の流れと基本		
11回	料飲部料理知識	フランス料理の基本知識 フランス料理の特色・代表的な地方料理 メニュー構成		
12回	料飲部料理知識	日本料理の基本知識 日本料理の種類と歴史 献立(メニュー構成)		
13回	料飲部料理知識	中華料理の基本知識 中華料理の種類と特徴 メニュー構成		
14回	料飲部料理知識	飲料の基本知識 飲料用語・分類・種類		
15回	ホテル情報	最新ホテル情報 ホテル業界の現状・サービスを専門誌などで紹介		
16回	まとめ	最新ホテル情報 ホテル業界の現状・サービスを専門誌などで紹介 前期のまとめ		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	ブライダル業界研究			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり ブライダルをビジネスとして体系的に理解し、業務として興味と関心を高める。 ブライダルにおける専門知識とサービス実務を学び、就職に活かす能力を高める。			
使用テキスト	ブライダルビジネス入門			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20%			
	・期末試験 80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ブライダルの基本知識	ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態		
2回	ブライダルの基本知識	挙式・披露宴の種類と形態Ⅱ 宗教によるスタイル		
3回	ブライダルの基本知識	ブライダルの定義 挙式・披露宴の概要		
4回	ブライダルの基本知識	日本におけるブライダルの習慣・しきたり 企業紹介		
5回	ブライダルの基本知識	結納		
6回	ブライダルの基本知識	ブライダル衣装・ヘッドドレスの種類		
7回	ブライダル実務	ブライダル商品・アイテムと業務知識		
8回	ブライダル実務	業務内容と婚礼サービスの流れ ブライダルデータ分析		
9回	ブライダル実務	2016～2017 人気のホテル・ゲストハウスから見える「成功する結婚式」 結婚トレンド調査・ホテル婚礼ランキング		
10回	ブライダル実務	婚礼当日のサービス 会場設営		
11回	ブライダルの現状と課題	結婚式の移り変わり 結婚式のスタイルと特性		
12回	ブライダルの現状と課題	ブライダルの市場規模 ブライダル市場をめぐる近年の動向		
13回	ブライダルの現状と課題	結婚式の二極化を考える 人気施設から考える各商品の特徴とトレンド		
14回	研究発表	<<グループワーク>> 徹底比較「ホテルVSハウスウェディング」		
15回	研究発表	課題・制作		
16回	研究発表	課題のテーマに基づき各グループ プレゼンテーション		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	旅行業界研究			
担当講師(フルネーム)	友納真			
到達目標 ☐ 検定あり 旅行業界で働く上で求められる基本知識を学び、旅行業務の理解を深める。				
使 用 テキスト 旅行業務入門・プリント				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験70%+平常点(出欠・授業態度・提出物)30%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明		
2回	旅行業界の基本知識 ①	旅行会社の紹介・分類・関係機関 旅行会社の収入		
3回	旅行業界の基本知識 ②	旅行会社の収入		
4回	旅行会社研究	旅行会社の取扱い商品とサービス インターネットで各旅行会社の商品を検索(他社商品を比較) 各社パッケージブランド・特色を知る		
5回	研究発表①	課題「旅行会社と商品の比較」課題の発表方法、課題作成		
6回	研究発表②	課題「旅行会社と商品の比較」課題の発表		
7回	九州と観光①	九州の観光列車・九州の観光資源など、九州を学ぶ		
8回	九州と観光②	九州の世界遺産、注目の観光地を各旅行会社のパンフレットから知る		
9回	旅行業界の実務①	カウンター、電話受付、営業		
10回	旅行業界の実務②	企画、手配、添乗		
11回	最近の旅行の傾向	定番の観光ツアーから、最近の話題のツアーなど、各社の取り組みを研究 これからの「観光」を考える		
12回	前期前半のまとめ	学習したことのまとめ。夏休みに向けた講話。		
13回	航空の予備知識①	航空の予備知識(空港コード/都市コード/航空会社コード/月コード)		
14回	航空の予備知識②	航空の知識(通常運賃・早割など)。端末紹介(AXESS、able)		
15回	JRの予備知識	列車の予備知識(新幹線/きっぷのルールなど)		
16回	前期のまとめ	学習したことのまとめ。最近の求人企業紹介。		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	航空業界研究			
担当講師(フルネーム)	鶴田由香			
到達目標	☐ 検定あり ・航空業界で働く上で求められる基本知識を学び、様々な業務に対する興味と関心を高める。			
使 用 テキスト				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20%(小テスト・提出物等) ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	航空業界の基本知識	・航空会社とは何か ・航空会社の職種 ・航空業界の現状と動向		
2回	航空業界で働くということ	・空港に関わる仕事の種類 ・空港勤務の業務内容 ・飛行運航に関わる仕事		
3回	航空業界就職のために	・航空業界で働く魅力 ・CA, GHに求められる資質と心構え		
4回	旅客運送のプロセス	・飛行機が出発するまで ・機材や客室仕様について		
5回	路線と各種コード	・日本国内の路線と海外路線 ・AIRLINE CODESとは		
6回	航空券	・航空券について学ぶ ・航空券の種類		
7回	搭乗手続き	・座席指定 SEAT ASSIGNMENT ・保安検査 ・搭乗について		
8回	グランドスタッフとしての接客接遇	・空港に於けるサービスとは ・お客様より選択される航空会社		
9回	接客の基本	・エアラインでの接客の心構え ・身だしなみCHECK、表情		
10回	お客様への言葉づかい	・正しい敬語の使い方 ・感じの良い話し方 ・言葉と話し(業界用語)		
11回	様々なお客様との接し方	・苦情クレーム処理について ・不満体験の列挙によるサービス研究		
12回	制限旅客	・運送拒否制限旅客 ・運送制限対象旅客		
13回	障がい者のお客様への接客	・聴覚障害、視覚障害、肢体不自由、車いす、精神障害、知的障害者のお客様への対応のポイント ・障害者差別解消法を理解し現場でのコミュニケーションを考える		
14回	空港業務のまとめ	・空港業務の流れをまとめる ・ロールプレイング 搭乗手続きをやってみよう		
15回	自己PRをしてみよう	・面接対策と自己PRを作成してみる		
16回	まとめ	・前期の復習と補足		

対象学年	1年	対象クラス	夜間総合観光科	Yクラス
科目名	就職活動講座(LHR)			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり 就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動・準備ができるようになる。 就職活動の基本事項の完成を目指す。			
使用テキスト	就職ノート・パワーポイント・プリント使用			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？(目的・目標・課題) 職業意識の確立と実現に向けて 採用の基準(求められる人材・適性を考える)		
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ IBC夜間部の2年間と就職活動プラン作成 就職活動のルール		
3回	自己分析Ⅰ	動機の因数分解 自分の軸となるものを作る 理想のサービスと企業像を考える		
4回	自己分析Ⅱ	～課題作成 発表～各自の就職プランと「軸」を発表 基本質問を考える(入学理由・業界・職種に興味を持ったきっかけと理由)		
5回	自己分析Ⅲ	1年後の素材集めと自己分析 アルバイトからの素材集め 打ち込んだこと・向上心・成長をテーマに素材集め		
6回	自己PRⅠ	自己PRの作り方 自己PRの様々な質問パターンと回答パターンを考える 自己PRの作成		
7回	自己PRⅡ	自己PRのまとめ方(ロング・ショート・ベリショートバージョン) 他の質問例(長所・短所&改善点、自分を何かに例えたと…)。 パーソナルチェック(挫折・困難&克服、ストレス解消法など)		
8回	質問事例Ⅰ	「テーマに基づく質問・回答」Ⅰ 接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス、接客で大切なこと、実践しているサービス		
9回	質問事例Ⅱ	「テーマに基づく質問・回答」Ⅱ 職業感と社会人の意識に関する質問 採用するメリットを考える		
10回	キャリアビジョン	キャリアビジョンを考える 入社後の将来設計と具体的目標設定 入社してやってみたいこと、3年後・5年後・10年後の私		
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見・考えをまとめる・伝える練習 即答訓練 1分間スピーチに挑戦！ 時事問題(最近、気になるニュース等)		
12回	企業研究	働きたい会社を見つけよう！ 企業研究と志望動機		
13回	軸を考える	理想のサービス・企業・職種を選ぶ基準・キャリアビジョン 各自で自身の「軸」を発表 就職活動の進め方と入社試験種類と内容		
14回	履歴書の作成Ⅰ	履歴書の記入項目と書き方 ①文章のまとめ方 ②志望動機・自己PR以外の項目の書き方 身上書の作成		
15回	履歴書の作成Ⅱ	志望動機と自己PR作成		
16回	履歴書の作成Ⅲ	履歴書完成		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson			
到達目標 ☐ 検定あり				
To make the students enjoy using English.				
To improve the students spoken English.				
To improve the students confidence in regards to English				
使 用 テキスト				
Take off!				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
Class participation and attitude – 50% Oral test – 50%				
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	Greetings Takeoff! P1-2	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 1 Phrases: Hello. / Goodbye. / How are you? / I'm fine, thank you. / etc Role Play: Dialog 1 At the School Cafeteria 1		
2回	Basic Personal Information 1 Takeoff! P3-4	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 2 Phrases: What's your name? / How old are you? / etc Role Play: Dialog 2 At the School Cafeteria 2		
3回	Basic Personal Information 2 Takeoff! P5-6	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 3 Phrases: What's your favorite subject at school? / Where were you born? / etc Role Play: Dialog 3 At the School Cafeteria 3		
4回	General Topics 1 Takeoff! P7-8	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 4 Phrases: What day is today? / What's the date today? / etc Role Play: Dialog 4 At the Library 1		
5回	General Topics 2 Takeoff! P9-10	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 5 Phrases: What time is it? / What time do you wake up every morning? / etc Role Play: Dialog 5 In the Hallway 1		
6回	Basic Personal Information 3 Takeoff! P11-12	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 6 Phrases: Do you like ____? / Can you ____? / etc Role Play: Dialog 6 In the Classroom 1		
7回	Basic Personal Information 4 + Extra Takeoff! P13-14	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 7 Phrases: Which do you prefer, ____ or ____? / How often do you ____? / etc Role Play: Dialog 7 In the Classroom 2		
8回	Basic Personal Information 5 Takeoff! P15-16	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 8 Phrases: What do you like? / What does your mother like? / etc Role Play: Dialog 8 In the Classroom 3		
9回	Basic Personal Information 6 Takeoff! P17-18	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 9 Phrases: Which do you want? / What do you have to do? / etc Role Play: Dialog 9 In the Classroom 4		
10回	Basic Personal Information 7 + Requests Takeoff! P19-20	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 10 Phrases: What don't you have to do? / Let's _____. / etc Role Play: Dialog 10 At the School Cafeteria 4		
11回	Permission 1 + Polite Phrases Takeoff! P21-22	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 11 Phrases: May I ____? / What would you like? / etc Role Play: Dialog 11 At a Department Store 1		
12回	Location + Present Continuous Takeoff! P23-24	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 12 Phrases: Where is ____? / What are you doing now? / etc Role Play: Dialog 12 At a Restaurant 1		
13回	Past Tense + Price Takeoff! P25-26	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 13 Phrases: What did you do yesterday? / How much is ____? / etc Role Play: Dialog 13 In the Classroom 5		
14回	Future Tense 1 Takeoff! P27-28	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 14 Phrases: What are you going to do tomorrow? / Is your friend going to ____? / etc Role Play: Dialog 14 In the Classroom 6		
15回	Oral Test	Verbal Quesntions and Answers from Phrase List		
16回	Future Tense 2 + Present Perfect Continuous Takeoff! P29-30	Warm up, Self Introduction, Q&A, Vocabulary 15 Phrases: What will you do later? / What have you been doing? / etc Role Play: Dialog 15 In the Hallway 2		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z①クラス
科目名	フロントサービス			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する			
使 用 テキスト	「ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編」ウイネット発行 配布プリント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点+実技 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第1章フロント・オフィスとは	授業内容、評価方法、実技について フロント・オフィスの意義と役割 フロント・オフィスの組織を業務		
2回	第3章リザベーション業務	客室タイプ 料金システム 予約業務の重要性		
3回	リザベーション業務	宿泊予約システム概要 客室予約の種類		
4回	リザベーション業務	予約受付の流れ		
5回	リザベーション業務	宿泊受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザベーションカード作成 ④キャンセルチャージ		
6回	リザベーション業務	ロールプレーで予約取りの練習		
7回	第4章レセプション業務	ルーミング プレアサイメント 接客マナー		
8回	レセプション業務	チェックインの手順 レジストレーションカード記入方法		
9回	レセプション業務	オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法 ウォークインのチェックイン		
10回	レセプション業務	ロールプレーでチェックインの練習 デイリールーム・レポート作成		
11回	第5章フロントキャッシャー業務	請求書 清算手順と方法①		
12回	フロントキャッシャー業務	清算手順と方法②		
13回	フロントキャッシャー業務	宿泊料金計算		
14回	フロントキャッシャー業務	サービス料と税金 外貨両替		
15回	フロントキャッシャー業務	ロールプレーでチェックアウトの練習		
16回	前期まとめ	期末試験について 前期項目の復習		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z②クラス
科目名	旅行実務			
担当講師(フルネーム)	草野智子			
到達目標	□ 検定なし ・旅行商品の仕組み・国際航空券・オプションツアー・専門用語・査証・旅行保険等の幅広い知識の習得を目指す。 ・予約・販売・企画・見積もりをする際の流れ・言い回し(カウンター・電話)をロールプレイングで習得する。 ・人気都市・商品について研究・比較(ホテルの特徴・パンフレットの差別化)し、即戦力として案内・提案できるようになる。			
使用テキスト	配布プリント・指定パンフレット			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 40%(小テストを含む) ・期末試験 60%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	海外旅行概要	・授業・評価方法について説明。 ・海外旅行の主な商品やパーツ(鉄道・ホテル・航空・オプションツアー等)がどのようなものがあるか概要を把握する。		
2回	専門用語・電圧・WiFi事情	・旅行・航空会社の手配・添乗・予約時の専門用語を習得する。 ・日本と異なる電圧・プラグ・海外のWiFi事情について学習する。 ・ホテルの客室について(日本との考え方の違い)		
3回	海外航空券	・小テスト1(①②の復習) ・海外航空券の種類・仕組み・主な航空会社・2レター(国際線)・航空会社ランキング・海外代表都市3レターを学習する。		
4回	海外旅行パッケージツアー・パスポート	・パンフレットの見方・旅行商品取消料について ・パスポートの取得方法・金額・日数を把握。入国する際のパスポート残存期間について。査証(ビザ)とは。 ・旅行代金計算(基本・航空UP国内線・燃油サーチャージ・税金)を学習する。		
5回	旅行シーズン・世界の列車	・小テスト2(③④の復習) ・雨期・乾季それぞれの魅力や、人気都市のオススメ旅行シーズンについて把握する。(ハネムーン等) ・世界の豪華列車について・各国通貨について		
6回	カウンター接客応対	・カウンター販売(予約)のお迎えからお見送りまで一連の流れを把握(ロールプレイング)する。 ・海外旅行保険について ・申込金・予約の名前について		
7回	企画・見積もり	・団体ツアー等の企画や見積もり方法・注意点を学ぶ(練習問題) ・小テスト3(⑤⑥の復習)		
8回	人気都市研究①	・ハワイについて(ハワイの島・代表的な観光スポット・ホテル・空港からのアクセス) ・各旅行社の商品比較(JTB・HIS・JALパック・ハローツアー・西鉄旅行など)何が違うのか学習する。 ・査証(ESTA)について		
9回	人気都市研究②	・韓国(ソウル・釜山)について(空港・港からのアクセス・KTX・代表的なホテルと免税店・人気OPツアー) ・福岡から就航している航空会社について		
10回	人気都市研究③	・ヨーロッパについて(乗り継ぎ時の注意点・各旅行社パンフレットの特徴・航空会社指定なしの見方について等) ・人気都市と代表的な観光地・美術館・博物館・建造物・自然について ・ロストバゲッジについて		
11回	人気都市研究④	・その他人気アジア(タイ・ベトナム・シンガポール・バリ島・カンボジア)主な航空会社・人気ホテル・OPツアーについて		
12回	人気都市研究⑤	・オーストラリア・グアムについて(日本からの航空会社・主要都市・シーズン・主な観光地・代表的なホテルについて)		
13回	人気都市研究⑥	・アメリカについて(日本からの航空会社・主要都市・シーズン・主な観光地・代表的なホテルについて)		
14回	ワーキングホリデー	・ワーキングホリデーの仕組みについて口頭で説明できるようになる。 ・対象国や対象年齢を把握する。		
15回	海外ウェディング	・海外ウェディングとはどんなものか概要を把握する。 ・主な方面・商品についてパンフレットを見ながら内容を確認しよう。 ・提案～予約までの流れ・期間を把握する。		
16回	復習	・今までの授業内容を振り返り期末テスト勉強をしよう。		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光 科	Z① クラス
科目名	レストラン&バンケットサービス			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	☐ 検定あり ・レストランの基礎的なサービスを身に付ける ・入社2年目以降に必要な知識を身に付ける			
使 用 テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	朝食市場	・定番朝食メニューのおさらい ・朝食トレンド		
2回	レストランの値段	・原価率のお話 ・商品の値段はどうやって決まるのか		
3回	レストランの設備	・レストランの雰囲気作りの工夫 ・お客様を守るための危機管理		
4回	日本料理	・板場の仕組みと組織図を知っておこう ・和包丁の基本		
5回	インバウンドのサービス (中国編)	・中国料理の種類をおさらい ・中国インバウンドへのおもてなし		
6回	インバウンドのサービス (韓国編)	・韓国インバウンドへのおもてなし ・レストランクローク&モノの取り扱い方		
7回	マーケティングの基本	・ヒット商品分析 ・フード業界から一社選んで分析		
8回	顧客管理	・顧客情報と活用法 ・発表準備		
9回	商品分析 個人発表	・発表		
10回	グループワーク (テーブルコーディネート)	・チームに分かれてテーマを決め ・材料集め		
11回	グループワーク (テーブルコーディネート)	・チームに分かれて実際にコーディネート ・写真撮影		
12回	期末試験発表	・グループワーク発表 ・課題に向けて練習		
13回	期末試験にむけて	・ひたすら練習		
14回	期末試験にむけて	・ひたすら練習		
15回	期末テスト	2グループに分けて行います		
16回	期末テスト	2グループに分けて行います		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z②クラス
科目名	観光地理			
担当講師(フルネーム)	友納真 草野智子			
到達目標	□ 検定なし ・一般的な国内地理(観光地・温泉地・日本三景・祭り・県庁所在地など)の総復習で就職試験でも役立つ知識習得を目指す。 ・就業し即戦力としてお客様へご案内できる様、問い合わせ頻度の高い観光地の(交通・具体的な宿泊施設・グルメ・イベントなど)を学ぶ。 ・各観光地別におすすめポイントを魅力的な言い回しで表現出来るようになる。			
使用テキスト				
配布プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点40%(小テスト・課題提出を含む) ・期末テスト60%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	授業の進め方概要・日本の地理一般常識	・授業の進め方・評価方法について案内。 ・国内地理の復習(都道府県名と県庁所在地が違う県・北方領土・最北最南島・日本三景 など)		
2回	日本の地理一般常識	・日本三大(桜・紅葉・夜景・名園・急流 など)の把握。 ・東北三大祭り・京都三大祭り・その他九州の祭り・富士五湖・東京23区の把握。		
3回	日本の地理一般常識	・全国人気温泉地ランキング(グルメ・お土産・温泉室を含む)の把握。 ・人気観光地の場所(県名・読み方)の把握、読み方が難しい地名の把握。		
4回	ディズニーランド	・小テスト(前回までの復習) ・各都市からのアクセス(鉄道・バス)・ディズニーホテル・オフィシャルホテル・グッドネイバーホテルの特徴及び比較。 ・ファストパス・グルメ・お土産について。就業して最もご案内が多い場所なので徹底研究し不安をなくそう。		
5回	東京(横浜)	・空港から各都市(23区及び周辺・鎌倉・伊豆・箱根などを含む)の大まかな位置の把握を目指す。 ・必須観光地(スカイツリー・東京タワー・浅草・鎌倉などへのアクセスの把握) ・はとバスについて		
6回	USJ・大阪	・各都市からUSJまでのアクセス(鉄道・バス・空港)、Express/バス・ブックレットについて内容を把握する。 ・オフィシャルホテル研究(どんな方にお勧めなのか、ホテルの特徴をつかもう) ・大阪主要観光地の場所の把握・グルメ・お土産・水族館・大阪城までのアクセス・環状線について		
7回	京都	・主な地名(駅名・エリア名)の把握・主要観光地の場所の把握。 ・人気ホテルの場所、特徴をつかみ案内出来るようになる。(京都駅前・中心地 どちらに泊まるのがよいかアドバイス出来るようになる)		
8回	鹿児島	・鹿児島市内の観光地・市電・オススメグルメスポット・桜島・指宿・観光列車・霧島・知覧について ・屋久島・奄美大島までのアクセス、人気オプショナルツアーについて ・お土産・祭り・温泉の効能・代表的な旅館及びホテルを把握する。		
9回	大分・宮崎	・日田・天ヶ瀬・高塚・湯布院・アフリカンサファリ・大分市・別府などの場所・所要時間の把握。 ・特に人気の観光地研究、人気旅館(ホテル)、グルメ、お土産を把握。 ・宮崎の人気観光地・観光列車・グルメの把握。(高千穂峡・青島など)		
10回	佐賀・福岡	・嬉野・武雄・唐津・呼子・原鶴温泉の場所、人気旅館、のグルメ、お土産研究。 ・博多山笠などの祭りの時期、福岡の観光地(福岡タワー・ドーム・大宰府・糸島)のアクセスの把握。		
11回	長崎・熊本	・長崎市夜景スポット、グルメ、人気観光地、佐世保グルメ、水族館、軍艦島、雲仙、平戸、ランタン祭りについて把握。 ・雲仙の人気旅館について ・熊本全土(市内・天草・阿曾・黒川・小国)のアクセス・グルメ・人気旅館について		
12回	沖縄	・離島を含む人気観光地の周り方、所要時間を把握する。 ・各リゾートホテル比較・特徴を把握。 ・祭り・季節・グルメ・人気オプショナル研究。		
13回	北海道	・旭山動物園までのアクセス、富良野、小樽、札幌、函館、知床、スキー場の地理と所要時間の把握。 ・空港の場所の把握、列車について ・人気ホテル(旅館)の特徴を比較。		
14回	山陰(出雲大社・鳥取砂丘)	・出雲大社までのアクセス、周辺温泉地(代表的な旅館研究)、鳥取砂丘までのアクセスの把握。		
15回	伊勢志摩	・伊勢神宮までの各土地からのアクセス(内宮・下宮)、周辺温泉地について。		
16回	期末試験対策	・総復習をしよう。		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z①クラス
科目名	ブライダルサービス			
担当講師(フルネーム)	島崎満美子			
到達目標	☐ 検定あり ・ブライダルにかかわる具体的な知識を身につける。 ・各ベンダーの役割を知る ・1年生で学んだことの具体化			
使用テキスト	授業でプリントを配ります。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーションと結納	・授業の流れをつかむ ・自己紹介 ・結納、媒酌人、仲人の役割、日取り等・・・		
2回	婚礼施設の主業務	・準備、打ち合わせスケジュール 例に基づき ・婚礼担当者の役割、アテンダーの役割 ・婚礼施設の主な提供商品、サービス		
3回	挙式、婚礼料理①	・挙式のスタイルの復習 ・婚礼料理①洋食		
4回	婚礼料理②、飲物、ケーキ	・婚礼料理②和食、中華、和洋折衷 ・飲物の種類 ・ウェディングケーキ		
5回	関連商品①	・招待状の内容と校了まで ・続柄 ・席札、席次表		
6回	関連商品②	・衣裳店のビジネス 新郎新婦の衣裳 列席の衣裳		
7回	関連商品③	・衣裳店の小物 ・美容・着付け ・フラワー(ブーケ含む)		
8回	関連商品④	・司会者 ・写真・ビデオ ・引き出物(熨斗含む)		
9回	テーブルプランニング	・テーブルスタイル ・配席について ・料理のスタイル		
10回	関連商品⑤	・音響 ・様々な演出		
11回	ヒューマンスキル	・アサーション ・アイスブレイク ・コミュニケーションスキル		
12回	業界展望と求められる人材像	・少子化、晩婚化 ・人材像 ・人材教育		
13回	セールスステージの業務	・新規接客とは ・カウンセリング ・新規接客の流れ		
14回	まとめ	・重要ポイントを説明		
15回	期末試験	・どのくらい理解したかの確認。		
16回	解説	・試験の解説 ・質疑		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z②クラス
科目名	空港実務			
担当講師(フルネーム)	原田歩			
到達目標 □ 検定あり				
・海外の空港や航空会社について学び、国際線における基礎知識を習得する				
・安全について、より一層理解を深める				
・障害のあるお客さまが不自由に感じていることを学び、対応できるようになる				
使 用 テキスト				
『ANAグランドスタッフ入門』イカロス出版				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				
・平常点 20%(小テスト10%、授業態度10%)				
・期末試験 80%				
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 海外の空港	・授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ・海外の空港について学ぶ ・海外の空港・都市の3レターを覚える		
2回	海外の航空会社	・海外の航空会社を知る ・各航空会社の特徴を学ぶ ・各航空会社の2レターを覚える		
3回	国際線旅客運送①	・パスポートについて学ぶ ・ビザについて学ぶ ・出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ		
4回	国際線旅客運送②	・CIQの役割を理解する ・国際線における手続きを学ぶ ・国際線におけるお客さまの流れを学ぶ		
5回	国際線旅客運送③	・国際線における手荷物のルールを学ぶ ・国際線の機内サービスを学ぶ ・危険物について復習する		
6回	アライアンス	・世界のアライアンスを知る ・各アライアンスの加盟航空会社を知る ・アライアンス加盟によるメリットを理解する		
7回	保安	・アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ ・全日空機ハイジャック事件について学ぶ ・安全について、より一層理解を深める		
8回	視覚障害者へのサービス①	・視覚障害についての基本知識を習得する ・盲導犬の一生をDVDより学ぶ ・DVDを鑑賞し、感じたことを共有する		
9回	視覚障害者へのサービス②	・視覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・全盲の体験をする ・体験から学んだことを共有する		
10回	視覚障害者へのサービス③	・視覚に障害がある方への接客を学ぶ ・体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し、ご案内する		
11回	聴覚障害者へのサービス①	・聴覚障害についての基本知識を習得する ・日常生活における不自由さについて共有する ・手話で自己紹介をする		
12回	聴覚障害者へのサービス②	・聴覚に障害がある方の日常生活の一部を体験し、理解を深める ・伝える難しさ、伝わらない不自由さを体験する ・聴覚に障害がある方への接客を学ぶ		
13回	肢体障害者へのサービス①	・肢体障害や麻痺についての基本知識を共有する ・麻痺のある方への接客を学ぶ ・衣服の着脱のお手伝いをする		
14回	肢体障害者へのサービス②	・車椅子の種類を知る ・車椅子の基本操作を学ぶ ・校内を自走する		
15回	肢体障害者へのサービス③	・車椅子でのご案内方法を学ぶ ・自走体験をもとに注意すべき点に気づく ・空港内を想定し、ご案内する		
16回	まとめ	・前期の復習、および補足		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光 科	Z①クラス
科目名	日本旅館のサービス			
担当講師(フルネーム)	長野美穂			
到達目標	☐ 検定あり 日本旅館は実はとても新しく面白い所です。まずは和の世界に興味を持ってもらい、旅館や和食レストランに必要なサービス知識を楽しく学んでいきたいと思います。 和作法をしっかりと身につけた洗練された若者になってください。			
使用テキスト	なし			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
期末テスト100%				
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	はじめに	自己紹介&授業内容 はじめまして		
2回	日本旅館概要	旅館で働く人々 ホテルと旅館の違いってなに？		
3回	立居振舞	和室のルール 右と左について。湯茶のサービス方法。		
4回	言葉遣い	NGワード 「ご飯を盛る」とは言いません		
5回	会席料理①	「かいせき」料理とは コースの流れとサービスのポイント		
6回	会席料理②	かいせき料理まとめ ◎このマークが関係あります。		
7回	飲料のサービス①	セッティング&お箸について お箸の歴史とマナー		
8回	飲料のサービス②	アルコールのサービス ビール・日本酒・焼酎を美味しく提供するために		
9回	食材研究	覚えておきたい基本食材 鶏・牛・豚		
10回	食材研究②	日本三大珍味 日本人大好き魚卵食品		
11回	料理以外のサービス	和の演出 和室のお手入れ・掛け軸に隠された意味		
12回	秋の行事と食材	秋の食材に詳しくなる お彼岸に詳しくなる		
13回	朝のサービス	朝食ならではのサービス 「かよう亭」日本一の朝食といわれるその中身は… 業界全体の朝食市場をみてみよう		
14回	和食器	器に親しむ 陶器と磁器の違いを知る 日本人はどのような素材を器として使ってきたかを学ぶ		
15回	郷土料理	福岡の郷土料理 明太子、能古うどんなど、福岡の郷土料理を学ぼう 鍋奉行を目指して		
16回	まとめ	これまでの授業の復習 期末テストに向けて		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Z②クラス
科目名	エアラインビジネス			
担当講師(フルネーム)	吉原正彦			
到達目標	☐ 検定あり 航空業界ではどのような業務が行われているか理解し就職活動に役立つ知識を習得する。 航空会社の空港業務の概要と航空機の特徴について学習し理解する。			
使用テキスト	プリント・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点 30%(授業態度10%・小テスト10%・課題10%) 期末試験 70%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 前期授業内容、進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う		
2回	航空業界とは	航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱能力について学ぶ		
3回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空業界の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ		
4回	航空の歴史	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入その後の影響について学ぶ		
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について理解する 空港の基本的な機能及び空港施設・設備及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ		
7回	航空機の特徴	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ		
8回	航空業界の仕事	JALグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ		
9回	航空業界の仕事	日本における中堅航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している格安航空会社について学ぶ		
10回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントについて学ぶ		
11回	航空業界の仕事	運航管理(ディスパッチ)業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
12回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 出発時と到着時の旅客送迎サービス業務の要点について理解する		
13回	航空貨物業界の仕事	航空貨物業界の実績推移を把握し航空貨物輸送の特徴を学ぶ 航空貨物の業務について航空貨物業者と航空会社の分担、一般的な流れを学ぶ 航空貨物の搭載方式と荷役機器について、その概要を学ぶ		
14回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ		
15回	航空業界の動向	航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)		
16回	まとめ	前期を振り返り復習を行う		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就職活動講座(面接対策)			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり 直前に控えた入社試験を想定して各自の受験企業に応じた対策・指導を行い、内定を勝ち取る。			
使用テキスト	プリント対応			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーリング	2年次就職活動の注意点 最終模擬面接対策		
2回	最終模擬面接対策	最終模擬面接直前練習		
3回	受験対策	最終模擬面接振り返りと改善 面接・グループディスカッション練習		
4回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
5回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
6回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
7回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
8回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
9回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
10回	論文対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
11回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
12回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
13回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
14回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
15回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		
16回	受験対策	受験者は受験企業の想定練習・面接準備 面接・グループディスカッション練習 内定者は業界研究		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就職活動講座			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	検定あり 直前に控えた入社試験を想定して各自の受験企業に応じた対策・指導を行い、内定を勝ち取る。			
使用テキスト	プリント対応			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度+就職活動姿勢+課題・提出物で評価する。			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	最終模擬面接対策	最終模擬面接対策(面接練習)		
2回	最終模擬面接対策	最終模擬面接対策(面接練習)		
3回	受験対策	最終模擬面接対策振り返りと改善 各自入社試験準備 受験企業研究と応募書類作成		
4回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
5回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
6回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
7回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
8回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
9回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
10回	論文対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
11回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
12回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
13回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
14回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
15回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		
16回	受験対策	各自入社試験準備 提出書類作成、添削とならびに面接練習 内定者は業界研究(課題を提示)		

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就業前教育(業界商品知識)			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり 各種料理の基本となる食材の知識を高める。			
使用テキスト	ホテルビジネス 基本編 プリント・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	商品知識(料理)	ビタミンと栄養素 ビタミンの酒類と効能 薬膳と根菜の効果		
2回	商品知識(料理)	野菜と栄養素 スーパー野菜・京野菜 九州の主な農水産物		
3回	商品知識(料理)	だしの成分Ⅰ かつお節 昆布		
4回	商品知識(料理)	だしの成分Ⅱ 干し椎茸・煮干し フレンチ・中華のだし		
5回				
6回				
7回				
8回				
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

対象学年	2年	対象クラス	夜間総合観光科	Zクラス
科目名	就業前教育			
担当講師(フルネーム)	小西翼			
到達目標	☐ 検定あり ホテル・レストラン・バー・ラウンジなどで提供される飲料の知識を高める。			
使 用 テキスト	ホテルビジネス 基本編 プリント・パワーポイント			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	商品知識(飲料)	酒類Ⅰ 酒類分類 製法と原料 飲料用語解説		
2回	商品知識(飲料)	酒類Ⅱ 「ワイン」の基礎知識		
3回	商品知識(飲料)	酒類Ⅲ 「ビール」の基礎知識		
4回	商品知識(飲料)	酒類Ⅳ 「スピリッツ」の基礎知識		
5回				
6回				
7回				
8回				
9回				
10回				
11回				
12回				
13回				
14回				
15回				
16回				

国際ホテルマネジメント

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	ホテル総論			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり ・国内外のホテル産業の発達の歴史や変遷を学ぶ ・ホテルビジネスの基本構造を理解する			
使用テキスト	An Outline of the Modern Hotel Industry 現代ホテル産業概論 日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第2章ホテルビジネスの基 本と発展、変遷	授業内容、評価方法、期末テストについて 欧米におけるホテルの発祥と近代化への歩み		
2回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	アジアにおけるホテルの発祥と近代化への歩み		
3回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	日本のホテル産業の発展史		
4回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	ホテルの定義		
5回	ホテルビジネスの基本と発 展、変遷	近代社会における観光・旅行産業とホテル		
6回	第3章ホテルビジネスの収 益構造と経営形態	日本のホテルビジネスと部門別の収益構造		
7回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	ホテルビジネスにおける経営形態		
8回	ホテルビジネスの収益構造 と経営形態	ホテルの種類		
9回	第4章サービスの基本と職 能別サービス	サービスの基本と定義		
10回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルの職能別サービスの基本		
11回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルの運営組織		
12回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルの部門別機能と業務の基本		
13回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルとプロトコール		
14回	サービスの基本と職能別 サービス	ホテルが今、求める人材とスキル		
15回	第6章ホテル産業の将来展 望と課題	21世紀ホテルビジネスの課題		
16回	前期まとめ	前期復習 学期末試験について		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	フロントサービス			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり ・宿泊部門の日常業務の理解と技術取得 ・他部門との連帯作業を学ぶ ・企業実習にむけての実技取得			
使用テキスト	Basics of Accommodation Service「宿泊業務の基礎」 日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
宿泊実習室の備品配布プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション 第2章宿泊部門 1.宿泊部門の使命と役割	成績評価、授業スケジュールについて説明 宿泊部門の3機能 商品特性、業務特性		
2回	2.宿泊部門の業務の流れ	宿泊部門スタッフの心得 宿泊業務のオペレーションサイクルを理解する		
3回	3.宿泊部門の組織体系と特徴	外資、一般都市型、宿泊特化型、リゾートホテルの組織図 今後求められるスタッフの能力と資質についての意見交換		
4回	第3章フロントサービス 1.フロントサービスとは 2.ドアマンの業務	フロントサービス業務全体概要と特徴の理解 ドアマンの基本業務内容を理解する		
5回	2.ドアマンの業務	ドアマンロールプレー		
6回	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
7回	3.ベルマンの業務	ベルマンの業務手順と内容		
8回	ベルマン～案内編～	最初の挨拶から客室までの案内 ロールプレー		
9回	ベルマン～案内編～	最初の挨拶から客室までの案内 ロールプレー		
10回	ベルマン～見送り編～	バゲッジダウンとお見送り ロールプレー		
11回	客室のタイプとレイアウト客室設備と備品	基本の客室タイプと客室設備や備品名の理解		
12回	4.クローク業務	荷物の預かりと引き渡し		
13回	第4章ハウスキーピング	ハウスキーピング業務と組織体系 バスルームの設備・備品		
14回	第4章ハウスキーピング	ルームインジェクション・システム ルーム・ステータス ドント・ディスターブとメイク・アップ・カード4		
15回	第4章ハウスキーピング	客室清掃手順		
16回	前期授業のまとめと 期末試験対策	まとめ 関連用語の復習		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント	Sクラス
科目名	レストランオペレーション			
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			
到達目標	☐ 検定あり ・レストラン業務に関する基礎知識を習得する			
使用テキスト	The Fundamentals of Restaurant service「レストラン業務の基礎」日英併記版 日本ホテル教育センター発行			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	第1章レストランとは	料飲部門とは レストランの種類 レストラン業務の特性		
2回	第2章レストランの組織と職務分担	レストランの組織 覚えておきたい基礎知識		
3回	第6章食器・リネン・備品の知識	シルバー、チャイナ、グラスその他		
4回	第3章レストランサービス	サービス時のマナー ・接客の基本動作		
5回	レストランサービス	サービス時のマナー ・言葉遣い		
6回	レストランサービス	テーブル・サービスの分類の考え方1		
7回	レストランサービス	テーブル・サービスの分類の考え方2		
8回	レストランサービス	メニューの知識 サービス業務の手順 (1) 予約取り		
9回	レストランサービス	サービス業務の手順 (2) 開店中の業務 ・席まで案内 ・オーダー取り		
10回	第4章サービスの基本	テーブルクロスの掛け方 ナプキンの折り方 食器類のセッティング		
11回	サービスの基本	グラスの扱い方 飲み物の注ぎ方		
12回	サービスの基本	皿の持ち方 サーバーの使い方		
13回	レストランサービス	(3) 料飲サービス ・料理や飲み物のサービス ・食事の待機 ・食器類の下げ		
14回	レストランサービス	(4) 会計を送賓 (5) 後片づけ		
15回	レストランサービス	サービス業務の手順でロールプレー		
16回	学期末まとめ	学期末テストについて		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	外客接遇			
担当講師(フルネーム)	小西啓介			
到達目標	☐ 検定あり ホテル、旅館業界の国際化を取り巻く環境や重要性を理解し、異文化に関する見識や外客接遇の今後のあり方を習得する (授業の進行具合により、必ずしもシラバス通りに進まない場合もあります)			
使 用 テキスト	ホテルスクール刊「外客接遇の基礎」(日英併記版)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			
	・平常点 20% ・期末試験 80%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	外客接遇とは	・訪日外国人のプロフィール ・外客接遇の重要性		
2回	世界の民族	・人種、文明と文化、文化圏		
3回	世界の言語 世界の宗教	・世界の主要言語の現状 ・宗教の概要、宗教とタブー		
4回	世界の言語 世界の宗教	・世界の主要言語の現状 ・宗教の概要、宗教とタブー		
5回	世界の社会慣習	・国民性、家族観、結婚観		
6回	世界の社会慣習	・チップ制度、宿泊施設、物価		
7回	世界の生活習慣	・衣服、主食、料理、食事作法		
8回	世界の生活習慣	・トイレ、風呂、挨拶		
9回	世界の国の象徴	・国名、国旗、国歌、通貨		
10回	日本のアイデンティティ	・自然環境、歴史、宗教、芸術、芸能、スポーツ		
11回	接遇関連の基礎知識	・時差、ビザとパスポート、外国人登録証明書、保険		
12回	接遇関連の基礎知識	・外貨両替、トラベラーズチェック、支払い方法と釣銭		
13回	接遇関連の基礎知識	・国際儀礼		
14回	接遇関連の基礎知識	・ハンディキャップ、国際郵便、電話、電報		
15回	接遇関連の基礎知識	・苦情、トラブル処理、病気と事故への対処、エイズの知識		
16回	前期まとめ			

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	ホテル業界研究			
担当講師(フルネーム)	小西啓介			
到達目標 □ 検定あり それぞれのホテル体系の特徴を掴み、学生の興味と関心を高め、将来的な目標を持たせる 授業の進行具合により、必ずしもシラバス通りに進まない場合もあります				
使 用 テキスト プリント・DVD・MS PPTなど使用				
成績評価方法 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業毎のレポート提出の期限厳守と内容で評価を行う。 提出時間を過ぎた場合や未提出の場合は評価をしないとする。				
期末試験	×	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ホテルの基本	ホテルに必要なものとは 利用客は何を求めてホテルを選ぶのか/日本人・外国人客目線で考える		
2回	ホテルの形態・種類	宿泊・料飲だけでなく、ホテルはこれから何を指すべきなのか 価格競争だけで集客に繋がるのか		
3回	ホテル種類別調査	リゾートホテルとは？ イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略等、すべてを洗い出せ		
4回	研究発表	個人もしくはグループでの調査発表		
5回	ホテル種類別調査	ビジネスホテルとは？ イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略等、すべてを洗い出せ		
6回	研究発表	個人もしくはグループでの調査発表		
7回	ホテル種類別調査	高級ホテル イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略等、すべてを洗い出せ		
8回	研究発表	個人もしくはグループでの調査発表		
9回	ホテル種類別調査	旅館 イメージ・特徴・客層・長所・短所・集客方法・広告戦略等、すべてを洗い出せ		
10回	研究発表	個人もしくはグループでの調査発表		
11回	福岡市内ホテル調査	市内のホテルを見学・調査し、それぞれの特徴や長所・短所を見つけ出す		
12回	研究発表	コンセプト・ターゲット・コストなどを洗い出す 自分が宿泊したいホテルにするには何が必要か・経営者視点で考える 外国人観光客に魅力あるサービスを提供するには		
13回	まとめ・Webサイトの特徴	各社のWebサイトから伝わる大切なポイント 誰に向けたメッセージ発信か・宿泊してみたいと思えるWebサイトとは		
14回	まとめ・料飲部門の特徴	各レストラン・食事内容のセールスポイント 需要に合ったサービス		
15回	まとめ・宿泊部門の特徴	各部屋の特徴・付帯設備の工夫 喫煙・禁煙ルーム/禁煙の部屋を望む外国人観光客対策		
16回	まとめ・前期を振り返る	調査したホテル・旅館から見えてくるもの 2020年に向けて必要なスタイルとは		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	現代国語			
担当講師(フルネーム)	北村正雄			
到達目標	検定あり 現代国語は、日本語の文法と英語文法の違いを学習することで日本語の文章の基本的な読解力と基本的な日本語文章作成能力を修得できるようになります。日本企業に就職する際に必要とされる、豊富な語彙力を修得することができるようになります。そのための方法として、中学生高校生レベルの毎週の新聞記事・社説を素材に講義を行います。最近の外国人留学生は、日本人の学生同様、従来のメインカルチャー(伝統的な日本文化の茶道歌舞伎華道柔道空手など)よりサブカルチャー(アニメ ポップミュージック アニソンメイドkawaii)に興味があり、サブカルを使って日本語のコミュニケーション能力を高めることができます。			
使用テキスト	毎週の新聞記事と日本のサブカルチャーに関する資料			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 期末試験＋平常点			
期末試験	☒	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	日本語文法①	体言 用言 助詞 格助詞 接続助詞 現在形 過去形 未来形		
2回	日本語文法②	日本語文章と英語文章の構造の違い 名詞 動詞 原型 過去形 前置詞 動名詞 進行形 現在分詞 過去分詞 不定詞 関係代名詞		
3回	日本語文法③	日本語文法の入社試験問題		
4回	日本語文法④	日本語文法の入社試験問題		
5回	日本語語彙力①	ことわざ(動物 体の一部 漢数字を使ったことわざで、日本人とコミュニケーションを取るには必要なもの また将来日本企業に就職する際にも必要)		
6回	日本語語彙力②	ことわざ(動物 体の一部 漢数字を使ったことわざで、日本人とコミュニケーションを取るには必要なもの また将来日本企業に就職する際にも必要)		
7回	日本語語彙力③	難しい漢字の読み方・書き方 漢字の練習		
8回	日本語語彙力④	難しい漢字の読み方・書き方 漢字の練習		
9回	日本のサブカルチャー①	日本のサブカルのキーワード 世界kawaii革命 kawaiiという言葉のもつ意味 使用場面 英語と日本語で学ぶ、アニメ、マンガ メイドなど		
10回	日本のサブカルチャー②	英語と日本語で学ぶ、アニメ、マンガ メイドなど		
11回	現代国語 時事問題	毎週(7日間)の日本・海外のニュースを記載した中高校生レベルの新聞記事の読みとまとめの感想文の作成		
12回	現代国語 時事問題	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高校生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
13回	現代国語 時事問題	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高校生レベルの新聞の読とまとめの感想文の作成		
14回	現代国語 時事問題	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高校生レベルの新聞の読みとまとめの感想文の作成		
15回	現代国語 時事問題	毎週(7日間)の日本・海外のニュースをコンパクトに記載した中高校生レベルの新聞の読とまとめの感想文の作成		
16回	前期の復習とまとめ	日本語の文章の構造 英語文章との違い 時事問題他		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	TOEIC対策 I			
担当講師(フルネーム)	小西啓介			
到達目標	☒ 検定あり (授業の進行具合により、必ずしもシラバス通りに進まない場合もあります) TOEIC受験に向けて、試験形式に慣れる。聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。 TOEICに頻出テーマの語彙力をつける TOEICに頻出の文法項目を理解する			
使用テキスト	対策 I・Essential Approach for the TOEIC Test (TOEICテストへのニューアプローチ)/別紙プリント配布予定			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末試験70% 模擬テスト10% 平常点20%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストについて TOEICテストを解いてみる		
2回	Unit 1	「芸術、娯楽」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 名詞・代名詞の理解を深める		
3回	Unit 2	「食事、パーティ」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 形容詞・冠詞の用法		
4回	Unit 3	「医療、健康」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 副詞の働きと使い方		
5回	Unit 4	「交通、旅行」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 比較についてまとめる		
6回	Unit 5	「注文、輸送」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 動詞と時制の重要文法		
7回	模擬テスト	リスニング全問題を解く Part1 Part2 を解くためのキーワードを聞き取る Part 3 Part4 を解くために選択肢を先読みする		
8回	模擬テスト	リーディング全問題を解く Part5 Part6 を解くための 文法事項と語彙の確認 Part7 を解くためにタイムマネジメントの能力を身につける		
9回	Unit 6	「工場、製造」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 いろいろな未来表現を学ぶ		
10回	Unit 7	「研究、開発」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 主語と動詞の呼応と時制の一致		
11回	Unit 8	「コンピューター、科学技術」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 能動態と受動態		
12回	Unit 9	「雇用・昇進」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 不定詞&動名詞		
13回	Unit 10	「宣伝と人事」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 分詞		
14回	模擬テスト	リスニング全問題を解く Part1 Part2 を解くためのキーワードを聞き取る Part 3 Part4 を解くために選択肢を先読みする		
15回	模擬テスト	リーディング全問題を解く Part5 Part6 を解くための 文法事項と語彙の確認 Part7 を解くためにタイムマネジメントの能力を身につける		
16回	まとめと総復習	前期試験問題解説 TOEIC試験に向けて、学習事項の復習をする		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	TOEIC対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	小西啓介			
到達目標	☒ 検定あり (授業の進行具合により、必ずしもシラバス通りに進まない場合もあります) TOEIC受験に向けて、試験形式に慣れる。聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。 TOEICに頻出テーマの語彙力をつける TOEICに頻出の文法項目を理解する			
使用テキスト	対策Ⅱ・Essential Approach for the TOEIC Test (TOEICテストへのニューアプローチ)/別紙プリント配布予定			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 学期末試験70% 模擬テスト10% 平常点20%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストについて TOEICテストを解いてみる		
2回	Unit 1	「芸術、娯楽」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 名詞・代名詞の理解を深める		
3回	Unit 2	「食事、パーティ」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 形容詞・冠詞の用法		
4回	Unit 3	「医療、健康」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 副詞の働きと使い方		
5回	Unit 4	「交通、旅行」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 比較についてまとめる		
6回	Unit 5	「注文、輸送」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 動詞と時制の重要文法		
7回	模擬テスト	リスニング全問題を解く Part1 Part2 を解くためのキーワードを聞き取る Part 3 Part4 を解くために選択肢を先読みする		
8回	模擬テスト	リーディング全問題を解く Part5 Part6 を解くための 文法事項と語彙の確認 Part7 を解くためにタイムマネジメントの能力を身につける		
9回	Unit 6	「工場、製造」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 いろいろな未来表現を学ぶ		
10回	Unit 7	「研究、開発」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 主語と動詞の呼応と時制の一致		
11回	Unit 8	「コンピューター、科学技術」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 能動態と受動態		
12回	Unit 9	「雇用・昇進」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 不定詞&動名詞		
13回	Unit 10	「宣伝と人事」関連の語彙力を高める リスニング、リーディングの練習問題 分詞		
14回	模擬テスト	リスニング全問題を解く Part1 Part2 を解くためのキーワードを聞き取る Part 3 Part4 を解くために選択肢を先読みする		
15回	模擬テスト	リーディング全問題を解く Part5 Part6 を解くための 文法事項と語彙の確認 Part7 を解くためにタイムマネジメントの能力を身につける		
16回	まとめと総復習	前期試験問題解説 TOEIC試験に向けて、学習事項の復習をする		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S②クラス
科目名	日本語能力試験対策 I			
担当講師(フルネーム)	上中真由美			
到達目標	☒ 検定あり 日本語能力試験N2およびN1合格を目指す 予習(テキストを読んでわからない語彙を調べておく)、復習を行うこと			
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 文法トレーニング N2(アルク) 必要に応じてプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験 50%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N2文法	授業の進め方について N3文法テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
2回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
3回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
4回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit01 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
5回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
6回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
7回	N2文法	N3文法復習 前回の小テスト テキストUnit02 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
8回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
9回	N2文法	N3 文法復習 前回のテスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
10回	N2文法	N3 文法復習 前回のテスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
11回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit03 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
12回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
13回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
14回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
15回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit04 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		
16回	N2文法	N3 文法復習 前回の小テスト テキストUnit05 例文、解説を通して文法を学び、練習問題で理解の確認をする		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S②クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ			
担当講師(フルネーム)	上中真由美			
到達目標	☒ 検定あり 日本語能力試験N2およびN1合格を目指す			
使用テキスト	プリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% ・期末試験 50%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N2～N3読解・聴解	授業の進め方について 読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
2回	N2～N3読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
3回	N2～N3読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
4回	N2～N3読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
5回	N2～N3読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
6回	N2～N3読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
7回	N2～N3読解・聴解	N3＋N2読解テスト、フィードバック 読解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
8回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
9回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
10回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
11回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
12回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
13回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
14回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
15回	N2読解・聴解	N2読解テスト、フィードバック 読解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		
16回	N2読解・聴解	読解問題を解き、クラス全体で答えを確認する 聴解問題を解き、QAやスクリプトで答えを確認する		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S②クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ			
担当講師(フルネーム)	高向有理			
到達目標	☒ 検定あり 日本語能力試験N2およびN1合格を目指す。 語彙の習得には最低3回の反復練習が必要であるため、練習→テスト→フィードバックを実施します。1回でも休むと次の授業についていけなくなりますので、欠席しないようにしてください。この授業は日本語能力試験対策ⅠおよびⅡと連動しています。			
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニング(アルク) 聴解はプリント配布			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50%(授業参加度、各種テスト) ・期末試験 50%			
期末試験	○	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	N2語彙 N2～3聴解	授業の進め方について テキストUNIT01 1～25 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
2回	N2語彙 N2～3聴解	前回の小テスト(語彙) テキストUNIT01 51～75 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
3回	N2語彙 N2～3聴解	前回の小テスト(語彙) テキストUNIT02 101～125 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
4回	N2語彙 N2～3聴解	前回の小テスト(語彙) テキストUNIT02 151～175 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
5回	N2語彙 N2～3聴解	語彙テスト①UNIT01 テキストUNIT02 201～225 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
6回	N2語彙 N2～3聴解	テキストUNIT03 251～275 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 N3+N2聴解テスト① 語彙テスト①のフィードバック		
7回	N2語彙 N2～3聴解	聴解テスト①のフィードバック 前回の小テスト(語彙) テキストUNIT04 301～325 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
8回	N2語彙 N2聴解	語彙テスト②UNIT02+03 テキストUNIT04 351～375 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。		
9回	N2語彙 N2聴解	テキストまとめ1 401～425 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 語彙テスト②のフィードバック		
10回	N2語彙 N2聴解	テキストまとめ1 451～475 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 語彙テスト③UNIT04		
11回	N2語彙 N2聴解	テキスト UNIT 05 501～525 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 N3+N2聴解テスト② 語彙テスト③のフィードバック		
12回	N2語彙 N2聴解	テキスト UNIT06 551～575 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 聴解テスト②のフィードバック		
13回	N2語彙 N2聴解	テキスト UNIT07 601～625 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 語彙テスト④まとめ1		
14回	N2語彙 N2聴解	テキスト UNIT まとめ2 651～675 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 語彙テスト④のフィードバック		
15回	N2語彙 N2聴解	テキスト UNIT08 701～725 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 聴解問題を解きスクリプトで内容確認QA練習をする。 語彙テスト⑤UNIT05+06		
16回	N2語彙 N2聴解	テキストUNIT08 751～775 語彙の意味を確認し、短文作成を通して用法を理解する。 N3+N2聴解テスト③ 語彙テスト⑤のフィードバック		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	S②クラス
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	☒ 検定あり 日本語能力試験 N2 N1合格 語彙の習得を定着させるために 必要語彙を使った短文作成と反復学習を行うことで合格を目指します 予習してきたものとして授業は進むので 休んだり予習をしなければ授業についていけなくなるので 予習7・復習は欠かさずやるように。			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50%(授業態度・予習の程度・小テスト) ・期末試験 50%			
期末試験	☐	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	検定語彙 1・読解N2	オリエンテーション(授業内容の説明) テキスト 26-50 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
2回	検定語彙 2・読解N2	前回の復習テスト テキスト 76-100 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
3回	検定語彙 3・読解N2	語彙テスト ① (1-100までの語彙テスト) テキスト 126-150 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
4回	検定語彙 4・読解N2	復習テスト ① のFB テキスト 176-200 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
5回	検定語彙 5・読解N2	前回の復習テスト テキスト 226-250 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
6回	検定語彙 6・読解N2	前回の復習テスト テキスト 276-300 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
7回	検定語彙 7・読解N2	語彙テスト ② (100-200 までの語彙テスト) テキスト 326-350 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使つての短文作成を通して 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
8回	検定語彙 8・読解N 2	復習テスト ② FB テキスト 376-400 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
9回	検定語彙 9・読解N 2	前回の復習テスト テキスト 426-450 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
10回	検定語彙 10・読解 N 2	前回の復習テスト テキスト 476-500 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
11回	検定語彙 11・読解N 2	語彙テスト ③ (201-300) テキスト 526-550 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
12回	検定語彙 12・読解N 2	語彙テスト ③ FB テキスト 576-600 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
13回	検定語彙 13・読解N 2	前回の復習テスト テキスト 626-650 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
14回	検定語彙 14・読解N 2	語彙テスト ④ (301-400) テキスト 676-700 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
15回	検定語彙 15・読解N 2	語彙テスト ④ FB テキスト 726-750 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		
16回	検定語彙 16・読解N 2	語彙テスト ⑤ (401-500) テキスト 776-800 語彙の読み方 意味の理解 語彙を使って短文作成を行い 定着を図る N2 検定読解のプリントで内容の理解と語彙の読みのQA		

対象学年	1年	対象クラス	国際ホテルマネジメント科	Sクラス
科目名	日本語ビジネス会話			
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			
到達目標	☒ 検定あり JBT 初級終了者を対象にビジネスにすぐに役に立つ会話表現の習得が目標 留学生の苦手の敬語を使った表現や日本独特のビジネス用語の言い回しなど 多くの練習が必要とされる授業なので欠席しないこと 友だち同士で練習したり アプリを使って練習するなど日常生活の中でも取り組んで勉強すること 各課の単語数と基本文型が多いので 必ず予習・復習をすること			
使用テキスト	ビジネス日本語 初中級(スリーエーネットワーク)			
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点 50% (各種テスト ・ 授業態度) ・期末試験 50%			
期末試験	△	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△ 期末試験なし・・・× を枠に選択		
	テーマ	授業内容		
1回	ビジネス 1	オリエンテーション(授業の進め方の説明) 単語帳と基本文型帳の配布と 勉強の仕方の説明 初級敬語の復習プリントと練習		
2回	ビジネス 2	L1 自己紹介の 単語 基本文型 L1 stage 1 社内の自己紹介		
3回	ビジネス 3	L1 単語・基本文型小テスト L1 stage 1 社外の自己紹介 L1 stage 2 社内 新入社員の会話		
4回	ビジネス 4	L1 単語・基本文型小テスト L1 stage 2 社外の会社訪問・ロールプレイ L1 stage 2 社外の自己紹介		
5回	ビジネス 5	L1 単語・基本文型小テスト (会話テスト) L1 stage 3 新しい職場で 自己紹介 ・ 訪問先で 自己紹介 L1 stage 3 社外の人に自己紹介		
6回	ビジネス 6	L1 読み物 (名刺) L2 あいさつ 基本重要文型 L2 あいさつ 新語説明		
7回	ビジネス 7	L2 単語・基本文型小テスト L2 stage 1 社内 出社時のあいさつ 退社時のあいさつ ひさしぶりに会った時のあいさつ L2 stage 1 社外の人に再会した時のあいさつ 別れるときのあいさつ 久しぶりに会った時のあいさつ		
8回	ビジネス 8	L2 単語・基本文型小テスト L2 stage 1 復習 ロールプレイ L2 stage 2 社内 欠勤した翌日のあいさつ 残業のあいさつ		
9回	ビジネス 9	L2 単語 基本文型小テスト L2 stage 2 社外 訪問客 L2 stage 3 出社時のあいさつ 退社時の同僚へのあいさつ 訪問客へのあいさつ		
10回	ビジネス 10	L2 単語 基本文型小テスト (会話テスト) L2 stage4 読み物 (あいさつの後で) L3 許可 基本文型・単語の説明		
11回	ビジネス 11	L3 単語 基本文型の小テスト L3 stage 1 社内 意向を尋ねて許可を求める 許可する 許可しない L3 stage 1 社内 可能性を尋ねて許可を求める 許可する 許可しない		
12回	ビジネス 12	L3 単語 基本文型の小テスト L3 stage 1 社外 意向を尋ねて許可を求める 許可する 許可しない L3 stage 2 社内 休暇の許可願		
13回	ビジネス 13	L3 単語 基本文型の小テスト L3 stage 2 社内 物の貸し借り L3 stage 2 社外 訪問		
14回	ビジネス 14	L3 単語 基本文型の小テスト (会話テスト) L3 stage3 早退の許可を求める 物を借りる許可を求める 訪問の許可を求める L3 stage 4 読み物		
15回	ビジネス 15	L4 単語 基本文型の導入 L4 stage 1 社内 依頼する 受ける 断る		
16回	ビジネス 16	L4 単語 基本文型小テスト L4 stage 社外 依頼する 受ける 断る 強く依頼する 受ける 断る stage 2 社内 上司に頼む		